

31-65



中等 地理教科書

外國全誌

農學士菊池熊太郎著



東京 金港堂書籍株式會社

目次

第三部 外國地理

第一篇 亞細亞洲

第一章 總論

第二章 東亞細亞

(一) 朝鮮王國

(二) 支那帝國其ノ一 支那本部

(三) 支那帝國其ノ二 支那外藩

第三章 南亞細亞

(一) 印度支那

(二) 印度

一

一五

二〇

二九

三四

四二

第四章 西亞細亞

- (一) あふがにすたんと及ビへるちすたん……………五三
 - (二) 波斯王國……………五六
 - (三) 亞拉比……………六〇
 - (四) 亞細亞土耳其……………六三
- 第五章 北亞細亞—魯領亞細亞
- (一) 西伯利亞……………六八
 - (二) 魯領中央亞細亞……………七二
 - (三) とらんすかうかしあ……………七五

第二篇 歐羅巴洲

- 第一章 總論……………七七
- 第二章 東北歐羅巴……………七七

(一) 魯西亞帝國……………九三

(二) すかんちなびあ……………一〇二

第三章 ばるかん半島……………一〇八

(一) 希臘王國……………一〇八

(二) 土耳其帝國……………一一一

(三) ろうまにあせるびあもんでねぐろ……………一一八

第四章 中央歐羅巴 其ノ一

(一) 獨逸帝國……………一二三

(二) 丁抹王國……………一二九

(三) 瑞西共和國……………一三三

第五章 中央歐羅巴 其ノ二

(一) 墮太利匈牙利帝國……………一三六

(二) 伊太利王國 一四一

第六章 中央歐羅巴 其ノ三

(一) 佛蘭西共和國 一四八

(二) 白耳義王國 一五四

(三) 和蘭王國 一五七

第七章 いへりあ半島

(一) 西班牙王國 一六二

(二) 葡萄牙王國 一六六

第八章 英吉利王國 一七〇

第三篇 阿非利加洲

第一章 總論 一八三

第二章 北阿非利加

(一) 埃及 一九三

(二) あびじにあ 一九八

(三) ばるばりい諸邦 二〇二

(四) さはら及ヒすうだん 一九九

(五) 西南海岸諸邦 二〇四

(六) 屬島 二〇六

第三章 南阿非利加

(一) かめるん國及ヒ佛領こんご 二〇八

(二) 中部地方 二一〇

(三) 東岸諸邦 二一三

(四) 極南諸州 二一五

(五) 屬島 二二〇

第四篇 北亞米利加洲

第一章 總論 二二三

第二章 加奈陀及ヒ合衆國

(一) 加奈陀 二二三

(二) 合衆國 二三七

第三章 墨西哥、中央亞米利加、屬島

(一) 墨西哥 二四九

(二) 中央亞米利加 二五三

(三) 西印度諸島 二五七

(四) ぐりんらんど 二六一

第五篇 南亞米利加

第一章 總論 二六三

第二章 北岸及ヒ中部諸州

(一) べねすはら 二七〇

(二) きあな 二七一

(三) ぶらじる 二七二

(四) ばらぐあい 二七六

(五) うるぐあい 二七七

第二章 あんです諸邦

(一) ころむびあ 二七九

(二) はくあどる 二八〇

(三) へるう 二八一

(四) ぼりびあ 二八三

(五) 智利 二八五

(六) あるせんちん聯邦……………二八七

第六篇 大洋洲

第一章 總論……………二九一

第二章 濠斯太拉亞細亞……………二九八

(一) 濠斯太拉利亞即濠太利洲……………二九八

(二) じうせいいらんど……………三〇六

第三章 馬來西亞及ヒぼりねしあ……………三〇九

(一) 馬來西亞……………三〇九

(二) ぼりねしあ……………三二二

地圖目次

亞細亞地圖

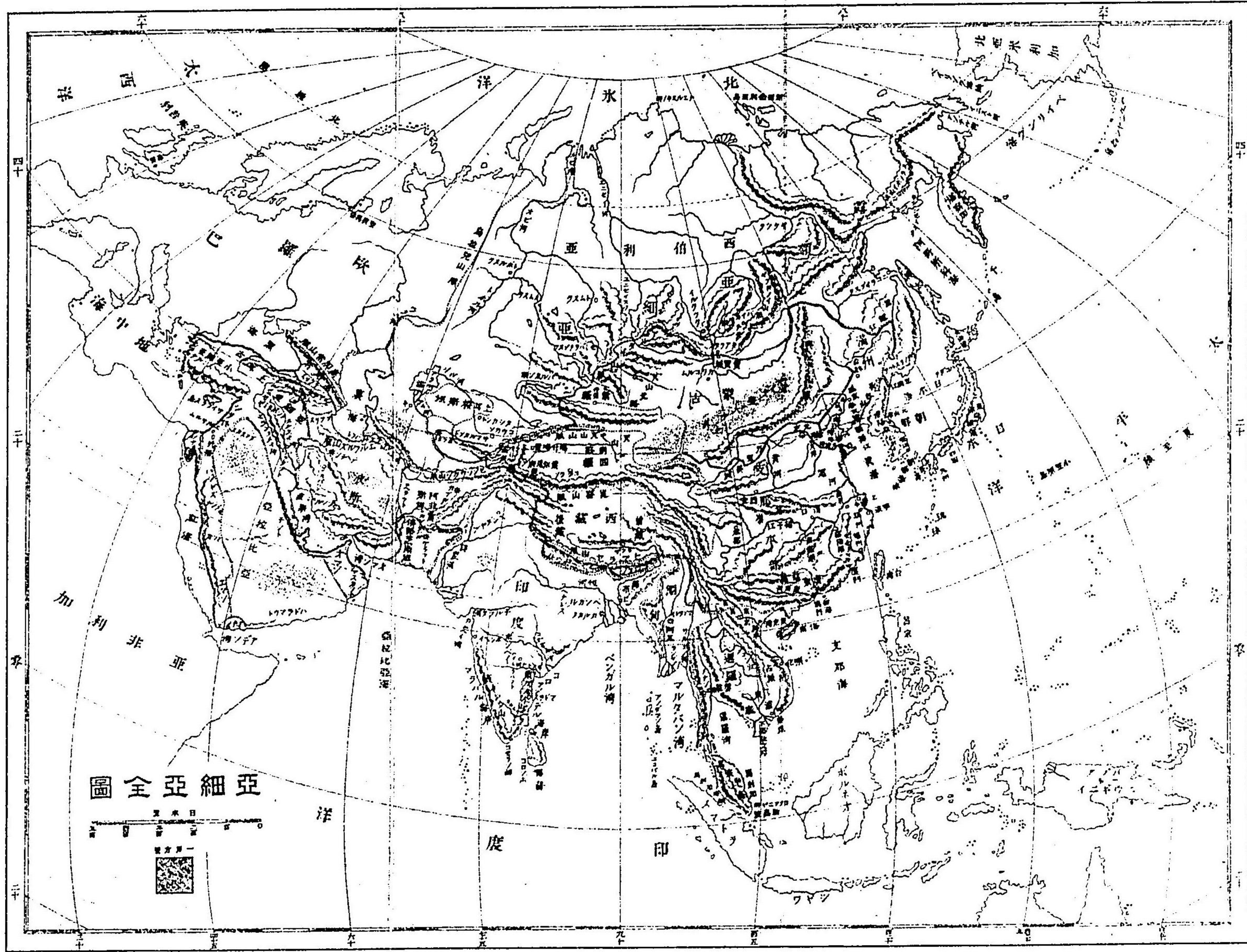
歐羅巴地圖

亞非利加地圖

北亞米利加地圖

南亞米利加地圖

大洋洲地圖



圖全亞細亞

Scale bar with markings for distance.



中等地理教科書 下卷

農學士 菊池熊太郎著

第三部 外國地理

第一篇 亞細亞洲

第一章 總論

位置境界 亞細亞ハ東半球ノ東北部ニ位スル大陸ニシテ、其ノ東北ノ一端ハ西半球ニ跨リ、他ノ三面ハ海ニ臨ム、即北ニ北氷洋アリ、東ニ太平洋アリ、南ニ印度洋アリ、西境ハ界線正整ナラズ、一部ハ紅海及ビスエズノ地峽ニ由リテ阿非利加ヲ限リ、一部ハ地中海及ビ黒海ニ面シ、他ノ一部ハかうかしす山脈、裏海、うらる河及ビうらる山脈ヲ以テ歐羅巴トノ界線トナス。

本洲ノ最南端ろうまにあ岬ハ北緯一度二十二分ニ在リ、最北端ちえりゆすきん岬

ハ北緯七十八度十五分ニ在リ、而シテ西ハ東經二十一分ノば岬ニ始リ、東ハ西經百六十九度五十分ノ東岬ニ終ル。

廣袤人口。 亞細亞ハ世界第一ノ大陸ニシテ、面積二百九十六万方里、西ノ方ば

岬ヨリ東岬ニ達スル東西ノ延長二千四百六十里、南ノ方ろうまにあ岬ヨリちえりゆすきん岬ニ達スル南北ノ最廣キ處二千二百里アリ、すなはち地峽ヨリ東岬ニ達スル延長ハ、東西ノ最長キ處ニシテ、其ノ距離二千七百八十里アリ。

亞細亞ノ面積ハ南北亞米利加ノ面積ヲ合シタルモノヨリ少シク超過シ、歐羅巴、阿非利加及ビ大洋洲ノ總面積ヨリ少シク劣ル、故ニ大凡全世界陸地ノ三分一ヲ占ムルノ大キサアリ。

區畫。 亞細亞ヲ區分シテ十數國トナス、中ニ就キテ政治上ノ獨立アルモノハ日本、支那、朝鮮、暹羅、波斯ノ五國ニシテ、餘ハ皆他ノ屬國タリ。今大陸ヲ東西、南北ノ四大部分ニ分ツニ、東亞細亞ハ主トシテ佛教國ヨリ成リ、西亞細亞ハ回教國ヨリ成リ、南亞細亞ハ英、佛、等歐羅巴強國ノ影響ヲ蒙ル諸邦ニシテ、北亞細亞ハ魯領タリ、即四部ニ屬スル諸邦ヲ表出スルコト左ノ如シ。

東亞細亞。

日本帝國、支那帝國、朝鮮王國。

西亞細亞。

波斯王國、亞細亞土耳其亞拉比、あふがにすたん、べるちすたん。

南亞細亞。

印度、安南、暹羅王國、緬甸、馬來加。

北亞細亞。

西伯利亞、土耳其斯坦、かうかしあ。

屬島。

亞細亞ノ屬島ハ多ク大陸ノ東側、太平洋中ニ基布シ、印度洋及ビ北氷洋ニハ甚稀ナリ。日本群島ハ大陸ノ東岸ニ對シ、長ク連亘シテ北ヨリ南ニ弓形ヲナス、其ノ千島諸島ノ西、大陸ニ接シテ樺太即さかれん、島アリ、琉球諸島ノ西南又大陸ニ接シテ臺灣、海南ノ二島アリ。大陸ノ東北端北亞米利加ト相對スル間ニあるしあん群島アリ。東南ノ東印度諸島ハ大洋洲中ニ編入スルヲ以テ茲ニ之ヲ擧ゲズ。

印度洋ニテハ錫蘭ノ一島最顯著ナリ、北氷洋ニハ新西伯利亞群島アリ、西方地中海ニハさいぶらす以下ノ島嶼アリ。

海岸、海灣。

亞細亞洲ノ海岸線ハ延長二万一千里ニ達シ、之ヲ地積ニ比スレバ百四十方里ニ一里ノ割リ合ヒナリ、而シテ北氷洋ニ瀕スル部分即全海岸線ノ大凡

五分ノ一ハ、全ク通商上何等ノ價值モアルコトナシ。

北海岸ハ單純ニシテ出入少ク、加フルニ地北極ニ近ク、海水氷結シテ航行スベカラズ、此ノ部ニ於イテ著キ出入ハ、唯たみる半島トおび灣トノミナリ。

東海岸ニテハ北ニかむちあつか半島アリ、中央ニ朝鮮ノ小半島アリ、東岬ト北亞米利加トノ間ハ即べいりんぐ海峡ニシテ、其ノ水太平洋ト北氷洋トヲ連結ス。べいりんぐ海峡ノ南チべいりんぐ海ト云フ。かむちあつか半島ハ大陸ト共ニこれつく海ヲ抱キ、日本群島中央部ノ大島ハ日本海ヲ擁シ、朝鮮ノ半島ハ西南ニ黄海ヲ受ケ、其ノ海深ク陸地ニ陥入シテ渤海灣ヲ形成ス。黄海ノ南ノ海ヲ東海ト云ヒ、ふいりつびん群島ト大陸トノ間ノ海ヲ支那海ト云フ。

南海岸ニハ三大半島アリ、即東ニ印度支那ノ大半島アリ、中央部ニ印度ノ大半島アリ、西ニ亞拉比ノ大半島アリ。印度支那半島ハ東南支那海ニ臨ミ、東北ニ東京灣ヲ抱キ、其ノ南部更ニ突出シテ馬來半島ヲ出シ、西ノ方べんがる灣ヲ隔テテ印度ト相對ス。印度ハ三角形ヲナセル半島國ニシテ、亞拉比海ヲ隔テテ亞拉比ト相對ス。亞拉比半島ハ東ニ波斯灣ヲ擁シ、西紅海ニ臨ム、其ノ南ニあでんノ小灣アリ、あでん灣ト紅

海トノ間ヲばべるまんでふ海峡ト云フ。

亞拉比半島ノ北ニ小亞細亞ノ半島アリ、北ニ黑海ヲ負ヒ、西南地中海ニ面ス、二海ノ間ニまるもらノ一小海アリ。

地勢。

亞細亞ノ中央部ハ有名ナル高臺地ニシテ、海面上平均六千尺乃至一萬五千尺ノ高サニ至リ、更ニひまらや、崑崙、天山、あるたいノ諸山脈其ノ上ニ連亘蟠峙ス。此ノ高臺ハ、東方ニ開キ西方ニ縮リ、ばみるに至リテ愈狹ク、是ヨリ更ニ西部ノ高臺ニ接續ス、故ニ亞細亞ニハばみるノ高地ヲ境トシテ、東西ノ二高臺アリ。

東部ノ高臺ハ、南ハひまらや山脈ニ限ラレ、北ハあるたい山脈アリテ、やぶるのい山脈及ビ他ノ西伯利亞諸山脈ニ連レリ、東方ハ斷續アル支那ノ諸山脈アリ、西方ハひまらや、天山ノ諸脈、ばみるノ高地ニ集合スルニ似タリ。

東部ノ高臺ヲ西藏山地及ビ蒙古高原ノ二部ニ分ツベシ。西藏山地ハ世界第一ノ高地ニシテ、ひまらや山脈ノ陰ニ位シ、北ニ崑崙山脈ヲ負ヒ、平均ノ高サ一萬四千尺乃至一萬五千尺トス。而シテ西ノ方ばみるノ高臺ニ至レバ平均ノ高サ一萬二千尺ニ下リ、東ノ方ここのる湖ノ邊ニ至レバ九千尺ニ減ズ。

蒙古ノ高原ハ、西藏山地ノ東北崑崙山ノ後背ニ位ス、凡ベテ崑崙山ヲ超ユレバ其ノ北側ハ地大イニ低落ス。高原中ニモびノ大沙漠アリ、其ノ平均ノ高サ大凡四千尺ヲ超エズ、而シテ其ノ西部たりむ河ノ沿岸ニ至レバ二千尺ニ過ギズト云フ。

西部ノ高臺ハ、ばみるノ高地ヲ起首トシ、東ノ方ひんづらくし及ビすりまん山脈ニ始リテ、西方ニ廣ガリ、遂ニ小亞細亞ニ終ル。其ノあふがにすたん及ビ波斯ニ渉ル部分チいらんノ高臺ト云ヒ、ゆるぶるづ山脈及ビめそぼたみあ平原ノ間チくるぢすたんノ高臺ト云フ、其ヨリ西ハあるめにあ及ビ小亞細亞ノ高臺ナリ。

以上ニ大高臺ノ外、印度ト亞拉比トニハ小高臺アリ。

山岳。 ひまらやハ世界第一ノ高山脈ニシテ、長サ八百里ニ餘リ、印度ノ北境ニ方リテ弧狀ノ連直チナセリ、其ノなばれすと即でおとんが峯は二万九千尺餘ニシテ、峯頭天チ摩スルノ勢アリ、實ニ世界第一ノ高峯タリ。其ノ他二万尺ニ超ユル峯嶺極メテ多ク、且本山脈ノ特性タル、其ノ間ニ著キ陷凹ナシ、故ニ低キモ一萬六千尺ナラズト云フ。

沙漠。 亞細亞大陸ニハ、東北ヨリ西南ニ走ル一帯ノ沙漠地アリ、中間ニ斷絶アル

モ、其ノ脈蓋阿非利加洲さはら大沙漠ニ連続スルモノニ似タリ。此等ノ沙漠地ハ何レモ降雨極メテ少シ、今其ノ重ナル區分チ舉グレバ、蒙古ノ高地ニモびノ沙漠アリ、經度凡四十度ノ間ニ涉レリ、印度ノ北部印度河ノ東ニたるノ沙漠アリ、之ニ次ギテ波斯ノ沙漠アリ、更ニ進ミテ亞拉比ノ沙漠アリ、砂ノ深サ六百尺ニ達スル所アリト云フ。其ノ外ゆうふらちすぢぐりす二川ノ間ニめそぼたみあノ沙漠アリ、じおるだん溪谷ノ東ニしりあノ沙漠アリ。

平原。 亞細亞ノ低地ノ最廣大ナルハ西伯利亞平原ナリ、此ノ地ハララるノ一山脈ヲ界トシテ歐羅巴洲魯西亞ノ平原ニ連レリ。之ニ次グ廣原ハ、支那ノ沃野即黄河ト、楊子江トノ間ノ大平洋ニ面スル部分ナリ、此ノ兩地ノ間ナル滿州ノ平野ハ、主トシテ黒龍江ノ流域ヨリ成レリ。印度ニハ印度河及ビ恒河ノ畔ニ平原アリ。西ノ方ちぐりす、ゆうふらちす河、傾ニハめそぼたみあノ平原アリ、而シテあらる河ノ四近土耳機斯坦ノ平原ハ西伯利亞廣原ニ連ナル。

河川。 亞細亞ノ大河ハ多ク源チ中央部ノ高臺地方ニ發シ、三方ニ流下シ、北氷、太平洋、印度ノ三大洋ニ注グ。其ノ北氷洋ニ朝スルモノニハ、たび、悉にせい、れなノ三大河

アリ、太平洋ニ注グモノニハ、黒龍江、黄河、楊子江ノ三大河アリ、印度洋ニ入ルモノニハ、めこん、さるえん、いらわでい、ぶらまふうどら^チ、^チ、恒河、印度ノ諸川アリ、此ノ外西南ニちぐりす、ゆうふらちすノ二川アリ、

楊子江は亞細亞第一ノ大河ニシテ、流程千四百里、支那中央部ノ排水ヲ掌リ、黄河ハ流程一千一百里、支那北部ノ排水ヲ掌ル、共ニ西藏ニ發スルモ、其ノ水源未充分ノ探檢ヲ得ズ、而シテ其ノ下流沿岸ノ地ハ、土壤豊沃ニシテ人口稠密ナリ。

ぶらまふうどら河ハ印度北東ノ大河ニシテ、流程凡八百餘里、其ノ水源未明カナラズ、恒河モ亦大河ニシテ、流程凡六百餘里、其ノ河傾ノ地ハ人口密殖ス、印度河ハ西北ノ大河ニシテ、長サ凡八百餘里アリ、ゆうふらちす^チ、^チ、河ハ其ノ支流タルちぐりす河ト並行シテ流レ、波斯灣ニ入り、其ノ河傾ノ地ハ人口頗繁殖セリ、以上ノ諸川ハ亞細亞著名ノ大河ニシテ、土地ノ生産力ヲ涵養スルノ効甚大イナリ、北氷洋ニ朝スル西伯利亞ノ三大河モ極メテ長大ナレドモ、地北部ニ偏シ、氣候極メテ寒冷ナルガ爲ニ、其ノ人文上ニ及ス効益甚少シ。

亞細亞ノ諸川中ニハ全ク海ニ朝セズシテ内地ノ鹹湖ニ注入スルモノアリ、東土耳

機斯坦ノ地ハ高臺中ノ低地ニシテ、海面ヨリ高キコト僅ニ二千尺ニ過ギズ、故ニ此ノ部分ニ於イテ斯クノ如キ水流甚多シ、中ニ就キテたりむ河ハ最著キモノニシテ、近傍ノ水ヲ併セテるぶのる湖ニ注グ、土耳其機斯坦ノ諸水ハあらゆる海トばるかじ湖トニ入り、あふかにすたんノ諸水ハしすたん湖ニ入ル、波斯ノ水流ニハ、中道消失シテ、全ク海ニ注ガザルモノ尠カラズ。

湖沼 亞細亞ノ大湖ハ皆鹹湖ナリ、其ノ最大イナルハ裏海ニシテ、西境ニ位シ、面積凡三万方里、其ノ水平海面ヨリ低キコト凡一百尺、製鹽ノ業盛ンナリ、あらゆる海ハ裏海ノ東ニ在リテ、面積四千四万方里、水平海面ヨリ少シク高シ、而シテ此ノ二海ノ水ハ次第ニ乾涸スルノ勢アリ、すねす地峽ノ東部ニ在ル死海(二百三十方里)ハ海水面ヨリ低キコト一千三百尺ノ甚シキニ及ブ、あらゆる海ノ東ニ位スルばるかじ湖ハ、面積凡四千四万方里、其ノ水又鹽質タリ

淡水ノ最大イナルハばいかる湖ナリ、面積凡二千三百方里、西伯利亞ノ南境ニ在リテ、れなノ水源ト爲にせい河一支流ノ水源トナナス。

氣候 亞細亞ハ熱帶ヨリ寒帯ニ廣ガリ、地ノ高低ニモ亦著キ相違アリ、故ニ其ノ

氣候一様ナラズ、然レドモ之ヲ大別シテ概四種トスベシ。

印度、印度支那、支那南部、馬來群島ハ暖濕ノ氣候ナリ、亞拉比、土耳其、波斯、あふがにす
たんノ如キ西南亞細亞ハ暖乾ノ氣候ナリ、西伯利亞ハ寒冷嚴シク、中央亞細亞及ビ
支那ノ北部ハ寒暖ノ相違甚シ、即冬ハ極メテ寒ク、夏ハ極メテ暑シ。

寒暑ノ相違ハ山岳高臺地方ニ於イテ極メテ甚シ、日光直射スルトキハ暑氣煖クガ
如ク、寒氣來ルトキハ近傍ノ低地ヨリモ頗峻烈ナリ。

動物。 亞細亞ハ三帶ニ跨ルガ故ニ、動物ニモ亦三帶固有ノ特種アリ、殊ニ其ノ南
部ノ地ハ多種ニシテ、巨獸猛獸多シ。

西伯利亞ニハ白熊、狼、狐、貂、獺ノ如キ毛皮ノ價値アル動物多ク、又猪、鹿、馴鹿、大鹿ノ類
アリ、中部ノ高臺地方ニハ特有ノ動物少カラズ、人ノ使役ニ供スベキ動物ノ祖先ハ
此ノ部ヨリ出デタリ、故ニ野生ノ馬、驢、馬、駱駝等ハ今日モ尙見ル所ニシテ、其ノ他ニ
鹿アリ、野牛アリ、麒麟アリ、熱帶地方ニ至レバ、動物ノ種類ノ許多ナルコト枚擧ニ遑
アラズ、巨獸ニハ象アリ、犀アリ、水牛アリ、獅子ハ藪地ニ吼エ、虎ハ林間ニ嘯キ、ひねな
じあかるハ山野ニ徘徊シ、猿猴アリ、猩猩アリ、且毒蛇多ク、而シテ大陸ノ南部ニハ鱷

魚アリ。

魚類モ亦其ノ種類極メテ多シ、東亞細亞ニハ羽毛ノ美麗ナル鳥少カラズ、印度ノ鷓
鴒、孔雀、支那ノ錦鷄、鳥ノ如キハ其ノ著キモノナリ、凡ベテ印度ハ羽毛ノ燦爛タル禽
鳥ノ種類ニ富ナリ。

植物。 印度、印度支那、南部支那ノ地方ハ氣候暖濕ナルヲ以テ植物ノ繁茂盛ンナ
リ、亞拉比、土耳其、波斯、あふがにすたん及ビ西部印度ノ如キ沙漠質ノ地方ニテハ、大

木巨材ニ乏シク、樹木矮小ナリ、河川ノ灌溉ニ裕カナル地ハ豊沃ナラザルニ非ズト
雖、氣候概乾燥ナルヲ以テ、草木ノ鬱鬱タルモノ稀ナリ、蒙古、土耳其、機斯坦ノ沙漠地ハ
西部ノ沙漠地ニ類スル所アルモ、氣候稍寒冷ナルヲ以テ、樹木少ク、鹽質ノ地ニ生ズ
ルガ如キ短矮植物アルノミ、而シテ北氷洋ヨリあるたい山脈及ビ北部支那ニ渉ル
地方ニハ、松柏ノ類多ク、且かうかさす山脈ヨリえるふるづ山脈ヲ經テひまらやニ
及ブ山地ニモ、亦此ノ類ノ樹木アリ。

南部及ビ東南部ノ地ニハ、草木ノ種類甚多シ、ひまらや山ノ南側ニハ松、樺ノ如キ樹
木茂リ、低地ニハ甘蔗、綿、阿片、藍、米ノ如キ熱帶植物繁生シ、海岸地方ニ沿ヒテハ椰子

楡ばんやん樹及び香料植物多シ。西部ニハ矮柳著ク、更ニ葡萄、梅、櫻、梨、杏、橄欖ノ類アリ。蒙古ノ沙漠地ニハ春時綠草叢生シ、太平洋ニ接スル地ニ至レバ、樹木ノ生殖盛ンニ、西伯利亞ニテハ僅ニ矮柳、矮樺ノ類ヲ見ルノミナルモ、其ノ南部ニハ松柏ノ深林アリ。

凡ベテ亞細亞ハ有用植物ノ原地ニシテ、小麥、大麥、燕麥、稷、葱、芹、豆類ハ西部亞細亞ヨリ出デタリ。又林檎、梨、櫻、桑等モ最初ハ亞細亞ニ出デ、松、樺、柳、白楊等モ是ヨリ他ニ移殖セラレタリ。

礦物。 亞細亞特産ノ礦物ヲ舉ゲンニ、金、銀、白金、銅、鉛、石炭ハ西伯利亞ニ多ク、鐵、石炭ハ東部及ビ南部ニ富ミ、鉛ハ支那、西伯利亞、土耳其ニ産シ、錫ハ馬來半島ニ多シ、西部地方ニモ銅、銀、金、鐵、石炭アリ、而シテ錫蘭島及ビ波斯灣ヨリハ眞珠ヲ産ス。

人種、宗教。 かうかさす山脈ヨリひまらや山脈ノ東部ニ至ルマデ、亞細亞ヲ二分スルニ、此ノ界線ノ北部ニ住スルモノハ蒙古人ニシテ、南部ニ住スルモノハかうかしあ人種ナリ、但シ馬來半島ニハ馬來人種アリ。

蒙古人種ノ重ナル土耳其人、蒙古人、支那人、日本人等ハ、其ノ著キ分屬ナリ、かうかし

あ人種ノ中、印度人、あふが人、波斯人、あるめにあ人ハありあん種ニ屬シ、亞拉比人ハせみちつく種ニ屬ス。

世界著名ノ宗教タル佛教、婆羅門教、耶蘇教、猶太教、回教ハ、皆亞細亞ヨリ興リタリ、而シテ耶蘇、猶太ノ二教ハ全ク西遷シ、今日此ノ部ニ行ハルルハ、佛教、回教及ビ婆羅門教ナリ。

佛教ハ印度支那、支那、日本ニ行ハレ、婆羅門教ハ印度ニ流行シ、回教ハ土耳其、亞拉比、土耳其、波斯、あふがにすたんノ如キ西部諸邦ニ行ハレ、印度人ノ五分ノ一ハ亦此ノ教ヲ奉ズト云フ、但シ此等ハ多ク北部ニ住スルモノタリ。

生業、交通。 北部ノ住民ハ漁獵ニ従事シ、中央部ノ人民ハ水草ヲ逐ヒテ、游牧シ、東部、南部及ビ西部ノ住民ハ、定住シテ諸業ニ従事スルモ、其ノ重ナル生業ハ農事ナリ、内部草原及ビ高臺ノ人民ハ共ニ牧畜ヲ事トシ、西伯利亞ノ住民ハ獵業ヲ主トス、印度ニハ紡績業盛ニ行ハレ、日本、支那、印度、波斯、小亞細亞ノ人民ハ種種ノ美術業ニ名アリ。

商業ハ其ノ由來極メテ遠シ、然レドモ今日ハ僅ニ印度、支那、日本ノ三國ニ於イテ盛

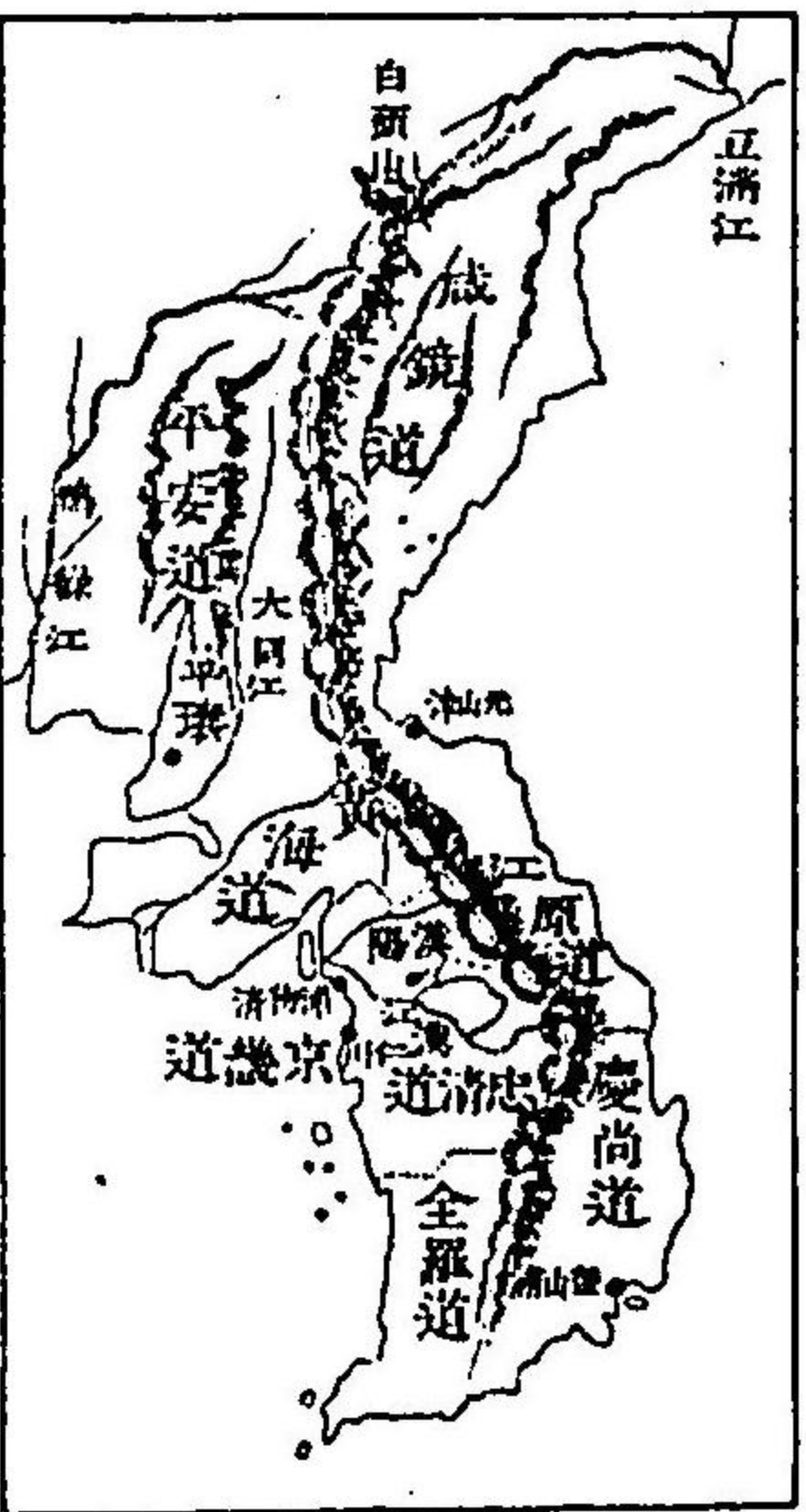
大ナルノミ。

亞細亞ノ大河中、交通ニ便ナルモノ少カラズ。支那ノ交通ハ大率水路ニシテ、有名ナル大運河アリ、印度モ亦運河ノ事業大イニ進歩セリ。而シテ陸路ハ各國共ニ十分ニ開發セズ、多クハ野逕ノ類ノミ。印度ニハ英人ノ布設ニ係ル鐵道ノ延長二万哩アリ、又日本及ビ小亞細亞ニモ既成ノ鐵道アリ、支那ハ將ニ之ヲ布設セントスルノ議ヲ起シ、魯西亞人ハ之ヲ以テ西伯利亞ヲ東西ニ横過スルニ汲汲タリ。

第二章。東亞細亞。

(一) 朝鮮王國。

總叙。 朝鮮王國ハ亞細亞大陸ノ東側ヨリ日本本州ト相對シテ北ヨリ南ニ突出スル半島國ニシテ、南北二百五十里、東西六十里、面積一万三千八百万方里、即我が本州



ヨリ少シク劣レリ、人口ハ凡一千〇五十三万、西人此ノ土ヲこれあと呼ブ、高麗ヨリ轉訛セル稱呼ナリ。

此ノ國北ハ長白山及ビ鴨綠、豆滿ノ二江ニ由リテ滿州ト界限ヲ立テ、東ハ日本海ニ面シ、西南ハ渤海及ビ黃海ニ臨ミ、朝鮮海峡ヲ隔テテ日本ノ九州ト相望ム。全國ヲ咸鏡、平安、黃海、京

畿、忠清、江原、慶尙、全羅ノ八道ニ分ツ。

海岸、港泊。 東部ノ海岸ハ屈折極メテ少ク、西岸ハ屢出入アリテ島嶼多シ、其ノ

中ニ西南端ヲ離レテ、我が肥前ト對スル濟州島ハ最大ニシテ、長サ十八里アリ。東岸ノ中央部ナル永興灣中ニ元山津ノ一港アリ。南岸半島ノ盡頭ニ釜山港アリ、西岸ノ中央部ニ仁川港アリ、三港ハ皆此ノ國ノ要港タリ。

地勢、山岳。 本部ノ地勢タル、山岳甚多シ、其ノ全長ヲ通ジテ連山ノ脊梁ヲナスモノヲ小白山トス。即北境長白山脈ニ起リ、國ノ東岸ニ偏シテ國中ヲ通ジ、南端ニ達ス。故ニ東岸ノ部分ハ地ノ傾斜急ニシテ、所所ニ斷崖絶壁多シ。小白山中ノ最高峰ハ八千一百十四尺ニ達シ、次ギハ六千三百十尺次ハ五千尺ニ及ビ、而シテ山勢ハ東南ニ下ルニ從ヒテ遞減ス。以上山脈ノ西南側ハ總ベテ傾斜急ナラザルヲ以テ、地稍平坦ニシテ田畝開ケ、人口繁殖セリ。

河川。 全國ノ形勢ヲ云ハバ、日本海ノ沿岸ハ地狹クシテ、傾斜甚シク、而シテ西南ハ自低平ナルヲ以テ、黃海ニ注グ水ニハ長流アリ、鴨綠江ト豆滿江トノ二川ハ北方支那州ノ境ニ在リ、二江ノ水源ハ長白山脈中ノ白頭山ニシテ、國ノ脊梁タル小白山ハ即此ノ峰嶺ヲ起首トスルモノナリ。豆滿江ハ東北ニ流レ、鴨綠江ハ西南ニ流ル、二江共ニ多少舟楫ノ便アリ。其ノ他河川ノ重ナルモノハ漢江ニシテ、國ノ中央ヨリ

西方ニ流ル。

氣候。 朝鮮ハ南北ニ長キヲ以テ、氣候著キ相違ナキ能ハズ、其ノ緯度上ノ位置ハ殆我ガ本州ニ似タリト雖、寒暑ノ懸隔ハ我ヨリモ稍甚シ、是其ノ背部ノ氣候順和ナラザル大陸ニ接スルヲ以テナリ。東部海岸地方ハ寒流ノ影響ヲ蒙リ、且背後ニ重嶂ヲ負フヲ以テ、西南部ニ比スレバ氣候寒冷ナリ。冬期ニハ鴨綠、豆滿ノ兩江共ニ氷結シ、人馬氷上ヲ往來ス。而シテ夏期ニハ濕潤温暖ノ風西南ヨリ來リ、冬期ニハ寒冷ノ北風長白山ヨリ來ル、是レ寒暑ノ懸隔甚シキ所以ナリ。

產物、貿易。 全國ノ氣候寒冷ニ過グルヲ以テ、農産豐カナラズ、東北ノ山地ハ林樹鬱鬱トシテ土地開ケズ、人口稀少ナレドモ、西部ノ平地ハ米麥以下ノ穀類、菜蔬及ビ綿ヲ産ス、而シテ國ノ特産ハ人參ニシテ、次ギテ牛馬トス。山野ニハ虎、熊、猪等アリ。海中ニハ鯨、海豹等アリ、礦物ニハ金、銅、鐵、石炭等アレドモ、採掘ノ業未盛シナラズ。輸出品ノ重ナルモノハ米、豆、海藻、砂金、鯨骨、人參、生糸、牛皮等ニシテ、輸入品ノ重ナルモノハ絹、木綿織リ物、金屬、染料、食鹽、器具類ナリ。

都會。 京城ヲ漢城ト云フ、國ノ中央ニ在リテ漢江ニ臨ム、人口二十五万アリテ周



朝鮮京城外廓

圍ニ城壁ヲ繞ラセリ。仁川ハ西岸ニ在リ、京城ニ近キ地ナルヲ以テ貿易盛ンナリ。釜山ハ東南ノ要港ニシテ、我が對馬ト一衣帶水ヲ隔ツルノミ、故ニ日本人ノ寄留者頗多シ。元山津ハ東岸ノ要港ニシテ、其ノ近傍土地膏腴、豆類ヲ初メトシテ種種ノ產物ヲ出ス。以上三港ニハ我が領事廳アリ。

政體風俗 政體ハ世襲ノ君主專制ニシテ、從來國王ノ下ニ領議政、左右議政アリ、吏曹、戶曹、禮曹、兵曹、刑曹、工曹ノ六官省ト共ニ中央政府ヲ組織シ來リシガ、明治廿七年我が邦ノ制ニ倣ヒテ官制ヲ改革シ、內務、外務、度支、軍務、農商務、工務、學務、法務ノ八省ヲ置キ、各省ニ大臣アリテ各其ノ政務ヲ掌リ、

總理大臣アリテ中央ノ政務ヲ統督ス。而シテ今後尙我が邦百級ノ制度ヲ參酌シテ大ニ革新スル所アラントス。

朝鮮ハ一時ハ支那ノ進貢國ナリシモ、屬國ニ非ズ、明治九年我が國始メテ一獨立王國ト見做シテ通商條約ヲ締結シテヨリ、歐米諸邦モ亦此ノ例ニ倣ヒ、今日ニ至リテハ各國皆之ヲ一ノ獨立王國ト認メタリ。サレバ支那ノ妄想ヲ破リ、朝鮮獨立ノ實ヲ世界ニ顯彰シタルハ、偏ニ我が日本ノ好意ニ由レリ、故ニ今ハ益我レノ恩威ニ膺リ積年ノ政弊ヲ改メ、國運ノ進歩ヲ計ラントスルニ汲汲タリ。

傳ヘ云フ、此ノ國ハ初メ殷ノ箕子ノ建ツル所ナリト。我が神功皇后ノ之ヲ征伐シ給ヒシ頃ハ、新羅、百濟、高麗ノ三國ニ分レ、新羅ハ今ノ慶尙道ノ地ヲ占メ、百濟ハ忠清、全羅兩道ノ地、高麗ハ平安、黃海、咸鏡、京畿四道ノ地ヲ領セリ、其ノ後全國新羅ニ統一セラレ、後高麗ト稱セシガ、今ハ朝鮮ト稱セリ。

風俗ハ支那明朝時代ノ制ヲ用ヒ、文字ハ漢字ノ外ニ、我が假名文字ノ如ク子母配合シテ音ヲナス諺文ナルモノアリ。人民ニハ貴族平民ノ族制アリテ、平民ハ高官ニ昇ルヲ得ズ。文學、技藝ハ未甚開ケズ、上流ノ士ハ儒教ヲ奉ジ、多數人民ハ佛教ニ歸依ス。

(二) 支那帝國其ノ一—支那本部。

總叙。支那ハ亞細亞ノ東部ト中央部トヲ占ムル大帝國ニシテ、北ハ西伯利亞ニ



境シ、東ハ海ニ臨ミ、南ハ印度及ビ印度支那ニ連リ、西ハ印度、土耳其、機斯坦、アフガニスタンニ接ス。
 全國境域ノ大キサヲ稽フルニ、面積七十一万二千九百方里、人口四億万ニ超エ、其ノ版圖ハ亞細亞全洲ノ四分ノ一ニ餘リ、歐羅巴全洲ヨリモ廣ク、之ヲ我が日本帝國ニ比スレバ、凡其ノ三十一倍ニ當ル。而シテ人口ノ稠密ナルコト、世界各國中第一位ニ在リ。

全城ヲ分チテ本部及ビ外藩ノ二地トシ、而シテ外藩ヲ滿洲、蒙古、伊犁、西藏ノ四州ニ分ツ。左ニ本部及ビ外藩ノ面積及ビ人口ヲ表出ス。

| 地名 | 面積 (方里) | 人口 |
|------|---------|-------------|
| 支那本部 | 二二五、九五〇 | 三八六、〇〇〇、〇〇〇 |
| 外藩 | | |
| 滿洲 | 六一、二五〇 | 七、五〇〇、〇〇〇 |
| 蒙古 | 二二七、七〇〇 | 二、〇〇〇、〇〇〇 |
| 伊犁 | 二五、〇〇〇 | 六〇〇、〇〇〇 |
| 天山北路 | 七三、〇〇〇 | 五八〇、〇〇〇 |
| 天山南路 | 一一〇、〇〇〇 | 六、〇〇〇、〇〇〇 |
| 西藏 | 一一〇、〇〇〇 | 六、〇〇〇、〇〇〇 |
| 計 | 七二二、九〇〇 | 四〇二、六八〇、〇〇〇 |

本部ノ境域及ビ區畫。支那本部ノ地タル、東ハ太平洋ニ面シ、南ハ支那海及ビ安南ニ接シ、西ハ緬甸、西藏ニ界シ、北ハ蒙古ニ連リ、南北七百餘里、東西五百五十里アリ、其ノ海ニ面スル部分ハ稍半圓形ヲナス。
 全部ヲ十九ノ行政省ニ區畫ス、今地勢上ヨリ北、中、南ノ三部ニ分ツ、北部ニハ直隸、

山東、河南、山西、陝西、甘肅ノ六省アリ、中部ニハ江蘇、安徽、湖北、四川、貴州、湖南、江西、浙江ノ八省アリ、南部ニハ福建、廣東、廣西、雲南、臺灣ノ五省アリ。

海岸、屬島。

本部ノ海岸ハ殆半圓形ヲナシ、延長凡二千里ニ達シ、之ヲ面積ニ比スレバ百十二方里ニ一里ノ割リ合ヒナリ。東北岸ニハ渤海ノ蝕入アリ、北ヲ遼東灣ト云ヒ、南ヲ直隸灣ト云フ、其ノ水黃海ニ續キ、中間ニ山東半島突出ス。黃海ノ南ヲ東海ト云ヒ、又其ノ西南ヲ支那海ト云フ。西南海岸ニハ東京灣アリテ、其ノ水支那海ニ接ス。黃海ノ沿岸ハ地勢低平ナレドモ、西南部ハ斷崖削立シテ島嶼多シ。

屬島ノ重ナルモノヲ臺灣、海南ノ二島トス。臺灣島ハ長サ凡百里ニ達シ、日本極南ノ琉球諸島ト東西相對ス、其ノ大陸ト隔ツル間ヲ臺灣海峽ト云フ。此ノ島元ハ福建省ニ隸セシガ、今ハ獨立ノ一省トナレリ。海南島ハ一ニ瓊州島ト稱ス、東京灣ノ口ヲ扼シ、長サ凡八十里、面積臺灣ト伯仲シ。廣東省ニ屬ス。港泊ノ重ナルモノハ直隸灣内ニ天津港アリ、楊子江口ノ傍ニ上海港アリ、臺灣島ニ對シテ福州、廈門ノ二港アリ、廣東河口ニ廣東港アリ、是ヨリ少シク離レテ海中ニ二小島アリ、東ナルモノニ香港アリ、英國ノ所轄ニ屬ス、西ナルモノニ澳門港アリ、葡萄牙ノ所領ニ屬ス。

地勢、山岳。

支那本部ノ地勢ハ東ヨリ西ニ進ムニ從ヒテ漸高ク、其ノ重要ナル山脈三アリ、雲嶺、北嶺、南嶺是ナリ。雲嶺ハ西境ニ在リ、其ノ脈北東ニ延ビテ興安嶺ニ連ル、北嶺ハ西境ヨリ出デテ東方ニ横走シ、殆中央部ニ在リ、南嶺ハ南部ニ偏シ、北嶺ト平行シテ西ヨリ東ニ走ル、故ニ支那本部ノ地勢ハ自然ニ三部ニ分ル。北嶺以北ハ即黃河灌溉ノ域タリ、北嶺、南嶺兩山脈ノ間ハ即楊子江河領ノ地ニシテ、甚廣大ナル肥沃ノ原野タリ、此ノ部ハ古來中原ト呼ビテ、歷代諸朝興廢ノ中心ヲナセリ。而シテ南嶺以南ハ廣東河ノ灌溉ニシテ、地區狹シト雖、是亦肥沃ノ一大平野タリ。

河湖。

黃河ハ西藏高臺ノ東北部ヨリ發シ、北嶺ノ北ニ沿ヒテ東流シ、下流ニ至リテ東北ニ向ヒ、渤海ニ注グ、今ヨリ四十年前即西曆一千八百五十三年頃ニハ、支那海ニ注ギシガ、爾來水路變更セリ、是ノ水三四千尺ノ高地ヨリ落下シ來ルヲ以テ、土砂ヲ流出スルコト極メテ多ク、河底次第ニ埋リテ水路ヲ變ズルニ至ル、二千五百年以來九回其ノ注口ヲ更ヘタリト云フ。サレバ水色常ニ濁リテ、舟楫ノ便少ク、治水ノ業頗困難ナリト雖、年年海底一百尺ヲ埋メテ新地ヲ形成シ、其ノ灌溉ヲ蒙ムル兩岸ノ地ハ地味頗肥沃ニシテ、農業上ノ生産力ニ富メリ。

楊子江ハ東半球第一ノ大流ニシテ、源ヲ西藏ノ東部ニ發シ、其ノ注口ヨリ上流四百
里ニ舟ヲ行ルヲ得ベシ、若其ノ支流舟行ノ利ヲ併セ算スレバ、通運ノ便實ニ五百里
ニ及ブ、故ニ國人交通上頗必要ノ水ナルノミナラズ、其ノ灌域ハ地味極メテ豐カニ、
支那帝國中最人口物産ニ富ム處タリ。

紅江即廣東河ハ南部ノ排水灌漑ヲ主リ、舟楫ノ利極メテ大イナリ、地區凡千二百餘
里ハ此ノ河ノ通運ニ頼リ、全ク陸路ヲ要セザル割リ合ヒナリ。

小流ニハ極北ニ白河アリ、福建省ニ閩江アリ。

湖沼ノ重ナルモノヲ舉グレバ、楊子江畔ナル洞庭、鄱陽ノ二湖トス、洞庭湖ハ長サ三
十里、鄱陽湖ハ少シク之ニ遜ス。

氣候。 支那ハ地積廣大ニシテ、緯度數十度ニ跨ルヲ以テ、南北氣候一様ニ出デズ、
今地勢ニ從ヒテ之ヲ分ツニ、北部即黃河以北ノ地ハ西伯利亞ニ接スルヲ以テ、緯度

ニ比シテハ寒氣強ク、河水氷結ス、而シテ夏ニ至レバ暑氣反リテ強シ、中部ハ寒暖ノ
懸隔北部ノ如クナラズ、而シテ梅雨甚シク、夏期ハ濕潤ニシテ冬期ハ乾燥ナリ、南部
ハ氣候暖帶ニ類シ、乾濕ノ二期アリ、四月ヨリ十月マデハ多雨ノ期ニシテ、秋夏ノ頃

ニハ支那海特有ナル颶風ノ襲來ヲ蒙ル。

物産貿易。

支那ハ農業國ナリ、北部ハ小麥、大麥、玉蜀黍其ノ他ノ穀類、菜蔬ヲ產
シ、中部ハ物産最富饒ニシテ、米、絲、綿、砂糖其ノ他ノ農産物ニ名高ク、西方ノ山地ヨリ
ハ材木ヲ出ス、南部ハ熱帶植物ニ富ミ、米、甘藷、砂糖等ヲ重ナル産物トス、近年大イニ

鴉片ノ培養ニ從事スルニ至レリ。
家畜ニハ牛、馬、豚、水牛、家禽等アリ、人口ノ稀少ナル山地ニハ虎、豹アリ、猿、猴、鳥類ハ極
メテ多種ナリ。

礦物ニハ各省共ニ石炭、鐵、銅、以下ノ諸金、礦多シト雖、礦業未充分ノ
發達ヲ得ズ、支那ノ技藝ハ陶器業ヲ最トス。

輸入品ノ重ナルモノハ、鴉片、綿花、木綿、毛織リ物、金屬、石炭、石油、海産物ニシテ、輸出品
ニハ茶、生糸、砂糖、獸皮、紙、陶器、蠶織リ物等アリ。

都會交通。

京城ヲ北京ト云フ、人口凡百五十万ノ大都會ニシテ、街衢縱橫ニ正
シク、周圍ニ城壁ヲ繞ラシ、内城即北區、外城即南區ノ二部ニ分ツ、内城ニハ諸官衙、王
侯ノ居邸、八旗兵ト稱スル親衛兵ノ家等アリ、外城ハ市民ノ住處ニシテ、商業ノ地ナ



天津

リ。但シ街衢ノ汚穢ナルコトハ外邦人ノ一驚
 チ喚スル所ナリ。
 北京ノ南三十三里、白河ニ臨ミテ天津ノ都會
 アリ、海岸ヲ距ル十四里、人口凡九十五万、北京
 ノ咽喉ヲ扼スル開港市場ナルヲ以テ、物貨輻
 湊、商業繁盛ナリ。其ノ他北部ノ要區ニハ山東
 半島ノ北岸ニ芝罘港アリ。
 中部ニハ繁華ノ都會極メテ多ク、揚子江口ヨ
 リ二百九十里ヲ上リ、北岸ニ漢口アリ、人口八
 十万アリテ、運輸四達ノ要區タリ。上海ハ揚子
 江口ニ近キ開港市場ニシテ、人口凡四十万ア
 リ。南京ハ前代ノ舊都ニシテ、上海ノ西、揚子江
 ノ南岸ニ在リ、人口凡十五万、昔時ハ昌盛ヲ極
 メタレドモ、今ハ大ニ衰ヘタリ。其ノ他ノ要區

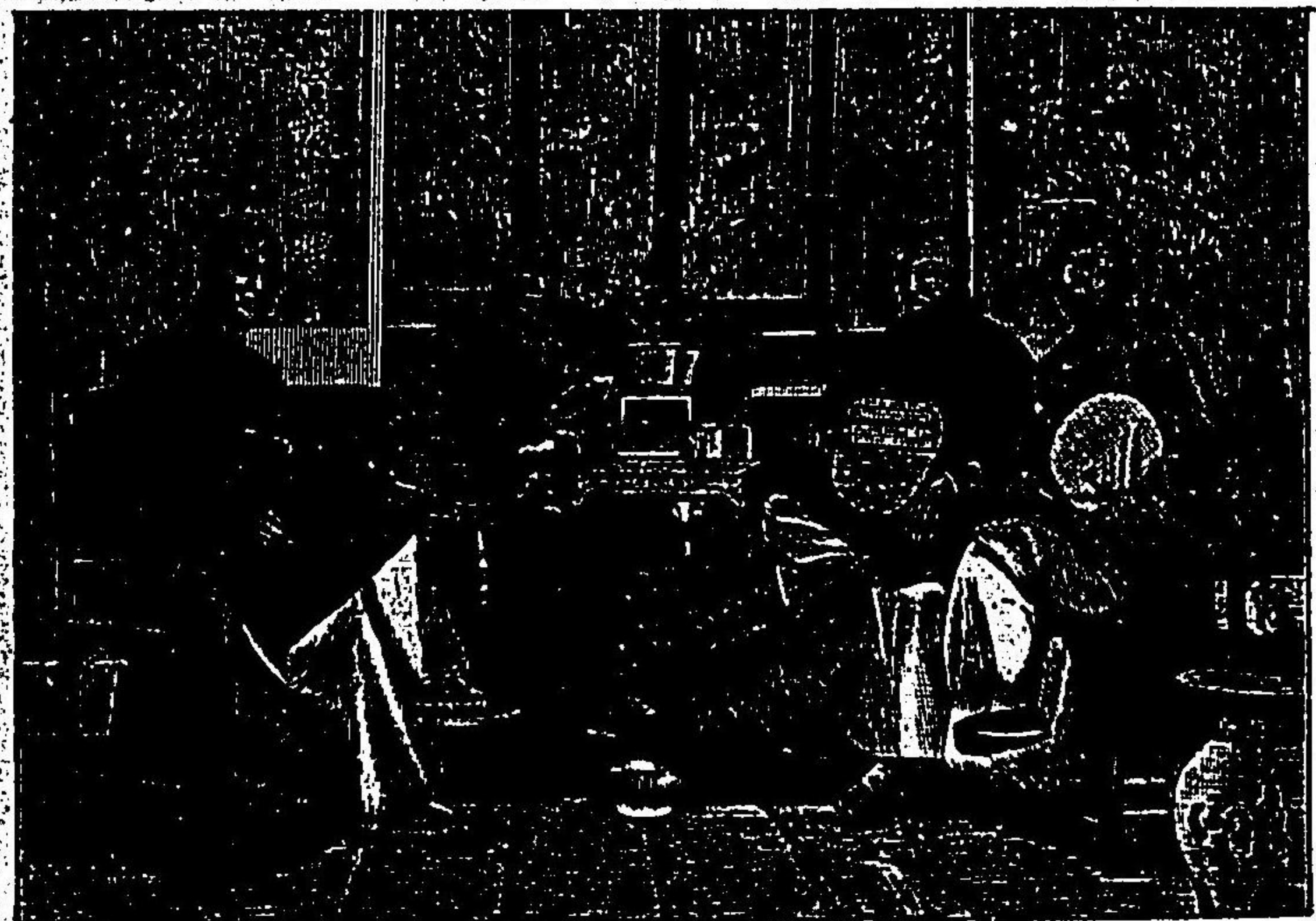
ニハ上海ノ南海岸ニ寧波アリ、人口二十五万ノ一海港タリ、又揚子江畔ニハ宜昌、九
 江、鎮江等ノ交易場少カラズ。

南部支那ノ大會ハ廣東ニシテ、人口百六十万アリ、南部内外ノ貿易、皆此ノ所ヲ衝
 トス、港内帆船林立、頗繁華ヲ極ム。之ニ次グハ福州ニシテ、人口凡六十四万アリ、廈門
 ハ人口凡十万アリ。香港ハ廣東ヲ距ル二十三里ノ小島上ニ在リ、人口二十二万餘、買
 易昌盛ニシテ、東洋第一ノ碇泊場ト稱ス。澳門ハ香港ノ英人ニ屬シテ、ヨリ大イニ其
 ノ商權ヲ奪ハレ、今ハ舊時ノ盛觀ナシ。

支那東部平原地方ノ交通ハ、主トシテ水理ニ由ル、河川、運河皆大小ノ船舶ヲ以テ滿
 タシ、南部ニ至レバ、全ク船舶上ニ住居スル人民少カラズ。白河ヨリ揚子江ノ南、抗州
 府ニ通ジテ、有名ナル大運河アリ、南方ノ米穀ヲ北方京城地方ニ供給スルハ、主トシ
 テ之ニ由ル。

政治、風俗。

政體ハ君主獨裁ニシテ、皇帝ノ下ニ大學士二名、大臣四名アリ、以テ
 内閣ヲ組織シ、内閣ノ下ニ吏、戶、禮、兵、刑、土、海ノ七部アリ、併セテ中央政府ヲナス。地方
 ノ政治ハ省ニ總督ヲ置キ、其ノ下ニ知府、知州、知縣アリテ之ヲ理シ、而シテ總督ハ兵



支那人ノ風俗

權ヲ兼有ス。兵士ハ本部及ビ滿州、蒙古ヨリ
 之ヲ募集シ、總員百二十万アリ、中ニ就キ二
 十万餘ノ八旗兵アリ、兵式未充分ノ進歩ナ
 シト雖、親兵八万直隸兵十万ハ、全ク泰西ノ
 兵式ニ倣ヘルモノナリ。
 宗教ハ、佛教廣ク行ハレ、回教、耶蘇教多少ア
 レドモ、上流ノ士ハ專儒教ヲ奉ズ、風俗ハ清
 朝ノ創立以來滿州ノ風ニ倣ヘリ。

沿革大要

支那ハ我が日本トハ文化史上
 最密接ノ關係アル國ナリ、四千年前既ニ文物、
 工藝ノ發達アリテ、實ニ東洋文明ノ泉源ナリ、
 其ノ沿革ハ能ク本邦人ノ知悉スル所ナリ。一
 千八百四十年、英國ト鴉片ノ亂ヲ開キ、因リテ
 香港ヲ讓與シ、五港ヲ開キタリ。其ノ以前ノ開

港場ハ廣東ノミナリシガ爾來内外貿易頗進歩シ、今ハ開港場二十三ノ多キニ及ベリ。
 支那ハ古來一定ノ國號ナク、代統ノ交替ニ由リテ秦漢隋唐宋元明等種種ノ國號ヲナシ、而
 シテ今ハ清ト稱ス。蓋支那トハ清ナル音ヨリ轉セル稱呼ナルベシ。清朝ハ紀元一千六百四
 十四年、滿州ノ酋長愛親覺羅氏明國ヲ亡シテ創立スル所ニ係リ、今ニ至ル迄九世ニ及ベリ。
 世界ニ著名ナル大土功タル万里ノ長城ハ、秦ノ始皇帝匈奴即蒙古人ヲ防ガンガ爲ニ築造
 セシ所ニシテ、東ノ方直隸省ノ海岸ヨリ起リ、西ノ方甘肅省ノ西端ニ終ル、長サ五百餘里、高
 サ二丈五尺、厚サ一丈五尺、煉化石ヲ以テ之ヲ壘ミ、所所ニ穴道小門アリ

(三) 支那帝國其ノ二—支那外藩

滿州。滿州ハ清朝起業ノ地ニシテ、本部直隸省ノ東北ニ在リ、其ノ地北東ハ西伯
 利亞ニ接シ、東南ニ長白山アリテ朝鮮半島ヲ限リ、南ハ渤海灣ニ臨ミ、西ハ興安嶺ヲ

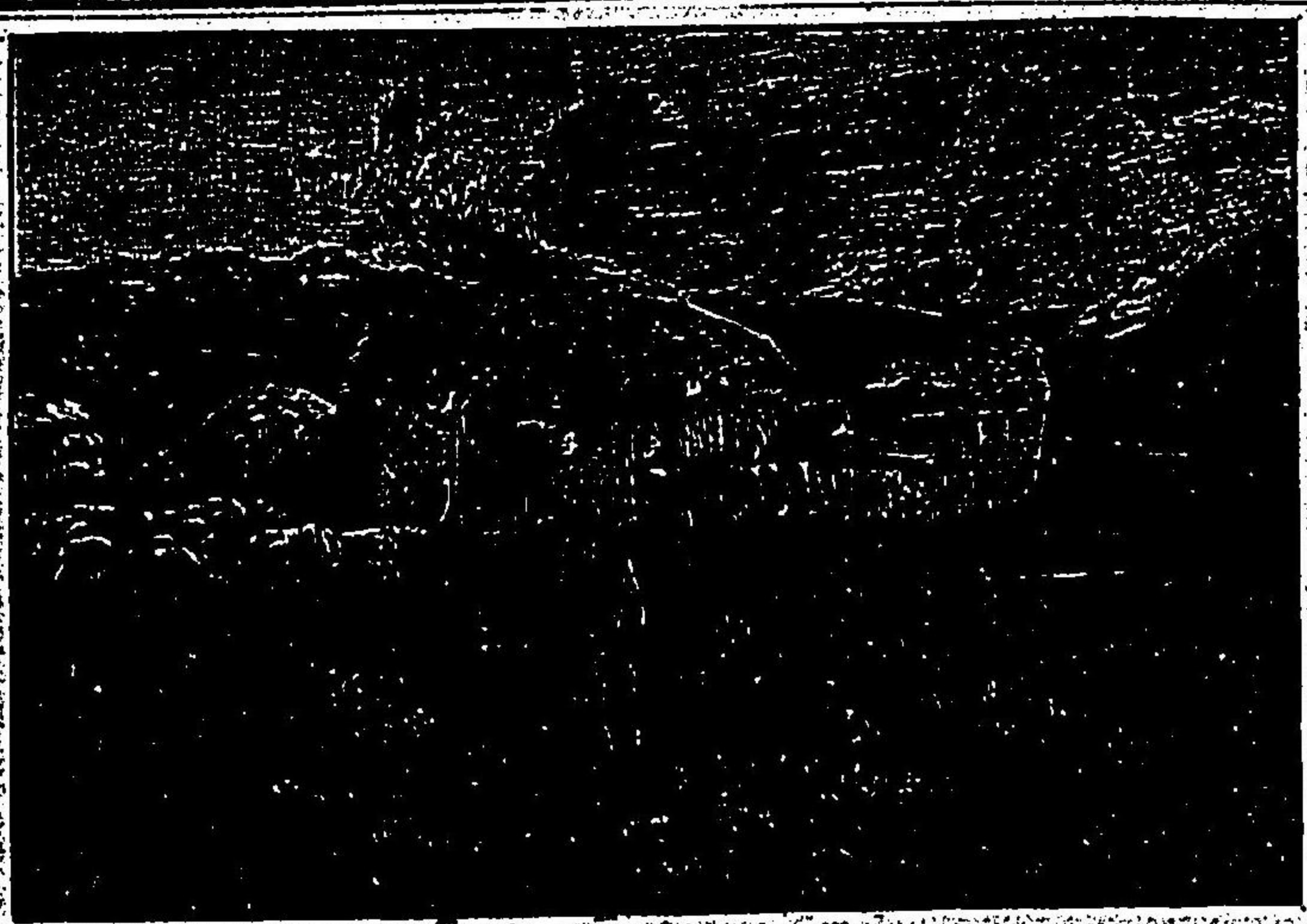
以テ蒙古ニ境ス、本州ヲ盛京、吉林、黑龍江ノ三省ニ分ツ。
 地勢ハ山多クシテ次第ニ北方ニ高ク、國內ニ松花江、遼河ノ二川アリ、松花江ハ北部
 ノ排水ヲ主リテ、黑龍江ニ入り、遼河ハ南部ノ諸水ヲ併セテ渤海灣ニ入ル。國中ヲ南
 北ノ三部ニ分ツ、北部ハ寒氣極メテ強クシテ、林樺ニ富ミ、南部ハ稍温和ニシテ、地味

豊カニ、麻、綿、藍、胡麻、煙草等ヲ産シ、而シテ西部ハ牧畜盛シナリ。國內野獸多ク、居民獸獵ニ由リテ生テ營ムモノ少カラズ。

都會ノ重ナルモノヲ牛莊、奉天、吉林ノ三市トナス。牛莊ハ渤海ニ臨メル海港商市ニシテ、奉天府ハ其ノ北ニ在リ、是州中ノ首府ニシテ清帝ノ離宮アリ、吉林ハ北部ノ都會ニシテ、木材ノ商業盛シナリ。清國派遣ノ鎮撫官之ヲ治ム、人民ハ勇悍ヲ以テ稱セテ、騎射ニ巧ミナリ。

蒙古 蒙古ハ本部ノ西北ニ在リ、長城ヲ以テ本部ト限リ、北ハ西伯利亞ニ接シ、東ハ興安嶺ヲ以テ滿州ニ境ス、西南境ニハあるたい山脈アリ、中央ニハ有名ナル大沙漠アリ、戈壁又しあもト稱シ、長サ八百餘里、幅二百里アリ、但シ沙漠中間雜草灌木ノ生長スル地アリ、是砂地ニ非ズシテ寧磽确ノ地ナリ。

此ノ國ハ亞細亞中央高臺ノ連續ニシテ、中央部ハ高サ三千尺乃至四千尺ニ及ビ、州内ノ河流ハ小流ニシテ、概鹹湖ニ入ル、黒龍江及ビねにせい川ハ北部ノ湖水ヨリ出ツ、氣候ハ寒暑ノ差異甚シク、冬ハ寒氣強ク、夏ハ暑氣堪へ難ク、雨量極メテ少ク、四月頃ハ暴風頻リニ起リ、沙ヲ飛バシ、人畜ヲ艱マス。北境ニハ樹木多シ、住民ハ水草ヲ逐



蒙古ノ天

ヒテ漂泊スル遊牧ノ民タリ、蓋沙漠中牧畜ニ適スル所多ケレバナリ。

都會ノ重ナルモノハ北境ノ賣買城ニシテ、西伯利亞ノきあくたト相接シ、支那、西伯利亞兩國人交易ノ要地タリ、州内ノ運搬ニハ專駱駝ヲ使役ス、其ノ城南ニ位スルからころむト云ヘル地ハ成吉思汗ノ都セシ所ナリ。

州民ハ支那政府ニ對シ貢進ヲ奉ラズト雖、兵役ノ義務アリ、故ニ州内ヲ軍區ニ分チテ、本部派遣ノ鎮撫將軍之ヲ治ス、宗教ハ佛教ニシテ、帳幕ヲ家トスルモノ多ク、掠奪ヲ事トスル匪徒屢起ル。

伊犁 伊犁ノ地ハ蒙古ノ西ニ位シ、あるたい山脈ト崑崙山脈トノ間ノ地ニシテ、又中央

伊犁ノ地ハ蒙古ノ西ニ位シ、あるたい山脈ト崑崙山脈トノ間ノ地ニシテ、又中央

韃靼ト云フ、中央ノ天山ニ由リテ南北ニ部ニ分レ、北ヲ天山北路、新疆又云んが、
あト稱シ、南ヲ天山南路(回疆)又東方土耳其斯坦ト稱ス。
天山北路ハ山嶺多ク、湖沼所所ニ散在シ、地勢ハ東ヨリ西ニ低下ス、州中ノ大河ハば
るか、湖ヲ涵養スル伊犁川ニシテ、其ノ沿岸ノ地ハ地味豊カニ、人口稠密ナリ。此ノ
地往昔ハ一ノ獨立王國ナリシガ、後支那ノ領地トナリ、紀元一千八百七十一年一タ
ビ魯國ニ占領セラレシカドモ、一千八百八十一年ノ條約ニ由リテ再支那ニ歸セリ。
住民ハかるまつく、きるぎすノ韃靼族ト支那ノ殖民人トニテ、牧畜ヲ主トシ、貿易道
路ハ甘肅省ノ西北ヨリ天山ノ北ニ繞リ、伊犁川ニ沿ヒテ魯領ニ入ル、都會ノ重ナル
モノハ伊犁河畔ノくるじあトナス。

天山ノ南路ハ北ニ天山ノ障壁アリ、南ニからころひ崑崙ノ重嶺アリ、西ハばみるノ
高原ニ連ル、故ニ三方山脈ヲ以テ圍マレ、中央ハ沙漠質ニシテ戈壁沙漠ノ連続タリ。
州中ノ水流ハ皆沙漠中ノ湖沼ニ入ル、氣候ハ寒暑ノ懸隔甚シクシテ、雨量少ク風勢
強シ、中央ハ礫礫ナレドモ、周圍ノ山麓ニ沿ヒテ沃地アリ、田畝開ケ、綿、麻等ヲ産ス。支
那ノ内部ヨリ西方ニ通ズル要路ニ當レル首都ナカシがるト云フ、城堡アリ、やるが

んぞハ商市ニシテ、支那人ト西方亞細亞人トノ貿易場タリ。居民ハ韃靼種ニシテ主
トシテ回教ヲ奉ズ、元獨立ノ族長ニ支配セラレシガ、北路ト同時ニ支那ノ爲ニ征服
セラレタリ。

西藏。 西藏ハ本部ノ西ニ位スル世界有名ノ高臺地ニシテ、北ハ崑崙山ヲ以テ限
リ、南ハヒマラヤノ大山脈ヲ受ケ、西ハばみるノ高地ニ連ル、古來外人ノ探検ヲ許サ
ザルヲ以テ地勢明カナラズト雖、僅ニ知り得タル所ニ由レバ、州内ニ淡湖鹹湖アリ、
就中最大ナルモノヲ青海トナス、南部ニハふらまふうとら及ビ印度河ノ深溪アリ、
東方ニハ深林翁蔚トシテ支那及ビ印度支那諸川ノ水源ヲ涵養スル處アリ、地勢ノ
平均高度ハ、我が富士山ニ超エタリ、故ニ寒氣強クシテ、冬期ニハ州内ノ諸湖皆堅氷
ヲ以テ閉塞シ、夏期ニハ降雨アレドモ概シテ空氣乾燥シ、植物ノ發育盛ナラズ、平
地ニハ雜草ヲ生シ、動物ニハ驢、羚羊、山羊等アリ、住民ハ牧畜ヲ主トシ、毛織リ物ヲ製
シ、麝香、沙金ヲ産ス、首府ナラつと云フ、佛教最盛ニシテ僧侶ノ勢力極メテ強ク、
州中ノ政治ハだらいらまト稱スル法王ト支那ノ將軍トニテ分掌ス。

第三章 南亞細亞

(一) 印度支那

總叙。 印度支那トハべんがる灣ト支那海トノ間ニ位スル亞細亞東南部ノ一大半島ニシテ、北ハ支那本部及ビ西藏ニ境シ、西北ノ一部印度ニ接シ、東南西ノ三面海ニ臨ム、面積凡十四萬七千五百方里、人口凡三千六百萬アリ、而シテ本部現在ノ政治區分ハ左ノ如シ。

| 地名 | 面積 (方里) | 人口 |
|-----------|---------|-----------|
| 安南 (安南本部) | 四、五七〇 | 五、〇〇〇、〇〇〇 |
| 下交趾支那 | 五、八七〇 | 九、〇〇〇、〇〇〇 |
| かひぼち | 三、九〇〇 | 二、〇三四、四五三 |
| 暹羅 | 六、五二〇 | 一、八〇〇、〇〇〇 |
| 緬甸 | 四二、二五〇 | 六、〇〇〇、〇〇〇 |
| 馬來半島 | 二八、九七二 | 七、六〇五、五六〇 |
| 馬來半島 | 五、四〇〇 | 三〇〇、〇〇〇 |
| 海峽殖民地 | 一七〇 | 五二二、三四二 |

本部ノ海岸線ハ屈折頗多様ニシテ東ニ東京灣アリ、南ニ暹羅灣アリ、西ニまるたばん灣アリ。

地勢、河川。

本部ハ北部ノ高臺ヨリ發リテ南走スル諸山脈ヲ以テ平行ニ分タレ、河川ハ其ノ間ヲ流ルルヲ以テ水理皆北ヨリ南ニ赴キ、河畔ノ地概豐沃ナリ、河川ノ重ナルモノニハいらわでい、さるえん、溟滄江(めこん)ノ三流アリ、小流ニハ湄南(めなむ)そんかノ二川アリ。

溟滄江ハ本部第一ノ大河ニシテ、源ヲ西藏ニ發シ、支那ノ雲南省及ビ緬甸、暹羅、かひぼち、交趾支那ヲ經テ支那海ニ入ル、流程七百里、注口ニ一大三角洲ヲナス、然レドモ舟楫ノ利ナシト云フ。そんか河ハ安南ノ北部ニ在リ、支那ノ雲南省ニ發シテ東京灣ニ入ル、其ノ沿岸ハ極メテ豐肥ニシテ、人口稠密ナリ。湄南ハ暹羅ノ大河ニシテ、國ノ北境ニ發シ、暹羅灣ニ注グ、此ノ河年年肥沃ノ土壤ヲ其ノ沿岸地ニ供ス。さるえん河ハ雲南省ヨリ來ル、流程いらわでい河ニ比スベク、舟楫百七十里ニ及ブ、いらわでい河ハ支那ノ國境ヨリ發ス、長サ五百里、舟三百七十里ニ通ジ、緬甸ノ中央ヲ貫キテまるたばん灣ニ入ル、河口ノ三角洲ハ頗著名ナルモノナリ。

本部ノ平原ト稱スベキモノ三アリ、いらわでい河ノ肥沃ナル三角洲ヲ包括スルベ
ク平原、湄南下流ノ暹羅平原及ビそんか下流ノ平原是ナリ。

氣候、産物。 半島ノ南半部ハ三方海ニ臨ムヲ以テ終年温暖濕潤ニシテ、炎熱ノ

苦ヲ感ズルコト少シ、之ニ反シテ北部ハ明カニ寒暖ノ期節アリ、普通ノ野獸ニハ虎、
象、豹、犀、野猪、鱷魚アリ、猿猴ノ種類多ク、蛇類モ亦少カラズ、植物ハ皆熱帶産ニシテ、國
ノ大部分ニハ林樹茂リ、護謨樹、竹類及ビ其ノ他造船用ニ供スベキ木材アリ、低地殊
ニ濕潤ナル三角洲部ハ米ヲ主要ノ産トシ、更ニ綿、煙草、砂糖、藍、茶、珈琲及ビ種種ノ香
料ヲ産ス、礦物モ亦甚富饒ナレドモ、採掘盛ンナラズ、現ニ名アルハ暹羅ノ金、緬甸ノ
紅寶石、馬來半島ノ錫等ナリ。

安南。 安南ハ半島ノ東部ヲ占メ、東京灣ヨリ南ノ方支那海ニ瀕スル一帯ノ地ニ
シテ、北半ヲ東京ト云ヒ、南半ヲ交趾支那ト稱ス、十三世紀頃マデハ支那ノ冊封ヲ受
ケシガ、後獨立專制ノ王國トナリ、下交趾支那ノ地ヲモ含ミ、且かむぼぢあヲモ領セ
シコトアリキ、然ルニ一千八百六十三年、始メテ交趾支那ノ一部ヲ佛國ニ讓與スル
コトトナリ、此ノ地次第ニ増大シテ以テ今日ノ下交趾支那ヲ分ツニ至レリ。

安南本部即交趾支那ニハ國王アルモ、一千八百八十六年順化(ふうえ)ノ條約ニ由リ
テ佛國ノ保護國タルニ至レリ、首府ヲ順化府即ふうえノ人口六萬ト云フ、東北岸ニ在
リテ貿易ノ要區タリ、産物ノ重ナルモノハ米、綿、茶、砂糖、肉桂、珈琲、煙草等トシ、又佛人
ノ採掘ニ係ル石炭アリ。

東京ハ一千八百八十四年全ク佛領ニ歸セリ、首府ヲ河内府即ほのい(人口十五萬ト
云フ、そんか河ニ臨ム、東京貿易ノ中樞タリ、此ノ部土地極メテ豐沃ニシテ、人口密殖
シ、米、綿、油、甘蔗、生糸、樹果、煙草、胡椒類ヲ産シ、而シテ佛人ノ採掘ニ係ル銅、鐵、石炭ノ諸
礦山アリ。

安南人ハ蒙古種ニ屬シ、國語ハ支那ニ異ナレドモ、多クハ漢字ヲ用ヒ、佛教、儒教ヲ奉
ジ、造船匠ノ術ニ於イテ著名ナリ、交趾人ハ是ト自別ニシテ、東京人、かむぼぢあ人及
ビ馬來人ノ血脈ヲ雜フ、而シテ此ノ部ノ山地ニハ猶種種ノ土蕃アリ。

下交趾支那。 下交趾支那ハ湄滄江河口ノ三角洲地方ニシテ、地勢平坦、運河縱
横、舟運ノ利ニ宜シ、首府ヲ西貢ト云フ、佛國ノ東洋所領中ニ在リテ、軍港又貿易港ト
シテ最要ノ港泊ナリ、住民ハ安南人ノ外ニ、かむぼぢあ人、支那人、馬來人等ヲ雜ヘ、佛

人數千アリ。産物ノ重ナルモノハ米ニシテ、其ノ他ニ綿、藍、獸革、魚類、胡椒、椰子果、煙草、砂糖、木材等アリ。

かむぼちあ。 かむぼちあハ下交趾支那ノ西北ニ在リ、此ノ國一時ハ強大ナル王國ナリシガ、安南、暹羅及ビ佛蘭西トノ交渉アリテ、其ノ領地縮少シ、國王アレドモ、一千八百六十三年佛國ノ保護國トナレリ。首府チムノムベント云ヒ、海港ヲかむぼとト云フ。米ヲ主産トシ、其ノ他ニ藍、煙草、砂糖、綿花、檳榔子等アリ。住民ハ雜種ニ屬シ、外ニ支那人アリ、馬來人アリ、安南人アリ。

暹羅王國。 暹羅ハ印度支那半島ノ中央部ヲ占メ、西北ハ緬甸ニ境シ、東南ハ安南、かむぼちあニ接シ、南ノ一部暹羅灣ニ臨ミ、西南ノ一部延長シテ馬來半島ニ連ル。湄滄江ハ國ノ東部ヲ貫流シ、西部ノ諸水ハ湄南ニ集ル。此ノ河舟楫ノ利ニ富ミ、而シテ其ノ河傾ノ地ハ地味豐饒ナリ、是常時漲溢シテ沃土ヲ供給スルヲ以テナリ。此ノ部ハ主トシテ米ヲ産シ、北部ニハ翡翠、タル山林アリテ、木材ヲ出ス。金ハ諸所ノ川床ニ在リ、採收ハ主トシテ英、佛人ノ行フ所ナリ。其ノ他錫、鐵、寶石、石炭ノ諸坑アレドモ、探掘未盛ンナラズ、是交通ノ不便ナルヲ以テナリ。

首府ヲ馨谷人口六十萬乃至百萬ト云フ、湄南河ニ臨ミ、河ニ數百ノ舟ヲ浮ベ、テ府民ノ家屋ニ代フ。住民ハ本土人ノ外ニ支那人及ビらお人、馬來人アリ、らお人ハ北ニ住シ、馬來人ハ南ニ居リ、期ヲ定メテ朝貢ス。政體ハ世襲ノ君主專治ニシテ、國王ハ大臣ト共ニ立法權ヲ掌握ス。大臣ハ行政諸省ヲ理シ、國內ヲ四十一州ニ分チ、各州ニ知事ヲ置キ、テ政務ヲ聽カシム。尙此ノ外ニ酋長ノ支配ヲ受クル諸州アレドモ、近頃次第ニ中央集權ノ實ヲ舉グルノ傾キアリ。文學ハ梵語ヨリ出テ、宗教ハ佛教タリ。明治二十一年我が邦ト通商條約ヲ締結セシガ、上ハ王侯貴族ヨリ、下奴隸ニ及ブ族制ノ弊習未全ク除去セズ。



湄南河

首府ヲ馨谷人口六十萬乃至百萬ト云フ、湄南河ニ臨ミ、河ニ數百ノ舟ヲ浮ベ、テ府民

緬甸。緬甸ハ昔時イラワディ河上ニ都セル強大ナル王國ナリシガ制度宜シカ
ヲザリシ爲ニ國勢次第ニ衰頽シ英國人トノ交渉起リ一千八百二十四年以來次第
ニ其ノ領土ヲ蠶食セラレ一千八百五十二年ニハ南半ヲ奪ハレ遂ニ一千八百八十
六年ニ至リテ國王廢セラレ全土英國ノ所領ニ歸セリ。

此ノ國北ハ西藏及ビ支那雲南省ニ隣リ東ハ安南暹羅ニ界シ西南ハベんがる灣南
ハまるたばん灣ニ臨ミ西ハ印度ニ接スイラワディ河國ノ中央ヲ貫流シさるえん
河西ヲ繞ル二川沿岸ノ地ハ頗肥沃ニシテ米綿藍甘蔗珈琲煙草等ヲ産シ其材ニ富
ム獸類ニハ白象犀虎水牛馬等アリ礦物ニハ金銀銅鐵鉛石炭等アリ。
首府チマンだれい(人口十九萬)ト云フイラワディ河畔ニ在リ南部ノらんぐらん人
口十八萬)ハ本州ノ要港タリ住民ハ蒙古種ニ屬シ佛教ヲ奉ジ稍技藝ノ見ルベキモ
ノアリ國政ハ印度太守ノ管領スル所タリ。

馬來半島。馬來半島ハ緬甸暹羅ノ境ヨリ長ク海中ニ突出シ一條ノ山脈其ノ
中央ヲ貫通シ國內樹林多シ住民ハ主トシテ馬來種ニ屬シ酋長ノ支配ニ屬スル數
多ノ小州ニ分レ多クハ英國ノ保護ヲ受ク其ノ中殊ニ著レタルモノハベらくじトよ

ほれるノ二州ナリ產物ソ重ナルモノハ米砂糖胡椒及ビ礦物トナス。

海峽殖民地。

海峽殖民地トハ馬來
半島中まらつか海峽ニ臨ム英國ノ小殖民
地ノ謂ヒニシテ歐羅巴ヨリ支那海及ビ東
洋諸邦ニ通ズル咽喉タリ其ノ重ナルモ
ソチビなんゑれすれいまらつかしんがぼ
うるノ四所トス。ビなんハ半島ノ西岸海峽
ノ北口部ニ位スル小島ニシテ地味肥エタ
リゑれすれいハビなんノ對岸ニ在ル小地
區ニシテ地味豐沃米茶綿香料砂糖煙草珈
琲等ヲ産ス。まらつかハ殖民地中ノ最大ナ
ルモノニシテ半島ノ西南岸ニ在リ其ノ地
積モ亦最廣シ然レドモ此ノ地ノ貿易ハ近
年しんがぼうるノ發達セシ爲ニ大イニ衰



新嘉坡

微チ呈セリ。しんがぼうる(人口十八萬餘)ハるうまにあ岬ノ西ニ位スル小島ニシテ、長サ十一里幅六里、東洋及ビ南洋ト西洋トノ間ニ位スル世界中著名ノ商區タリ。港内ニハ各國ノ船舶常ニ輻湊シ、而シテ印度ト極東洋トノ間ノ貿易上ノ商權ハ、此ノ港ノ掌握スル所タリ。

(二) 印度。

總叙。 印度ハ亞細亞南部ノ中央ヨリ海中ニ突出スル三角狀ノ一大半島國ニシテ、天竺又ひんとすたんと呼ブ。北ハひまらやノ大山脈ニ由リテ西藏及ビ伊犁ヲ限リ、東北ハ緬甸ニ接シ、西北ハあふかにすたん、べるちすたんニ隣リ、其ノ餘ハ海ニ瀕ス、東南岸ハ緬甸ト共ニベンがる灣ヲ抱キ、西南岸ハ遙カニ亞拉比ト相對シテ亞拉比海ヲ擁ス、面積二十六萬六千八百八十里、最長最廣共ニ凡七百八十里アリ。印度ノ海岸線ハ、其ノ面積ニ比シテハ延長大ナラズ、即一千數百里ノ間屈折少ク、從ヒテ港泊多カラズ、西海岸チまらばら海岸ト云ヒ、東海岸チころまんである海岸ト云フ、又西海岸ニかむべいノ小灣アリ。

區畫。 印度ハ直接ニ英人ノ治ヲ受クル諸州ト、酋長ヲ戴キテ英國ニ臣屬スル諸州ト、獨立諸州トノ三部ニ分ル。獨立州ハねぼる、ぼれたんノ二州ニシテ、共ニひまらや山麓ニ在リ、諸州ノ面積人口ハ左表ニ示スガ如シ。

| 州名 | 面積(方里) | 人口 |
|------|---------|-------------|
| 英領諸州 | 一三四、一一二 | 二一三、四六七、三九二 |
| 臣屬諸州 | 一〇〇、五八三 | 六六、〇五〇、四七九 |
| ねぼる | 九、一三〇 | 二、〇〇〇、〇〇〇 |
| ぼれたん | 二、八四〇 | 二〇、〇〇〇 |
| 計 | 二四六、六六五 | 二八一、五三七、八七一 |

地勢。 北境ハひまらやノ大山脈長ク連リ、西北ハあふかにすたんノ境ニすりまら山脈アリ、ひまらや及ビすりまん兩山脈ノ南恒河及ビ印度河ノ河領地ハ北印度ノ平原ニシテ、亞拉比灣ノ海岸ヨリ東ノ方ベンがる灣ニ達ス。恒河ノ平原ハ地味極メテ豐沃ナレドモ、西部印度河ノ下流地方ニハ沙漠地アリ、平原ノ南方ニ至レバ土地漸高ク、西海岸ニハ西がつつ山脈アリ、東岸ニハ東がつつ山脈アリ、兩山脈ノ間ハ即でつかん高原ナリ、東がつつ山脈ハ平均一千尺乃至三千尺、西がつつ山脈ハ平均

四千尺乃至六千尺タリ、此ノ山脈ハ南部ニ至ルニ從ヒ愈高峻ナリ、西がつつ山脈ト
 西海岸ノ間ハ其ノ幅僅ニ十數里ノ狹長ナル平原ナリ、故ニ山脈ノ西側ハ傾斜急ニ、
 東側ハ頗寛ナリ、東がつつ山ト海岸ノ間ハ地稍廣クシテ且肥沃ナリ、此ノ山脈ハ河
 川ノ爲ニ所所ニ斷絶アリ、でつかん廣原ノ北部ニびんぢあ山脈アリ、ぼむべい灣ニ
 起リテ恒河ノ中部ニ達ス、其ノ南麓ハねるぶだ川ニ臨ミ、傾斜峻急ニシテ斷崖ノ狀
 ナナス、びんぢあ山ノ北ニあらぶり山脈アリ、兩山脈ノ間ハ即まるわノ小高原ナリ、
河川。 印度ノ水理ハ北部大平原ノ河系及ビ南部高臺ノ河系トニ兩分ス、北部河
 系ニ屬スルモノニハ、恒河、ぶらまぶらうとら河及ビ印度河ノ三アリ、南部高臺ニハ、東
 海ニ入ルモノニまはぬでい、さだべりい、くりしな、かうべりいノ諸川アリ、西流スル
 モノニねるぶだ、たぶていノ諸川アリ、
 恒河ハひまらや山脈ノ西北部ニ發シ、東南ニ流レ、べんがる灣頭ニ於イテぶらまぶ
 うとら河ニ合シテ海ニ入ル、其ノ口ハ大三角洲ヲナシテ分流多シ、土地ヲ養フ効ハ
 世界ニ比類少ク、且頗舟運ニ利アリ、下流ノ部ハ能ク大艦ヲ容ルベク、小汽船ナレバ
 五百三十里ノ上流ニ溯ルコトヲ得ベシ、其ノ支流ヒューむな河モ亦舟楫ノ利アリ、支

流ノ重ナルモノハ、右岸ニヒューむな、ちゅんばる、そんノ三河アリ、左岸ニハぐらうひて
 い、こんどく、くらし、い、いノ諸川アリ、

ぶらまぶらうとら河ハ、西藏ニ於イテハ藏布さんぼ川ト呼ブ、ひまらや山ノ東端ヲ經
 印度ノあつさむ州ヲ貫流シテ終ニ恒河ニ合ス、支流頗多ク、泥土ヲ流スコト恒河ニ
 二倍シ、漲溢ノ時ニハ河口ノ上部内海ノ狀ヲナスト云フ、

印度河ハひまらやノ後部西藏高臺ニ發シ、からこるむ山脈ノ麓ヲ過ギ、南ニ折レテ
 印度ノ西北部ヲ流下ス、其ノ水源ヨリ二百五十里下ルモ、地盤尙七千尺ノ高サアリ、
 故ニ上部ハ水流急湍ナリ、支流ニハ右岸ニかぶる河アリ、左岸ニハすとれヒ以下四
 水合成ノ大流アリ、下流ノ地ハ沙漠質ニシテ降雨少ク、河畔ノ地ニノミ人口繁殖ス、
 まはぬでい河ハ恒河ノ南ニ在リ、流程二百十餘里、汎濫ノ害ヲ以テ有名ナレドモ、其
 ノ三分ノ四マデハ舟ヲ通ズベシ、さべりい河ハ流程三百七十里、其ノ下流ニ長サ合
 シテ二百餘里ニ及ブ、運河アリ、ますとな河ハ流程三百三十里アリ、後ノ二川及ビか
 うべりい河ハでつかん半島中ノ大河ニシテ、共ニ西がつつ山ノ東側ニ發シ、東がつつ
 つ山ヲ横ギリテべんがる灣ニ注グ、ぬるむだ河ハびんぢあ山ノ南麓ニ沿ヒテ西流

シ、かひべい灣ニ注グ、水流急ニシテ舟行ノ利ニ乏シ、たふち河ハ其ノ南ニ在リテ同
ジクかひべい灣ニ入ル。

氣候。

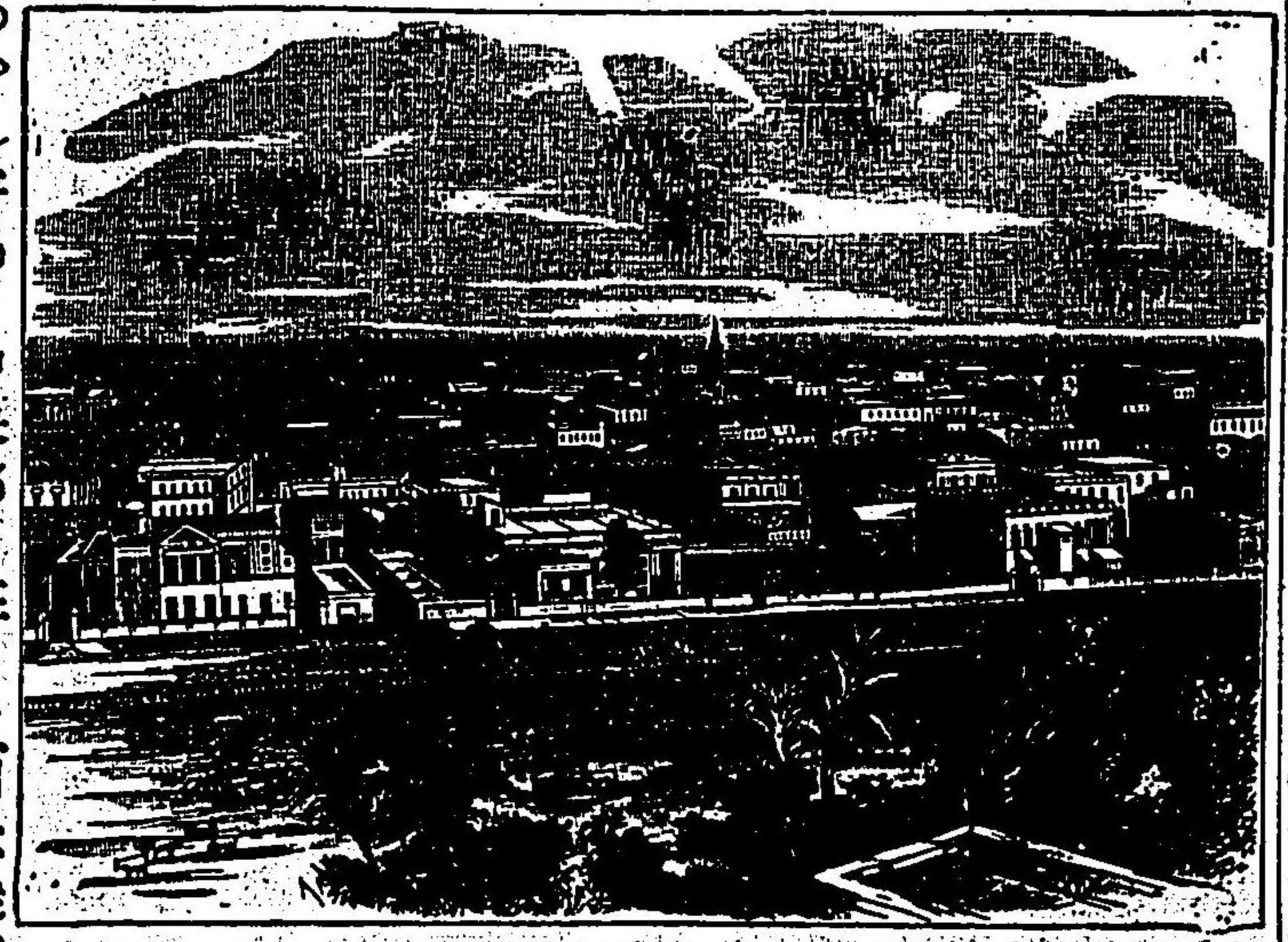
印度ノ地タル、南北凡八百二十里ニ涉リ、土地ノ高低一ナラズ、故ニ處ニ由
リテ氣候ノ差異著明ナリ。即緯度ノ相違ト、地盤ノ高低ト、沙漠及ビ海洋トハ、印度ノ
氣候ニ影響スル四大要素ナリ。概スルニ印度國中ニハ寒冷ノ期ナク、一千尺以下ノ
地ニ至リテハ季節畧同一ナリ。故ニ全國ノ氣候ハ通常温帯地ノ如ク四季ニ區別ス
ルコト能ハズ、而シテ乾期、濕期、暖期ノ三季節アルヲ認ム。三月ヨリ六月ニ至ルマデ
ハ暖期ニシテ、炎熱堪ヘ難ク、六月ヨリ十月マデハ多雨ノ期ニシテ、印度洋ヨリ西南
風濕氣ヲ送り、雷鳴驟雨交起リ、霖雨絶エズ、晴天ヲ見ルコト甚稀ナリ。十月ヨリ三月
マデハ所謂乾期ニシテ、此ノ間ハ氣温爽涼ナリ。但シ其ノ地ノ形勢及ビ位置ニ由リ
テ雨量ニ多少ノ相違ナキ能ハズ、べんがる地方ノ如キハ雨量ノ多キコト世界第一
ニシテ、一年中ノ總量ハ我が邦平均雨量ノ十二倍ニ超ユルコトアリ。北部ニテハ西
部沙漠地ハ乾燥ニシテ、東部ニ比シテ降雨少シ。サレドモ南部でつかん半嶋ハ之ガ
反對ニ出デ、まらばら海岸ハこるまんである海岸ヨリモ降雨少シ。又西がつつ山脈ノ

西側ハ殊ニ雨量多ク、東側ハ乾燥ナリ。

物産。

印度ハ植物動物共ニ天然産ノ種類殆限リナシ、即植物産ノ重ナルモノナ
記スルニ、東西海岸ノ山中及ビひまらや山麓ニハ、木材トシテ頗價値アル樹林多ク、
其ノ間處處ニ竹林アリ、榕樹及ビ芒果ハ各邑ニ産シ、暖熱ノ地方ニテハ各種ノ香料、
護膜樹、綿藍、砂糖等ヲ多量ニ産シ、其ノ他農産ノ重ナルモノニハ米麥等ノ穀類、珈琲
煙草、茶、麻、鴉片、油種等ヲ出ス。動物ニハ珍奇ノモノアリ、象ハ深叢ニ多ク、之ヲ飼養シ
テ從順ナル家畜トスベシ、西北部ニハ獅子アリ、其ノ乾燥地ニハ駱駝野驢アリ、虎、犀、
水牛、野猪、猿猴ハ林中ニ多ク、山羊、蠶牛、鹿、鹿ハ山野ニ多シ、且蛇蝎ノ類夥シク、而シテ
河ニハ鱈魚アリ、鳥類ノ重ナルモノニハ孔雀、鷓鴣、鴛鴦等アリ。
礦産ハ鐵、石炭ノ産出ヲ最トシ、金、銀ノ諸金屬モ少カラズ、其ノ外金剛石、紅寶石、綠玉、
青玉ノ諸寶石アリ。
工藝品ノ重ナルモノハ綿絲及ビ織リ物等ニシテ、金、銅、象牙ノ細工、生糸、毛織リ物ノ
諸業アリ、印度ノ貿易ニ從事スル船舶ハ、凡五萬艘ニ超ユト云フ。
都會。印度ハ人口五萬以上ノ都會六十餘アリ、十萬以上ノモノ二十三アリ、其ノ

著名ナルモノヲかるかつたぼむべい、まど
らすはいでらばと、らくのう、べなれすノ六
市トス。
かるかつた(人口八十六萬餘)ハ印度ノ首府
ニシテ、恒河ノ三角洲ニ在リ、印度總鎮ノ居
所ニシテ、宏大ナル建設多ク、亞細亞洲中第
一ノ商區ト稱ス、ぼむべい(人口八十二萬餘)
ハ西岸ノ一小嶋上ニ在リ、此ノ島ハ大陸ト
機道ヲ以テ連續シ、印度第一ノ良港ニシテ、
又世界大港ノ一ニ居リ、其ノ商業ノ盛シナ
ルコトかるかつたニ讓ラズ、まどらす(人口
四十五萬餘)ハ東南海岸ニ在リ、印度第三ノ
都會ニシテ、市街ハ海岸ニ沿ヒテ三里餘ニ
延長ス、はいでらばと(人口凡四十二萬)ハでつかん半島ノ中央部ニ在リテ、回教徒多



府 た つ か る か

ク住ス、べなれす(人口凡二十二萬)ハ恒河中流ノ都會ニシテ、織リ物、鴉片ノ産出ヲ以
テ名アリ、らくのう(人口二十七萬餘)ハべなれすノ西北おうと州ニ在リ、あるはばつ
と(人口凡十八萬)ハ恒河ノ上流ニ在リテ、河口ヨリ汽船通運ノ便アリ、其ノ位置ハか
るかつたトぼむべいトノ中央ニ位ス。

交通

印度道路ノ發達セシハ、現世紀中頃以後ノ事ナリ、是ヨリ以前ハ鐵道モナ
ク、陸路不完全ニシテ、運送ニハ河川ヲ利用スル外ハ、人力牛背ヲ使用セシノミ、現今
ニ於イテハ鐵道ノ延長八千二百里ニ達シ、自然、人爲ノ運河併セテ五千三百里アリ、
かるかつた、ぼむべい、まどらす等ノ大都會ハ、鐵道ノ連續スル所ニシテ、運河ハ大河
ノ三角洲部ニ多ク、殊ニ恒河口ヲ以テ著名トス、此ノ河ノ水運ニ從事スル舟子三十
餘萬アリト云フ。

政治、風俗

印度ハ英國ノ屬邦ニシテ、べんがる北西諸州及ビれうと、ぶんじあ
と、中央諸州、あつとむ、ぼむべい、まどらすノ七大部ニ分チ、之ニ緬甸ヲ加ヘテ印度太
守ノ管領スル所ニ係リ、太守ノ下ニハ十五名ノ參政官ト、外務、財政、農務、内務、軍務、工
務ヲ主掌スル六人ノ行政官アリ、各州ニハ知事、副知事アリテ、地方政務ヲ理ス、又臣

屬ノ州ハ、かじめるらじふたな中央印度、ぐ
 せらど、はいでらばど、みそれるらばんこた
 るノ七州ニシテ、ねばる、ばれたんノ二獨立
 州ノ如ク酋長ノ管治スル所ナリ。
 印度人ハかうかさす人種ノ一分族タルあ
 りあん派ニ屬シ、其ノ他ニ種種ノ人派ヲ混
 ズ、其ノ社會ニハ四種ノ階級アリ、上婆羅門
 ヨリ下奴隸ニ至ルマデ、族制嚴重ニシテ人
 文ノ進歩ヲ障グルコト細ナラズ、内地ニハ
 佛教徒極メテ少ク、獨錫蘭ニノミ盛ンナリ。
 而シテ全人口ノ四分ノ三ハ皆婆羅門教徒
 ニシテ、餘ノ四分ノ一ハ回教徒タリ。

沿革大要。

印度ハ世界中最舊國ノ一ニシテ、紀元前二千六百年ノ頃ヨリ、國內ニ諸王朝創立セシガ加シ、太古ノ時波斯人、蒙古人等ノ



俗風ハ人度印

侵畧ヲ受ケシカドモ、一千二百年マデハ諸州獨立ヲ失ハザリキ、然ルニ此ノ頃あふがにす
 たん人ノ侵畧ニ遭ヒ、一時其ノ討服スル所トナリテ、回教國中ニ入りタリ。又歐羅巴人ノ印
 度ニ入りシハ西洋ヨリ喜望峯ノ航路ヲ廻リテ東洋ニ達スルヲ得シトキヲ始メトス、即チ
 一千四百九十八年ヨリ、葡萄牙人來リテ所所ニ殖民地ヲ拓キ、後ニ和蘭人亦來リ、十七世紀
 ノ始メニハ、英人、佛人來リテ貿易ヲ習メリ。然ルニ葡、蘭共ニ航權ヲ失ヒテヨリ、紀元一千七
 百四十年乃至四十八年、英佛印度ノ商權ヲ爭ヒテ、遂ニ英人ノ勝利ニ歸シタリ。英人ハ是ヨ
 リ回教人ノ政權ヲ奪ヒテ、一千七百五十七年マデベンガル州ヲ領シ、次イデ英人ノ手ニ入
 り、われんへすちんへす等ノ諸島印度ノ諸州ヲ討服シテ、遂ニ今日英領ノ基礎ヲ成セリ。爾來
 英國ノ政權國中ニ廣ガリ、今ハ殆全邦ヲ管領シテ、英領印度帝國ヲ成生セリ。

錫蘭嶋。 錫蘭島ハ印度半島ノ南端ニ位シ、其ノ大キサ殆我が北海道本地ニ均
 シク、面積四千二百八十七方里、人口三百萬餘アリ、ばるく海峡ヲ隔テテ大陸ト相對
 シ、内部ハ山地ニシテ、最高峰タルペーとるたらから山即あだむ山ハ八千二百六十尺
 アリ、島内河川ノ灌溉極メテ宜シク、土地頗肥エ、山地ニテモ薄瘠ナルモノ稀ナリ。氣
 候ハ暖ニシテ產物ノ重ナルモノハ珈琲、肉桂、茶、椰子、煙草、綿等ナリ、又其ノ林中ヨリ
 ハ黑檀木及ビ造船用ノ良材ヲ出ス。首府ハ西岸ニ在リテ、こるんぼト云ヒ、府中ニ英

政廳アリ、知事ハ印度政府ト獨立シテ島内ノ政治ヲ理ス。ころんぼ府トかんぢ府トノ間ニ鐵道アリ。

佛、葡領。 印度ニハ佛國及ビ葡萄牙國ニ屬スル小區アリ、佛領ハぼんぢしーねり、まねじーあんであるごうるノ三港ニシテ、葡領ハごあだんまんぢう等ナリ。

ぼんぢしーねりハまねらすノ南ニ位スル小港ニシテ、まねハまらばら海岸ノ小港ナリ、又しあんであるごうるハ、かるかいつたノ北ニ在ルふぐりい河畔ノ小都會ナリ。

ごあハまらばら海岸ノ肥沃ナル一小地區ニシテ、だんまんハぼんぢいノ北ニ位スル小港、ぢうハだんまんト相對スルかむべい灣ノ一小島ナリ。

第四章。西亞細亞。

(一) あふがにすたん及ビべるちすたん。

總叙。 あふがにすたん及ビべるちすたんノ三州ハ、いらん高臺ノ東部ヲ占ム、北ハ土耳其機斯坦ニ境シ、東ハ西藏、印度ニ接シ、南ハ海ニ面シ、西ハ波斯ニ隣ル、而シテ北緯凡三十度線ヲ以テ南北ニ分チ、北ヲあふがにすたんトシ、南ヲべるちすたんトス。二國ノ面積人口ハ左表ニ示スガ如シ。

| 地 名 | 面 積 (方 里) | 人 口 |
|---------|-----------|-----------|
| あふがにすたん | 四八、二〇〇 | 五、〇〇〇、〇〇〇 |
| べるちすたん | 二二、一〇〇 | 二、〇〇〇、〇〇〇 |

地勢。 二國ハいらん高臺ノ一部ヲ形成スルヲ以テ、國內土地高ク、殊ニあふがにすたんハ山岳多ク、東北ノひんづらくし山脈、國中ニ延ビ、こひばば、ごあねどて等ノ諸山脈ニ連リ、而シテ東境ニハすりまん山脈アリ。たぐさす河ハ北境ヲ流レ、東部ヨリ印度河ノ支流ヲ出シ、西部ヨリあれく河ノ上流へりると河ヲ出シ、南部ノ諸水ハ

皆西南ニ流レテせいすたん湖ニ入ル。べるちすたんハ海岸ニ沿ヒテ一帯ノ山脈屏立ス。河川ノ重ナルモノハ、東部ニ印度河ノ支流ト、西部ニせいすたん湖ニ注グモノトアリ、小流ハ南部ニ數個アリ。

せいすたん湖ハ、波斯及ビあふがにすたん、べるちすたんノ間ニ位スル細長ノ鹹湖ナリ。

あふがにすたん。 あふがにすたんハ氣候乾燥ニシテ、寒暖ノ懸隔甚シク、固ヨリ緯度ニ因リテ同一ナラザルモ、概シテ夏ハ酷暑ニシテ冬ハ烈寒ナリ。農産物ノ重ナルモノハ、小麥、玉蜀黍、米、桃、瓜、林檎、葡萄等ニシテ、駱駝及ビ馬ハ頗名高シ。北部ハ銅礦ニ富ミ、其ノ他ニ鐵、金アリ、製品ノ重ナルモノハ絹織リ物、綬通等ナリ。

首府チかふる(人口五萬)ト云フ、國ノ東部ニ在リ、韃靼及ビ印度ニ通ズル貿易ノ要區タリ。へらつと(人口五萬)ハ西部貿易ノ中心チナシ、かんだはあるハ南部ノ都會タリ。人民ハ多クノ部落ニ分レ、ありあん種、蒙古種及ビ混合種ナリ。政治ハ世襲ノ君主專治ニシテ、あみる即國王之ヲ領シ、かふるニ都ス。全國チかふる、あふがん土耳其斯坦、へらつと及ビかんだはあるノ四部ニ分チ、各部ニ太守アリ、太守ノ下ニ封建制ノ諸

侯アリテ地方ノ政務ヲ行フ、故ニ全國ノ統一全カラズシテ、統御權ノ如キハ、あみる其ノ人ノ賢否ニ由リテ強弱ノ差異アリ。あふがん土耳其斯坦トハ、れきさすあむだりあ河トひんづらくじ山ノ間ノ地チ云フナリ。

此ノ國太古ニハ波斯帝國ノ屬地ナリキ。後種種ノ變遷ヲ經テ、全土遂ニ蒙古ノ大王帖木兒ノ征服スル所トナリ、かふるハ久シク其ノ子孫ノ治下ニ服シ、一千五百二十二年、かんだはあるモ亦之ニ屬セリ。爾來一世紀ノ間、かふるハ印度ニ屬シ、へらつとハ波斯ニ歸シ、夫ヨリ又あまどしあノ統一スル所トナリテ獨立セシガ、後屢内亂起リ、且英國ノ干涉ヲ受ケテ、一千八百七十八年、かふるハ之ガ爲ニ陷レラレシガ、一千八百八十年英國兵ヲ撤シテ現時ノあみる全國ヲ統ブルコトトナレリ。

あふがにすたんノ東境ハ、精密ニ之ヲ定ムルコト困難ナリ、何ントナレバ印度ニ接スル國境ニ、かふるすたん以下、或ハ獨立シ或ハ英國ノ保護ヲ受クル侯國アレバナ

ベるちすたん。 べるちすたんハ其ノ國海ニ臨ムモ、海岸ニ沿ヒテ一帯ノ山脈連亘シ、海風ヲ障斷スルヲ以テ、空氣乾燥シテ降雨少ク、從ヒテ農産饒多ナラズ、駱

駝ノ畜養盛ンニシテ、所所ニ遊牧ノ民アリ。國中各所ニ石炭多ク、且獸革、乾果、木材、茜根、棗等ヲ出ス。首府ヲけらつと云フ。國ノ東北部ニ在リ。人民ハありあん派ノベるちす族ト、蒙古種ノぶらういす族トナリ。前者ハ西部及ビ東部ニ住スル遊牧民ニシテ、隊商ヲ奪掠スルヲ事トスルモノアリ。後者ハ中央部ニ住スル、慄悍ノ民族ナリ。而シテ兩族共ニ回教ヲ奉ズ。國王ヲけらつと云ヒ、英國ノ保護ヲ受ケテ國政ヲ理ス。政治上全國ヲ四部ニ分ツ。第一ハ獨立せるちすたん、第二ハけた及ビぼらんニシテ、英國差遣ノ吏員、汗ニ代リテ、之ヲ治ス。第三ハ英領べるちすたん、第四ハあふが、印度ノ國境ニ接シテ、べるちす諸部落ノ割據スル部分ナリ。けらつと云フ汗ハ諸侯ノ長ナレドモ、其ノ權確定セズ、凡ベテ英國差遣ノべるちす知事ノ干涉ヲ蒙ル。此ノ國モ亦太古ニハ波斯ノ一部ニシテ、あふがにすたんト同様ノ變革ヲ經タリ。但シ今日ニ於イテハ純然タル英國ノ一屬地ト見做スベキノミ。

(二) 波斯王國。

總叙。波斯ハいらん高臺ノ西部ヲ占メ、北ハかうかさす州、裏海、土耳其斯坦ニ境

シ、東ハあふがにすたん及ビべるちすたんニ連リ、南ハ海ニ臨ミ、西ハ亞細亞、土耳其ニ接ス。而シテ西南部ハ亞拉比ト共ニ波斯灣ヲ抱キ、南部ハ北まん灣ヲ扼ス。兩岸ノ間ハ即れるむづ海峡ナリ。是ノ國東西凡三百七十里、南北凡三百里、面積十萬六千方里ニシテ、人口九百萬アリ。

地勢。波斯ハ國內概高臺ニシテ、東部ト中央部トハ海面上三千尺乃至四千尺ノ高サアリ、土地沙漠質ニシテ、所所ニ草地アリ。北部裏海ニ接近スルニ從ヒテ地低ク、南部モ亦海岸ニ近ヅクニ從ヒテ地低落ス。國內凡三分ノ二ノ水ハ、海ニ達セズシテ中途ニ消失ス。故ニ河川ノ著大ナルモノナシ。ゆるゆる山脈ハ國ノ北部ヲ横ギリテ、東西ニ走り、最高峯でまべんとハ一萬八千四百六十四尺アリ。北西部ハ山地ニシテ、地勢高ク、西北隅ニあららつと山アリ。湖水ノ大ナルモノナラるみやト云フ。亦國ノ西北隅ニ在リ、水極メテ淺クシテ、平均ノ深サ僅ニ六尺、頗鹽分アリ。此ノ處海面ヨリ高キコト四千五百七十尺ナリ。

此ノ國地勢上ヨリ四部ニ分ツヲ便トス。第一部ハ國ノ東部ヨリ中央部ニ渉ル沙漠質ノ大高臺ニシテ、其ノゆるゆる山脈ニ接スル小部分ニ深林アリ。第二部ハ波斯

灣ニ臨ム地區ニシテ、前部ニ比スレバ、沙質少ク且濕潤ナリ。第三部ハゆるゆる山脈ト裏海トノ間ノ地ニシテ、地盤低ク、氣候ハ溫暖濕潤ナリ。第四部ハ西部ノあるめにあ地方ニシテ、山林多ク、氣候ハ適好ナレドモ、其ノ高地ハ寒暖ノ相違著シ。

氣候、産物。 波斯ハ大部分沙漠質ナルヲ以テ、寒暑ノ懸隔頗著ク、雨量極メテ少シ。波斯灣ニ瀕スル所ハ寒氣強カラズ、冬春氣候温暖ナリ。ゆるゆる山ノ北、裏海沿岸ノ地ハ、夏熱ク冬温和ニシテ、雨量多ク、空氣濕潤ニシテ、植物繁茂、林樹、蕎麥、米、綿、小麦、砂糖等ヲ産ス。家畜ハ羊、馬、駱駝ノ飼養盛ニ、野獸ハ豹、獅子、麒麟等アリ。工藝品ニテハ絹織リ物、絨氈、刀劍、陶器、肩被ニ名高ク、國內ノ貿易ハ隊商ニ由リテ行ハレ、繁昌ト云フヲ得ズ。

都會、交通。 首府ヲテヘらん人口二十一萬ト云フ。西北部ノ廣原ゆるゆる山ノ南麓ニ在リ。いすばはん(人口六萬)ハ舊都ニシテ、テヘらんノ正南ニ位ス。たふりづ(人口十八萬)ハ魯西亞及ビ土耳其ノ國境ニ接スル商區ニシテ、ゆるゆる人口五萬ハ、裏海岸ノ要港タリ。

道路ノ發達十分ナラズ、重ナル貿易路ハ、あふかにすたんノヘらつとヨリたふりづニ達スルモノナリ。

政治、風俗。 政體ハ君主專治タリ、國王ヲしやあト呼ブ、其ノ權力無限ニシテ、政治ノ主義ハ凡ベテ回教ノ教典コウらんノ教旨ニ基ク、國王ノ下ニ十九人ノ大臣アリテ内閣ヲ組織シ、其ノ中十一大臣ハ各行政事務ヲ分掌ス。人民ハ、農、商、工及ビ遊牧民ニ分ツ。遊牧民ニハ北方ニ蒙古種アリ、西南ニ亞拉比種アリ、餘ハ古代波斯人ノ裔タルありあん種ニ屬ス。宗教ハ回教ヲ主トシ、あふかん人ニ似テ、文化ノ度ハ之ヨリ進ミ、學術、技藝ニ勉ム。

沿革大要。 此ノ國ハ種種ノ變遷ヲ經タル舊國ニシテ、紀元前五百五十八年ノ建國ニ係リ、西部亞細亞ノ全部ヲ有テ爾大帝國ナリシガ、紀元前三百三十年、歴山大王ノ滅ス所トナリ、領土分裂シ、波斯本部ハ其ノ後北方ヨリ興起セルゆるゆる國ノ藩屏トナレリ。紀元二百二十六年再獨立シ、後又回教兵ニ破ラレ、蒙古ノ成吉思汗及ビ帖木兒ノ侵襲ヲ受ケンガ、國內豪族起リテ、復獨立スルコトヲ得タリ。現時ノ王朝ハ紀元一千七百九十四年、十五年ニ沙レル國亂ヲ平ゲテ王位ニ登レルあふがむはめとニ始リ、代ヲ替フルコト四世ナリ。王位ハ國王ノ意ニ由リ、正系ノ承繼者ヲ指キ、同族中ノ他人ニ傳フルコトヲモ得ルノ習慣アリ。

亞細亞洲 西亞細亞

(三) 亞拉比。

總叙。

亞拉比ハ世界第一ノ大半島ニシテ、北ハ亞細亞土耳其ニ接シ、東ハ波斯灣及ビ北まん灣ニ臨ミ、南ハ亞拉比海ニ瀕シ、西ハ紅海及ビすす運河ヲ隔テテ阿非利加ト相對ス。其ノ形四角形ニシテ、面積二十一萬三千方里、人口ハ七百萬ト云ヒ又一千二百萬ト云フ。海岸線ノ延長ハ、一千六百七十里ニ達シ、屈折甚少シ、紅海岸ニハ珊瑚礁所所ニ起伏シ、航海上稍危險ナルモノアリ、且其ノ海岸ヲ離レテ各所ニ小島アリ。

亞拉比ノ紅海ニ瀕スル地方及ビ波斯灣ニ臨ム沿岸地ノ一部ハ、土耳其ニ屬ス。

地勢。

亞拉比ノ内地ハ一ノ高臺ヲナシ、其ノ海岸ニ沿ヒテ低地アリ、中央ノ高臺ヲねせと云フ所所ニ沙漠地アレドモ、溪谷水澤ノ翠境ヲ見ルベク、牧畜ニ適スル地多ク、農耕地モ亦尠カラズ。此ノ高臺ハ、北ハ凡二千五百尺、西南ハ凡七千尺ノ高サアリ、而シテ幾多ノ山脈西ヨリ東ニ連リテ高臺ヲ横過ス。中央高臺ノ周圍ハ即沙漠地ニシテ、北部ヲねせと沙漠ト云ヒ、中部ヲだあな沙漠ト

云フ、南部ハ即亞拉比大沙漠ナリ。

紅海ニ瀕スル狹長ノ低地ヲてはまト云フ、東南ノ北まんハ稍廣キ低地ナリ。

紅海ノ北頭ニ突出スルヲしない半島ト稱ス、此ノ半島ノ最高峰ハ九千三百尺ノ高サアリ。

國中河流、湖沼ナシ、大雨ノ時ニ水流ヲ現出スレドモ、其ノ水ハ皆沙漠中ニ吸收セラレテ、海ニ達スルコトナシ。

氣候產物。

亞拉比ノ氣候ハ概乾燥ニシテ暑熱強ク、沙漠地ノ如キハ、三四年ノ間全ク降雨ナキ所アリ、故ニ此ノ部ハ全然礫礫ナリ。ねせとノ南方ハ濕熱ニシテ、土地肥沃ニ、棗、綿、橙、穀物、檸檬、葡萄等ヲ産ス、其ノ西方ニ岩鹽アリ、家畜ニハ羊、馬、駱駝ノ飼養盛ンニ、亞拉比馬ノ名天下ニ高シ。北まん地方ハ乾濕ノ雨季アリテ、乾節ニハ暑熱堪フベカラズ。物産ニハ棗、椰子、綿、藍、杏、桃、珈琲、穀類、砂糖等ノ外、銅、鉛ヲ産ス。南部海岸ニハ穀類、檸檬等アリ、羊、山羊、駱駝ヲ飼養ス。

都會。

めつか(人口四萬五千)ハ西岸ノ中央部ニ在リテ、回教ノ教祖まほめつとノ生マレシ地ナリ、めぢなハ其ノ北ニ在リテ、まほめつと墳墓ノ地ナリ、二市共ニ回教

人ノ靈地トシテ崇尊スル所ナリ。あでん人口四萬二千ハ英領ニシテ南端ニ在リ、東西往來ノ船舶寄泊ノ要港ニシテ、此ノ間ヲばべるまんでふノ海峡ト云フ、此ノ地用水ニ乏シク、雨水ヲ蓄ヘテ其ノ用ニ供スト云フ。たまん地方ニハもすかつとノ都會アリ、又あでんノ北ニさなノ一都會アリ、凡ベテ亞拉比ノ都會ハ海邊ニ多ク、内地ニハ記スベキモノナシ。

人民風俗。 亞拉比人ハかうかしあん種ノせみちつく派ニ屬シ、都邑ニ住居スルモノハ農耕、商業ニ從事シ、回教ヲ奉ズ、沙漠ノ間ヲ漂泊スル遊牧民ハ水草ヲ逐ヒテ遷移シ、抄掠ヲ業トスルモノ少カラズ。此ノ輩ハ回教ヲ奉ズト雖、中ニハ太陽ヲ崇拜スル固陋ノ蠻族アリ。

亞拉比ハ政治上ノ獨立ナク、全國ヲ八州ニ分ツ、東岸ニハねるはつさ、たまんノ二州アリ、前者ハ土耳其ニ屬シ、後者ハもすかつとノ酋長之ヲ領ス。南岸ニはとらまうと州アリ、獨立ノベといん族之ヲ領スルモ、幾分カあでんナル英人ノ干涉ヲ受ク。西岸ニハ南ニあまん、北ニはざぶアリ、共ニ土耳其ニ屬ス。西北ノしない州ハ埃及ノ領スル所ナリ。中央ニハねせと、せべる、しれめるノ二州アリ、共ニ亞拉比種屬ノ管治スル

所ナリ。

亞拉比ニハ道路、河川、運河、鐵道等、交通ノ媒ナク、隊商ノ通行スル野逕アルノミ、其ノ方向ハ井ト水濘ノ存スルアルニ由リテ知ラル。

沿革大要。

亞拉比ノ地理ハ、人文ノ發達ヲ許サズ、從ヒテ古來沿革少シ、只まはゆつとノ降臨ハ其ノ國ニ一大活氣ヲ與ヘタリ。即亞拉比人ハ回教ヲ擴メント欲シテ、亞細亞、阿非利加、歐羅巴ノ各國ニ遠征ヲ企テ、中古ニハ波斯、亞細亞、土耳其ノ南部、埃及及ビ北部、阿非利加ト西班牙トヲ包括スル大帝國ヲ創設シテ、世界ニ雄視セシモ、後遂ニ衰落セリ。サレドモ其ノ結果トシテ回教ハ諸邦ニ擴ガリ、現ニ全世界人口ノ八分ノ一ハ此ノ教ヘヲ奉ズ。

(四) 亞細亞土耳其。

總叙。 亞細亞土耳其ハ亞細亞ノ極西部ニ位シ、北ハ黑海ニ瀕シ、東ハ波斯及ビ魯飯かうかしあニ連リ、東南ハ亞拉比沙漠ニ境シ、西ハわしあん海ニ臨ミ、西南ハ地中海ニ面ス。今地理考究上ノ便ヲ計リ、全國ヲ小亞細亞、しりあ、ちぐりす及ビゆうふらちす河領地ノ三大部ニ分ツ。小亞細亞ハ西北地中海ニ突出スル半島形ノ大部分ナ

リ、殘餘ヲ東西ノ二部ニ分チ、西ヲしりあトシ、東ヲ兩河河領ノ地トス。三部ノ面積合計八萬六千六十方里、人口一千五百六十餘萬アリ。但シ以上ノ統計ハ、共ニ亞拉比ニ於ケル領地ノ積面人口ヲ除キタルモノタリ。

海岸、屬嶋

土耳其ノ沿岸殊ニ小亞細亞ノ海岸ハ、屈折多様ナルコト、亞細亞第一ニシテ、從ヒテ海灣港泊極メテ多キノミナラズ、島嶼處處ニ點在シ、西岸ハ、地中海ニ向フ所ニハ群島集聚セリ。黒海ト紅海ノ間ハ即チ此ノ海ニシテ、其ノ北ヲぼすふたいらすノ海峽ト云ヒ、南口ヲだるだんねるノ海峽ト云フ、屬島ノ重ナルモノハ、群島中ニユミちれん、きれ、さも、ろうづ等アリ。

南岸ノさいふらすハ、土耳其近海諸島中ノ最大ナルモノニシテ、面積六百六方里、人口二十萬餘アリ、此ノ島ハ一千八百七十八年ノ條約ニ由リテ土耳其政府ヨリ、英國ニ讓與スル所トナリ、其ノ差遣ノ島司之ヲ支配ス。產物ハ絹、綿、穀物、干シ葡萄、亞麻仁、油、橄欖、果物、野菜、乾酪、葡萄酒、羊毛、皮革ヲ出ス。回教徒凡四萬八千アリ、餘ハ希臘教ヲ奉ズ。

地勢、山岳

亞細亞土耳其ノ地勢タル、西北部ハ山岳多ク、東南部ハ平坦ノ原野タリ、山地ハ即チ小亞細亞トちぐりす、ゆうふらちす上流ノ地タルあるめにあトノ地ナリ、黒海沿岸ノ山脈ハ波斯、かうかしあノ境界ニ接シテ愈高ク、あららつと山ハ一萬六千九百六十四尺アリ、あるめにあノ大部分ハ、平均五千尺乃至六千尺ノ高サアリ、其ノ小亞細亞ノ南岸ニ平行シテ横走スルモノヲたうらす山トナス、山脈ノ南側ハ傾斜急ニシテ、北方ハ寛ナルヲ以テ、小亞細亞内部ノ地ハ自ラ一ノ高臺ヲナス。しりあニ於テハればのん山ノ脈、地中海ノ岸ト平行シテ南北ニ走り、其ノ最高峯ハ一萬尺餘ニ達ス、此ノ山脈ト平行シテ、別ニあんでればのんノ山脈アリ。

河、湖

東南部ハ昔時ノばびろにあ帝國ノ本地ニシテ、沖積質ノ大平原ヲナス、且其ノ北部ハ丘岡起伏シ、北方水源地ニ達スルニ從ヒテ山岳重積ス。

河、湖　ゆうふらちす河ハあるめにあノ山地ニ發シ、ちぐりす河ヲ併セテ波斯灣ニ入ル。ちぐりす河ハゆうふらちすノ東ニ在リ、之ト平行シテ流レ、相合シテ波斯灣ニ入ル。兩川沿岸ノ地ハ頗肥沃ニシテ、產出力ニ富ミ、且汽船ヲ中流ニ溯ラシムルヲ得ベキガ故ニ、運漕灌溉ノ利極メテ大ナリ。

小亞細亞ニハ記スベキノ大河ナシ、しりあニハれらるんてす、しりあニハれらるんてす、

あばなノ四川アリ。れるんてす河ハあんでればのん山ノ西側ニ發シ、北流シテ地中海ニ入ル。じたるだん河ハればのん山ノ南部ニ發シ、南流シテ死海ニ入ル。湖水ノ重ナルモノヲばん湖及ビ死海トナス。ばん湖ハあるめに在リ、海ヨリ高キコト五千六百四十七尺、死海ハしりあニ在リ、有名ナル鹽湖ニシテ、其ノ濃厚ナルコト、人之ニ入リテ沈マズ、其ノ水面ノ海水面ヨリ低キコト一千二百九十二尺ナリ。

氣候、産物。 氣候ハ温暖ニシテ、乾燥ナリ、しりあトゆうふらちす河トノ間ニ沙漠アルガ故ニ、此ノ部ニ接近セル地ハ寒暖ノ懸隔甚シ、小亞細亞ノ内部ニモ亦沙漠質ノ地アリ、但シ氣候ハ地ノ高低ニ由リテ一ナラズ、めそぼたみあハ、夏ハ暑熱甚シク、しりあハ殊ニ酷ナリ、黒海ニ瀕スル地ハ甚温和ニシテ、あるめにあノ高地ニ於イテハ寒氣極メテ烈シトス。

土地概肥沃ニシテ、農産ニハ五穀、綿、苧、煙草、無花果、葡萄、橄欖、珈琲、鴉片、果實等アリ、木材モ亦少カラズ、鐵、石炭、大理石ハ所所ニ産シ、銅ハ黒海沿岸ノ山中ニ出デ、石油及ビ土瀝青ハゆうふらちす河溪ニ出ツ、其ノ他鉛、銀、まんがん、硫黃、食鹽、明礬等アリ、地中海岸ノ漁業ハ盛大ナルモノニシテ、海綿ノ産額モ亦多ク、工藝品ニハ絹織リ、絨布等

アリ。

都會、交通。

すみるな(人口二十萬)ハ小亞細亞ノ西岸ニ在リ、亞細亞土耳其第一ノ大都會ニシテ、貿易頗繁盛ナリ。だますかす(人口二十萬)ハ第二ノ大都會ニシテ、しりあニ在リ、工業、貿易共ニ盛シナリ。ばくだつと(人口十八萬)ハちりす沿岸ニ在リ、昔時ハ回教法王ノ居所トシテ頗盛況ヲ極メタリ。せるされむ(人口三萬)ハだますかすノ西南ニ在リ、基督ノ舊蹟トシテ史乘ニ名高シ。全國鐵道ノ延長ハ四百六里、海岸ニハ港泊極メテ多シ。

風俗、沿革。

人種ハ頗雜ニシテ、性質モ亦甚雜ナレドモ、種族ノ蒙古種重ナルモノナリ。宗教ハ回教ヲ主トシ、基督教之ニ次グ。

此ノ國ハ古代國民ノ興起セシ地ナリ、ちりす、ゆうふらちす河領ノ地ニハ、かるであ、あつしりあ、ばびろにあノ諸國相次イデ起リ、しりあノ西南はれすちんハ、猶太王國ノ在リシ地ニシテ、西北ニハふいにしあ國アリキ。而シテ其ノ他所ニ起レル古代ノ小王國擧ゲテ數フベカラズ。後波斯王國盛大ニナリテ、此ノ部ハ其ノ版圖ニ入り、尋イデ歴山大王ニ討服セラレ、更ニ羅馬帝國ノ領地トナリ、次ギニ回教兵ノ侵略ニ遭ヒ、十字軍及蒙古兵ノ蹂躪ヲ蒙リ、たごまん帝國即土耳其帝國起ルニ及ビテ、又其ノ版圖ニ入り、遂ニ今日ニ及ベリ。

第五章。北亞細亞—魯領亞細亞。

(一) 西伯利亞。

總叙。西伯利亞ハ亞細亞ノ北部ヲ占ムル大國ニシテ、北ハ北氷洋ニ臨ミ、東ハ太平洋ニ面シ、南ハ滿州、蒙古及ビ魯領中央亞細亞ニ接シ、西ハうらるる山脈及ビうらるる河ヲ以テ魯西亞ト界ス。東西最長千四百八十里、南北最廣七百四十里、面積八十一萬六千八百六十方里、人口四百五十萬餘、其ノ大キサ實ニ全亞細亞ノ四分ノ一ニ餘ル。北氷洋海岸ニ數多ハ屬島アレドモ、皆無人ノ境ニ屬ス、東方ニこづく海中ニさかれん即樺太島アリ、遙ニかむちあいつか半島ト相對ス、海港ノ重ナルモノハ、日本海ニ臨ム浦蘆斯德ノ一港アルノミ。

地勢、山岳。國ノ大部分ハ大平原ヲナシ、地勢ハ一帯ニ西北ニ低シ、故ニ大平原ハ西部ニ廣ク、東部ニ狹シ、而シテ北岸一帯ノ地ハ低クシテ、一年ノ半以上ハ氷リヲ以テ閉塞セラル。山脈ハ支那帝國ノ國境及ビ東部ニ在リ、其ノ重ナルモノチあるたい、やぶるのい、すたのぼいノ三山脈トス、あるたい山脈ハ平均五千尺ノ高サアリ、六

千尺以上一萬尺ニ達スル峯嶺モ亦少カラズ、やぶるのい山脈ハあるたい山脈ヨリ出デ、ばいかる湖ノ南ヲ過ギ、東北ニ進ミテすたのぼい山脈ニ接續シ、かむちあいつか半島ハ、二連ノ山脈ニ由リテ縱斷セラル、此等山脈中十四ノ活火山アリ、其ノ脈千島群島ヲ經テ日本ヲ縱過ス、西境ノうらるる山脈ハ高サ三千尺乃至五千尺アリ。

河湖。西伯利亞ニハたひ、をにせい、れな、及ビ黑龍江(あむうる)ノ四大川アリ、たひ以下ノ三大川ハ、共ニあるたい山脈ニ發シ、北流シテ北氷洋ニ入ル、其ノ支流ノ大ナルモノモ亦少カラズシテ、舟ヲ通ズル里程ヲ合スレバ、凡一萬二千三百里ニ及ブ、故ニ此ノ川ノ西伯利亞内地ノ交通上ニ與フル便益ハ極メテ大ナリ、元來西伯利亞ハ雨量甚少ク、一年中ノ總量六寸六分餘ニ過ギザルニ、斯ク大河ノ氷洋洋トシテ、洞ルルコトナキハ、北部ニ於イテハ年中土地氷結シ、雨水ノ地中ニ透散スルコトナクシテ、皆河川ニ集ルニ因ルナリ、黑龍江モ亦前ノ三大川ト同ジク舟楫ノ利ヲ與フルコト大ナリ。

湖水ハ蒙古ノ境ニ接シテばいかる湖アリ、水極メテ深ク、一年間六箇月ハ、水面氷結スルコト凡五尺ニシテ、土ニ透テ通ズベシ、夏期ニハ汽船ノ交通アリ、其ノ水をにせい

い河ノ支流あんがら河ニ落ツ。

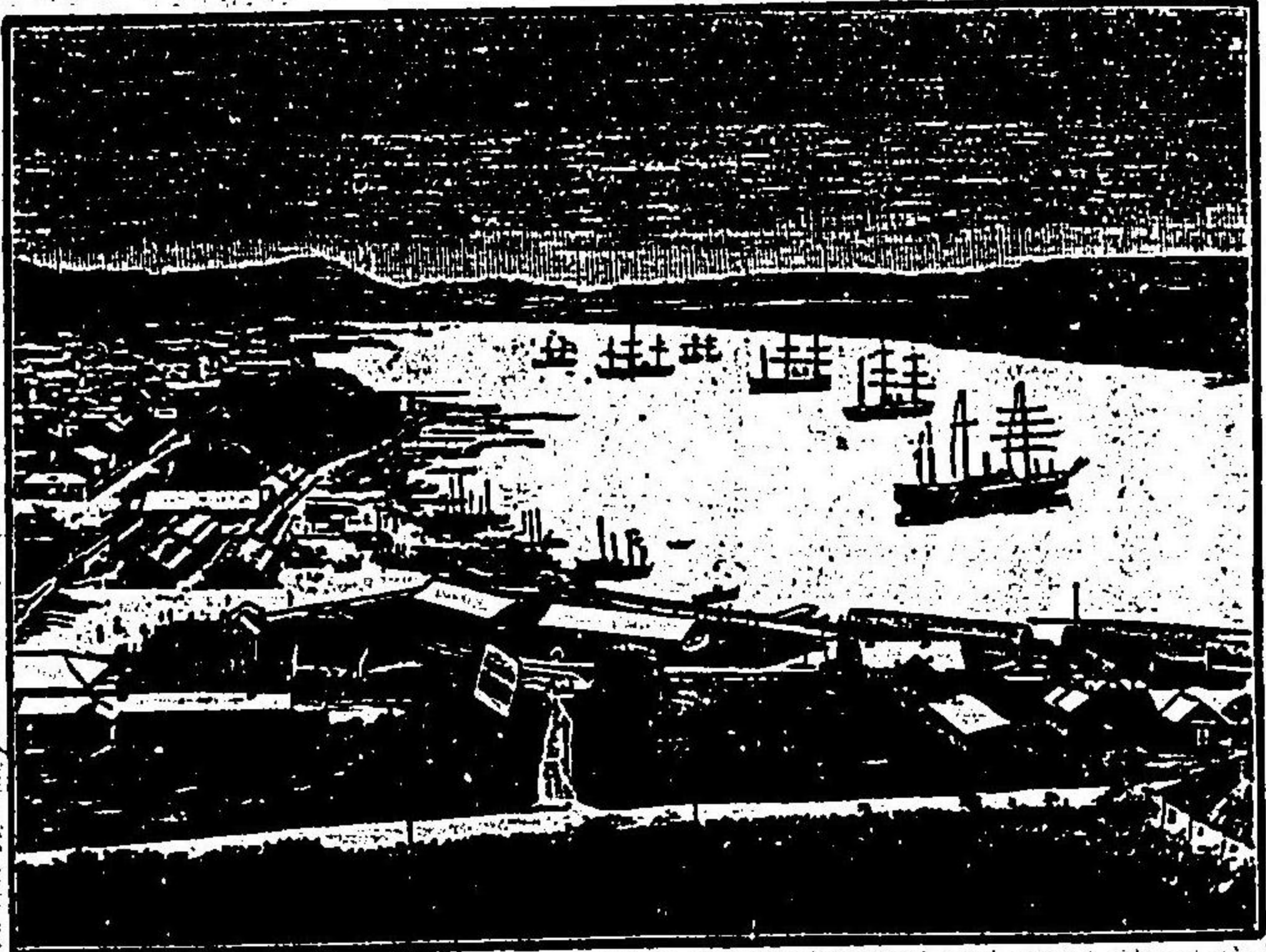
氣候、産物。 西伯利亞ノ氣候ハ極メテ寒冷ナリ、其ノ北部ノ北極圏内ニ入ル部

分ハ、周歲地下數尺ノ深サマデ氷結シ、殆無人ノ境ヲナス。極南部ハ氣候稍温和ナルモ、夏期ノ暑熱堪ヘ難キ所アリ。サレドモ此等ノ地方ニテモ、冬ハ甚永ク、且寒氣凜烈ナリ。凡ベテ西伯利亞氣候ノ寒冷ナルハ、單ニ緯度ノ高キ故ノミナラズ、地南ヨリ北ニ傾落シテ、日光ノ傾射一層甚シク、又中央亞細亞ノ大高臺アリテ、南方暖海ノ影響ヲ遮斷スルヲ以テナリ。

南方温和ノ地ハ、農業ニ適シ、麥類ヲ産ス。野獸ノ貴重ナルモノニハ貂、麝、鹿、熊、羆、狐等アリ、故ニ獸皮ハ産物ノ重ナル價ヲ占ム。然レドモ西伯利亞ノ富ミハ主トシテ礦産ニ在リ、うらる山及ビあるたい山ノ金ハ、頗有名ナルモノニシテ、其ノ他ニ銀、銅、鉛等アリ、石炭、石墨ノ産出モ亦少カラズ、河水ニハ魚産アリ。

都會。 西伯利亞都會ノ重ナルモノヲとむすく、いるくつく、托むすく、とぼるすく、浦蘆斯德トナス。とむすく(人口三萬七千)ハ、北シ川ノ上流部ニ在リテ、西部西伯利亞商業ノ中心ヲナシ、いるくつく(人口四萬七千)ハ、東部西伯利亞ノ首府ニシテ、ばい

る湖ノ西南岸ニ在リ、獸皮貿易ノ中樞ヲナス。托むすく(人口三萬八千)ハ、西部ノ首府



浦蘆斯德

ニシテ、北シ川ノ支流いるちし河畔ニ在リ。とぼるすく(人口二萬一千)ハ、とぼる川トいるちし河ノ合スル所ニ在リ。浦蘆斯德(人口四萬二千)ハ、我が函館港ノ正西ニ方リ、西伯利亞ノ東南岸ニ在リ、日本海ニ臨ム要港タリ。此ノ地本ハ滿州ニ屬セシガ、魯爾ニ歸シテヨリ、次第ニ繁盛ニ赴キ、日本、支那ノ人ノ玆ニ來リテ商業ヲ營ムモノ少カラズ。此ノ外西伯利亞ノ都會ニハ、蒙古ノ境賣買城ニ接シテきあくたアリ、國中ニせみばらんすく、とにせいすく、やくつく等アリ。

西伯利亞ノ道路ハ充分ノ發達ナシ、魯西亞人ハ現ニ之ヲ横過シテ浦蘆斯德港ニ達スル鐵

道架設ニ從事セリ。

人民風俗。西伯利亞土着ノ住民ハ、元來蒙古種ノ諸族ナリシガ、嚮ニ魯領ニ歸シテヨリ魯人ノ移住者及ビ國事犯ノ追放者次第ニ増殖シ、今ハ全人口ノ三分ノ二ヲ占ムルニ至レリ。土着人ハ或ハ農耕ニ從ヒ、或ハ獵、漁ヲ事トシ、或ハ水草ヲ逐ヒテ遊牧シ、皆共ニ蠻風ヲ脱セズ、宗教ハ基督教、回教、佛教等アリ。

西伯利亞ノ地ノ始メテ魯領ニ歸セシハ凡二百年前ニ在リ、當時魯人ハ西方ヨリララる山ヲ越エテ次第ニ東方ニ侵畧シ、近クハ支那ヨリ滿州ノ一部黒龍省ヲ取り、遂ニ今日ノ版圖ヲ成スニ至レリ。

(二) 魯領中央亞細亞。

總叙。魯領中央亞細亞トハ西伯利亞ノ西南ラるる河及ビ裏海トいるちし河ノ間ノ地ニシテ、北ハ西伯利亞ニ接シ、東南ハ伊犁、あかかにすたん及ビ波斯ニ連リ、西ハ裏海及ビウラる川ヲ以テ限ル、分チテきるぎづ草野及ビ土耳其機斯坦ノ二部トナス其ノ面積人口ハ左表ニ示スガ如シ。

| 地 | 名 | 面積(方里) | 人口 |
|--------|---|---------|-----------|
| きるぎづ草野 | | 一二七、七二九 | 二、〇〇〇、九七〇 |
| 土耳其機斯坦 | | 六九、一九一 | 三、三四一、九二三 |
| 計 | | 一九六、九二〇 | 五、三四二、八八三 |

きるぎづ草野ハ北部ニ位シ、南部ハ即土耳其機斯坦ナリ。

地勢。地勢ハ、概礫礫ニシテ、所所ニ沙漠、鹹湖及ビすていつふト稱スル草野アリ、東南部ハ高臺ニシテ、伊犁ノ境ニ天山山脈アリ、西北ハきるぎづ草野ノ平地ニシテ、あらゆる海ノ西ハラすとうると云ヘル礫礫ノ高地ナリ、而シテあらゆる海ノ南ト其ノ西即あむ河及ビしるだりあ河ノ間ハ沙漠ナリ。

河川ノ重ナルモノハ、西ニあむ、しるだりあノ三川アリ、共ニあらゆる海ニ注グ、あむ河ハばみるノ高臺ニ發シ、上流ハおきさす河ト呼ブ、其ノ水ノ半ハきはノ草地ノ灌溉ニ用ヒ、其ノ潤澤ノ及ブ所ハ、地味豊カニシテ人口密殖セリ、しるだりあ川ハ一ニヒあきさるてす河トモ云フ。

あらゆる海ハ水極メテ淺ク、漸次ニ乾涸スルモノニ似タリ、ばるかし湖ハ州ノ東部ニ

在リ、動物之ヲ飲メバ則死スル程ノ多量ノ鹽分ヲ含ム。此ノ湖ニ注入スル小流許多アリ、猶州内處處ニ大小ノ鹽湖散在ス。

氣候產物。

氣候ハ寒暖ノ相違極メテ著ク、夏ハ熱暑堪ヘ難ク、冬ハ寒氣甚シ、サレドモ地ノ低キ部分ハ冬季ノ寒氣稍寛ヤカナリ、空氣ハ一般ニ乾燥ナリ。灌溉ノ利アル所ハ果實穀類菜蔬ヲ産シ、草野ハ牧畜盛ニシテ、羊、馬、駱駝ヲ飼養シ、且生糸ヲ産ス。

都會風俗。

こおかん(人口五萬四千)ハしるだりあ河ノ上流ニ在リ、此ノ邊ハ樹木ノ茂レル平原地タリ。ぎば(人口四千乃至五千)ハあひ河畔ニ在リ、ぎば州ノ首府ニシテ、魯國政府ノ禁制ナカリシ前ハ、奴隸賣買ノ中心タリキ。ぼからハぎばノ東南ニ在リ、支那ニ通ズル貿易ノ一要區ヲナス。たしけん(人口十二萬餘)ハこおかんノ北ニ在リ、土耳其機斯坦ノ首府タリ。さまるかん(人口三萬三千)ハこおかんノ南ニ在リ、十四世紀中、亞細亞、歐羅巴ヲ震慄セシメタル帖木兒ノ舊都ニシテ、其ノ遺蹟今ニ存ス。裏海ノ岸ヨリさまるかん迄ニ通ズル鐵道ハ既ニ落成ヲ告ゲタリ。人民ハ蒙古種ニ屬シ、多クハ水草ヲ逐ヒテ漂泊スル遊牧ノ民タリ、中ニ抄掠ヲ業ト

スルモノモ少カラズ。土着ノ人民ハ多ク農耕ニ從フ、宗教ハ回教タリ。

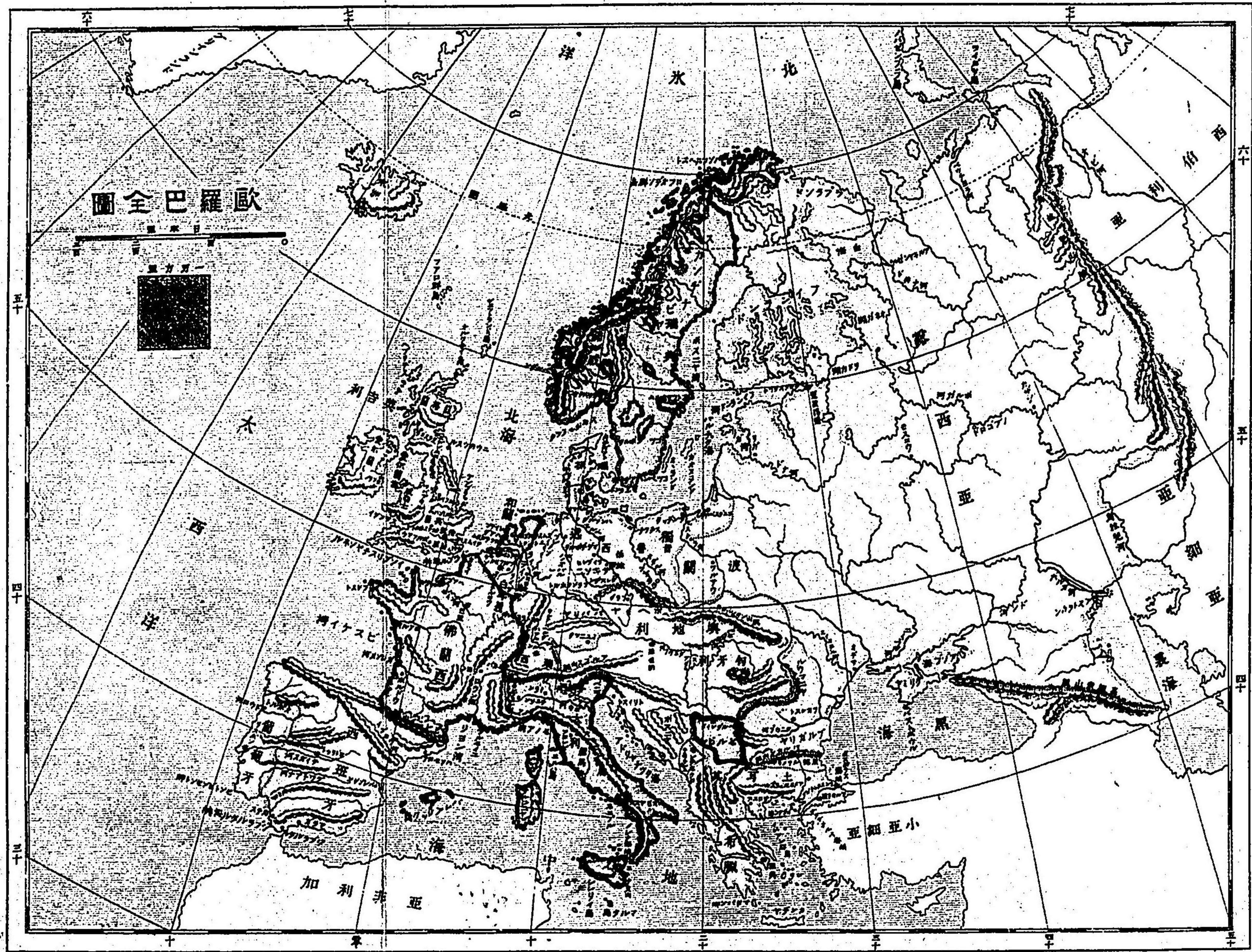
土耳其機斯坦ハ本會長各所ニ割據シテ、各其ノ領地ヲ支配セリ。ぼから、こおかん、ぎば等ハ共ニ會長ノ首都タリ、而シテ彼等魯國ノ侵略ニ遭ヒテ之ト抗爭スル能ハズ、皆相率ヒテ之ニ服從シタルナリ。

(三) **とらんすかうか**

總叙。 とらんすかうか、しあハかうか、さす山脈ノ南ニ位スル小地區ニシテ、東ハ裏海ニ面シ、南ハ亞細亞、土耳其、波斯ニ接シ、西ハ黑海ニ臨ム。地理上ヨリ云ヘバ、亞細亞ニ屬スレドモ、魯國ノ行政上、かうか、さす山脈ノ北方ニ位スル一區ノ地ト併セテ、かうか、しあ、一州ヲ成セリ、而シテ歐羅巴ニ位スルナシ、かうか、しあト云ヒ、亞細亞ニ在ルナシ、とらんすかうか、しあト云フ、面積一萬六千九百九十里、人口四百七十八萬餘アリ。

地勢產物。

北ニかうか、さす山脈アリテ、黑海岸ヨリ裏海岸ニ及ビ、歐亞ノ境ヲナシ、而シテ南境ニあららつと山アリ、國中記スベキノ河ハくる川ニシテ、裏海ニ入



此小舟ヲ以テスレバ、舟楫ノ利百六十里ニ及ブ。氣候ハ温暖ニシテ、綿、藍、生糸、煙草等
 ナ産ス。穀産ハ大麥、小麥、米、玉蜀黍等アリ、果實ハ林檎、梨、橙、葡萄等ヲ以テ名アリ。
都會、風俗。 ちふりす、人口十萬餘ハくる河畔ニ在リ、全かうかしあ州ノ首府ニ
 シテ、鐵道ヲ以テ黑海岸ノほとり裏海岸ノほとりに連結ス。ばく(人口八萬七千)ハ石
 油ノ主要産地ニシテ、裏海ノ要港タリ、此ノ地産出ノ石油ヲ燃シテ魯爾中央亞細亞
 鐵道、汽車ノ動力ヲ得ト云フ。
 此ノ部ニハかうかしあ及ビ蒙古種ニ屬スル諸派ノ民族アリ、言語モ亦極メテ多様
 ナリ、住民ハ農業ヲ主トス。

第二編 歐羅巴洲

第一章 總論

位置境界。 歐羅巴ハ、濠太利ヲ除キテハ、五大洲中最小ナル大陸ニシテ、東半球ノ西北部ニ位シ、亞細亞洲ニ附着スル一大半島ノ狀ヲナス。極南ハ北緯三十六度ナル西班牙たり、北緯ニシテ、極北ハ北緯七十一度十二分ナル諾威ノのるどきん岬たり、西ハ西經九度三十分ナル葡萄牙ノのるか岬ニ始リ、東ハ東經六十度五十分ナルうらる山ノ北頭ニ終ル。此ノ洲東ハうらる山、うらる河及ビ裏海ヲ以テ亞細亞ト境シ、南方亦黒海及ビかうかさす山ヲ以テ亞細亞ニ連リ、地中海ヲ隔テテ阿非利加洲ト相對シ、西ハ大西洋ニ面シ、北方一帯北氷洋ヲ受ク。

廣袤人口。 歐羅巴洲ノ面積ハ殆六十四萬六千方里ニシテ、大凡阿非利加ノ三分ノ一、南北亞米利加ノ四分ノ一、亞細亞ノ五分ノ一強ニ過ギズ。南方希臘ノまたばん岬ヨリ北方諾威ノのるす岬ニ達スルノ間一千里ヲ以テ最廣距離トシ、東方かう

かさす山端ノ裏海ニ突出セルあふしえろん岬ヨリ、西方葡萄牙ノらあるか岬ニ至ル間一千二百三十里ヲ以テ最長距離トス、人口凡三億六千萬餘、之ヲ各大洲ニ比スルニ唯亞細亞ニ劣ルノミ、而シテ地積ニ比シテ人口ノ密ナルハ、世界第一タリ。

區畫

歐羅巴ハ地積小ナリト雖、人口稠密ニシテ開明ノ強國甚多シ、其ノ國名ハ英吉利王國、佛蘭西共和國、奧太利匈牙利帝國、獨逸帝國、魯西亞帝國、西班牙王國、葡萄牙王國、伊太利王國、希臘王國、土耳其帝國、瑞西共和國、白耳義王國、和蘭王國、丁抹王國、瑞典、諾威王國、るうまにあ王國、せるびあ王國、もんでねぐる王國ノ諸邦ニシテ、就中英、佛、獨、奧、魯ヲ五大強國ト稱ス。

沿海、海灣

歐羅巴洲ハ東ノ一方ヲ除キ他ハ皆海ニ面ス、之ヲ亞細亞洲ニ比スレバ、其ノ面積ニ比例シテ海岸線ノ長キコト三倍、延長八千二百里ニ達ス、而シテ海岸ノ屈曲出入多キコト、他洲ニ比ナク、南北各三大内海アリ、其ノ南ニ在ルモノヲ裏海、黑海、地中海トシ、北ニ在ルモノヲ白海、ばるちつく海、北海トス、今北方海岸線ヨリ順次之ヲ細觀スルニ、白海ハ北氷洋ノ水波深ク魯國北端ノ地ヲ穿テルモノニシテ、本洲最寒ノ地ニ當リ、冬時ニハ海水氷結ス、白海ヨリ西太西洋ニ至リ、ずかんなび

あ半島ヲ環リテ、深ク瑞典及ビ魯西亞ノ間ニ入ルモノヲばるちつく海トス、海水分レテぼすにあ及ビあいらんぞノ兩灣ヲナシ、外洋ニ出デントスル所ニ丁抹諸島アリテ、其ノ咽喉ヲ扼シ、細ク西ノ方北海ニ通ズ、北海ハ獨逸及ビ英吉利ノ間ニ横ハリ、海水常ニ荒レテ舟行易カラズ、北海ノ西南ニ英吉利海峽アリ、其ノ南ニびすけい灣アリ、灣ノ南ハ即いべりあ半島ナリ、半島ヲ廻リテ地中海ニ入ラントスル所トシ、らるたるノ海峽アリ、一衣帯水ヲ隔テテ阿非利加洲ト對ス、此ノ海關ノ東ニ至レバ地中海ノ水廣ク、伊太利半島其ノ中央ニ突出シテ長靴ノ形ヲナシ、ばるかん半島之ト相并ビテ出ヅ、其ノ間ヲ穿チテ深ク内地ニ入ルモノヲあどりあちつく海ト稱ス、ばるかん半島ト亞細亞土耳其トノ間ニ當リ島嶼星ノ如ク、三三五伍相踵イテ横ハル所ヲえじあん海又群島海ト稱ス、其ノ東北ニだるだねるす海峽アリ、又まるとら小海ヲ經テぼすふれらすノ海峽アリ、二海峽共ニ狭ク、兩岸立チテ談スベキガ如シ、ぼすふれらすヲ過グレバ、渺茫タル黑海ニ入ル、くりみあ半島其ノ正北ニ突出シテ露國ノ要害ヲナシ、海岸出入少ク、唯かうかさす及ビくりみあ半島ノ間、隔狭ク相對スル所ヲ通ジテあどふ海アリ、彼ノ北海及ビばるちつく海ヲ通ズル海水、太西洋ト

地中海トヲ通ズル海峡及ビ地中海ト黒海トヲ連ヌル西海峡ハ、歐羅巴洲天然ノ水路上、地中殊ニ注目スベキモノナリ。

屬嶋。 歐羅巴洲ハ海岸線甚長ク、島嶼亦甚多シ、之ヲ面積ノ比例上各大洲ニ較ブルニ、例スベキモノナシ。地中海ノ如キハ殊ニ島嶼ノ散布著ク、北太平洋ニモ亦甚多シ。今順次其ノ著明ナルモノノミヲ擧ゲンニ、北氷洋中極寒ノ地ニふらんづ、じよせふらんぞ島、のばせむふら島及ビすびつづべるけん群島鼎足狀ヲナシテ横ハル。蓋無人島ナリ。太平洋ニ至リテハ、諾威ノ沿岸ニるふかでん群島アリ、遙ニ本土ヲ離レテ、北極圈ニ近ク氷州アリ、丁抹ニ屬ス。大不列顛島ハ北海ノ西ニ在リ、愛蘭島ト相抱キ、合シテ英吉利國ヲ形成ス。ばるちつづく海口ニせいらんぞ島アリ、内海ニ進ミテこつとらんぞ島アリ、佛蘭西及ビいべりあ半島ノ外洋沿海ハ、島嶼少シ、繞リテ地中海ニ入レバ、先ばれありつく群島アリ、西班牙ニ屬ス。次ギニ相并ビテこるしか、さるぢにあノ二島アリ、前者ハ佛國ニ屬シ、後者ハ伊太利ニ屬ス。伊太利半島ノ南端ニししりい島アリ、地中海ノ中央點ヲナス、更ニ東ニ進ミテまるた、かんぢあ、さいふらす諸島アリ。

地勢、山岳。

歐羅巴洲ハ概シテ低地多ク、全面積ノ三分ノ二ハ平原ニシテ、而モ高原少ク、沙漠ナク、東北ノ地ハ一面山嶽ヲ見ズ。其ノ高峻ナル山脈ノ重疊起伏スル所ハ、重ニ南部歐羅巴ナリ。あるふす連山、びれにいす山脈、かるばしあん山脈及ビすかんぢあなびあ群山等ハ、即洲中山脈ノ重ナルモノナリ。

あるふす山脈ハ佛蘭西ノ東境ニ起リ、瑞西ノ地方ニ於イテ高嶺相重リ、山勢峻險ヲ極メ、一派ハあどりあちつく海岸ニ沿ヒテ、遠クばるかん連山ニ續キ、一派ハ埃太利ノ内地ニ出デ、又他ノ一派ハあべにん山脈ニ連リ、伊太利半島ヲ縦貫ス。あるふす山脈ヲ分チテ中央、西部、東部ノ三トナス。中部ニハ高峯多ク、頂上ニ氷河流ル、もんぶらん山ハ海面ヲ抜グコト一萬五千七百八十五尺、是其ノ最高峯ニシテ、其ノ低キモノモ大抵八百尺ニ下ラズ、山頂ハ四時雪花白ク、山下ハ碧潭遠ク流レ、風景絶佳ナリ。びれにいす山脈ハ西班牙佛蘭西ノ境ニ横ハリ、あるふすニ次グ大山脈ニシテ、まらでつた山ヲ以テ最高峯トス、高サ一萬一千百六十八尺、連山石多クシテ、爲ニ隧道ヲ穿ツテ得ズ、鐵道ハ之ガ山麓ヲ繞ル、風景見ルベキモノナシ。かるばしあん山脈ハだにらふ河外ニ起リテ、獨埃兩國ノ間ニ連亘シ、其ノ狀宛然馬

蹄ノ如ク、匈牙利ノ平野ヲ抱キ、脈路延キテ三百三十里ニ亘リ、南端遙ニばるかん連山ニ通ズ、其ノ最高峰ハ九千九百尺餘ノ高サアリ。ばるかん山脈ハあぢつてあぢつて海岸ヨリ半島ヲ横斷シテ黒海ニ出ツ、高峯起伏スル所高サ六千五百尺内外トス。是等ノ諸山ト隔離シテ、別ニ歐洲ノ北隅ニ峙ツモノヲすかんぢなびあ山脈トス。然レドモ是ハ連山ノ脈絡正シク相通セズ、高丘相集リテ全半島ヲ連貫スルモノナリ。山脈ニ部ニ分レ、其ノ南ニ在リテ最高キモノハ一千四百尺、其ノ北ニ在リテ最高キモノハ五千三百尺餘ニ過ギズ。

うらる山脈ハ歐亞ノ境ニ横ハリテ、蜿蜒起伏スルコト長シト雖、山頂概低クシテ、高サ六千尺ニ上ルモノナシ。かうかさす山ハ、裏海、黒海ノ間ニ亘リテ更ニ歐亞ノ境ヲナシ、高峻ナル山嶽相次イデ聳エ、一萬八千五百尺餘ニ達スル秀嶺アリ。

歐羅巴火山ノ著名ナルモノヲえとな山、べすびゆす山及ビへくら山等トナス。えとな山ハししりい島ニ在リテ、其ノ高サ一萬八百四十尺、諸洲ニ稀ナル活火山タリ。べすびゆす山ハ伊太利國ねいぶるす灣頭ニ峙チテ、其ノ形圓錐狀ヲナシ、高サ四千一百尺餘、へくら山ハ氷州ニアリテ高サ五千尺餘、其ノ他佛蘭西、獨逸及ビびれにいす

山脈中、亦數箇ノ火山アリ。

平原。

歐羅巴三分ノ二ヲ占有スル平原ハ、うらる、びれにいす兩山脈ノ間ノ諸國トス、就中魯國最著ク、うらる山西ヨリ獨逸ノ境ニ至ルノ間、唯せんとべいとるすふるぐノ南ニ當リテばるたい小丘ノ起伏スルアルノミ。其ノ他ニハ廣茫タル平野、裏海、黒海ヨリ北氷洋及ビばるちつて海ノ間ニ亘リ、すかんぢなびあ半島ノ瑞典平野ニ連リ、西ハ獨逸平原ニ接ス。かるばしあん山脈ヲ超ユレバ、匈牙利ノ平原アリ、佛國モ亦大半ハ平カナリ。ぼお河畔ニ横ハルるむばるぢい平原及ビだにうふ河畔ノ匈牙利平原ハ、地味豊饒ヲ以テ聞エタリ。然レドモ其ノ間亦二三ノ高原ナキニ非ズ、西班牙高原、匈牙利ノ東南ニ於ケルとらんしるばにあ高原、諾威ノ高原、ばるかん高原等、其ノ著名ナルモノナリ。

河川。

歐羅巴ノ分水界ハ、うらる山ニ起リテばるだい丘ニ連リ、少シク南折シテかるばしあん山ニ達シ、更ニ西走シテびれにいす山ニ至リテ止ム。故ニ河川其ノ西北ニ流ルル一派ハ、大西洋ト北氷洋トニ注ギ、東南ニ流ルルモノハ地中海、黒海及ビ裏海ニ注グ、東南大河多ク、西北之ニ敵スベキモノナキハ、蓋分水界ノ然ラシムル所

ナリ。諸川概舟行灌漑ノ便ヲ具ヘテ水利甚大ナリ。
 ぼるが河ハ歐洲第一ノ大河ニシテ、せんとべいとるすふるぐノ東ナルらいろれ湖
 ニ發シ、うらる山ノ諸川ヲ合シテ、徐徐平野ノ間ヲ屈曲南流シ、裏海ニ注グ、水程一千
 里、流波靜穩ニシテ、全長殆舟行ノ便アリ、河口分レテ數派トナル所、あすどらかん市
 アリ、どん河(四百餘里)モ亦魯國ノ大河ニシテ、あぞふ海ニ注グ、にいべる河(三百里)ハ
 諸川ヲ合シテ、黑海ニ注グ、共ニ舟楫ノ利アリ。
 だにうふ河ハ水程七百三十八里、源ヲ獨逸ノ西南隅ニ發シ、南北諸山ノ水流ヲ合シ
 テ、匈牙利ノ沃野ヲ過ギ、せるびあ、ふるがりあ、るうまにあ等ノ諸國ヲ通ジテ、黑海ニ
 注グ、舟ニテ流レニ湖レバ、獨逸ノうるむ府ニ達スルヲ得ベシ、是ヲ以テ、其ノ通交及
 ビ内國商業上ニ便益ヲ與フルコト甚大ナリ、加之歐羅巴東南部ノ沃野ハ、之ニ依テ
 以テ灌漑ノ利ヲ受ク。

ぼれ河(百八十五里)地中海ニ注グ、諸川中、最著名ニシテ、且要用ナル河流タリ、源ヲ
 伊太利ノ西北端ニ發シテ、あどらあちつく海ニ入ル、水程長カラズト雖、灌漑ノ利多
 ク、ろひばるぢいノ沃野ノ如キハ、最其ノ潤澤ヲ蒙ル、其ノ他地中海ニ注グ諸川ハ、概
 水勢急ニシテ、便益甚大ナラズ、らいん河(三百三十里)ハ、歐羅巴西北ノ水流中、著名ノ
 河流ニシテ、獨逸ノ國境ニ近ク、内地ヲ流レテ、和蘭ニ入リ、北海ニ注グ、河口ニへいぐ
 府アリ、舟行運船ノ便亦甚多シ、其ノ他、大西洋ニ注流スル著名ノ河流ヲ舉グレバ、佛
 國ニるあ及びせいんノ二流アリ、獨逸ニハらいんニ加フルニえるべ河アリ、共ニ運
 船ノ利ヲ與フルコト多キヲ以テ、其ノ河口ニハ各貿易昌盛ナル市府アリ、魯西亞ノ
 せういな河ハ、白海ニ朝ス、水程二百九十里、全長殆船船ヲ行ルベシト雖、地烈寒ニシ
 テ、水流冰ルコト多時ナリ。

湖沼。 歐羅巴ノ湖沼ハ、之ヲ二群ニ分ツテ、便トス、一ハぼるちつく海沿岸地ニ群
 集スルモノニシテ、他ノ一ハあるぶす連山地方ニ在ル一群ナリ、其ノ他ノ地方ニテ
 湖沼ノ類ハ稀ニ見ル所ナリ。

ぼるちつく沿岸ノ大湖ヲ魯國ノらどが湖トス、面積一千二百方里、本洲第一ノ大湖
 タリ、其ノ東ニ並ベル、れねが湖ヲ次ギノモノトス、中間ニすびるト稱スル小流アリ
 テ、二湖ヲ連結ス、三湖ノ西南ニ當リ、數多ノ湖沼散在スレドモ、記スベキ著名ノモノ
 ナシ、すがんぢなびあ半島中、亦許多ノ湖水アレドモ、皆大ナラズ、其ノ中、あねる、あつ

てる最著ル。

あるふす連山地方ノ湖水中有名ナルハ、瑞西ノせにば湖、りうせるん湖及ビこんす
たんす湖ト、伊太利ノまじおふる、がるだ湖トス。就中せにばハ、其ノ形雲間ニ懸レル
半月ノ如ク、水面亦玲瓏トシテ、風光絶佳ノ稱アリ。伊太利ノ湖水亦絶景ヲ以テ稱セ
ラル。英吉利諸島中ニモ亦此種ノ山湖ニ乏シカラズ。

氣候

歐羅巴ハ北温帯中ニ位スル大陸ニシテ、其ノ最南ノ半島ハ熱帯地方ヲ去
ルコト十二乃至十三度、最北ノ地ハ寒帯ノ圍内ニ入レリ。然レドモ要スルニ氣候平
温ニシテ劇變ナク、常ニ太西洋ノ西南暖風ニ浴スルヲ以テ、同緯度ニ位スル他ノ地
方ヨリ甚暖カナリ。就中西班牙、佛蘭西、伊太利、希臘、土耳其等ノ諸國ハ本洲中氣候ノ
最適温ナル地方ニシテ、萬般ノ植物能ク繁茂ス。北部佛蘭西、英吉利、獨逸、和蘭、白耳義、
瑞西ヨリ諾威、瑞典及ビ魯西亞ノ一部モ、四季ノ温度適セザルニ非ズ。植物ノ蕃殖培
養上敢テ妨グナシト雖、諾威、瑞典及ビ魯西亞ノ北部ハ、氣候酷寒ク、水流常ニ氷結シ、
陸地モ亦常ニ雪降りテ、爲ニ植物ノ生育ヲ見ズ。

動物

歐羅巴ノ地タル、平野多ク人口稠密ニシテ、農業能ク開ケタルヲ以テ、頗家

畜ニ富ムト雖、野獸ノ類ニハ甚乏シ。阿非利加熱帯地方ノ獅子、虎、豹ノ如キ猛獸ハ、歐
羅巴ニテハ見ルコトナシ。唯猪、熊、狼等ノ如キハ、時ニ之ヲ獨逸ノ深林、あるふす連
山、バレにいたす山等ノ深奥ナル所ニ於テ見ルコトアリ。其ノ他ノ動物ハ、鹿、狐、山猫、
兎、栗鼠、蝙蝠、獺、海豹、水馬等ニシテ、羽虫、爬虫ノ類ハ甚少シ。要スルニ北部歐羅巴ニテ
ハ海濱ニ動物多ク、内地ニ入ルニ從ヒテ稀少ナリ。北方ノ特産ニ馴鹿アリ。中部歐羅
巴ニ鳴鳥類多クアリ。伊太利、西班牙及ビばるかん半島等南部歐羅巴ニ至リテハ、鳥
類甚少シ。概シテ陸産動物ノ多キハ南部歐羅巴ニシテ、海産動物ノ多キハ北部歐羅
巴ナリ。

植物

歐羅巴北部一帶ノ地ハ、年中ノ九箇月又ハ十箇月間、常ニ雪アリ、故ニ海濱
沼澤湖水ノ畔ハ、青苔滑ニ地ヲ蔽ヒ、楊柳ノ枝唯細ク垂ルアルノミ、他ニ一切ノ樹
木ナク、果實ナシ。穀物ノ耕作ヲナシ能ハザルヲ以テ、稀疎ナル住民ハ、馴鹿、海獺等ノ
肉ヲ食シテ生活ス。すかんなひあ及ビ北部魯國ノ地ニハ、穀類ニ大麥アリ、樹木ニ
樅アリテ、果實ナシ。中央歐羅巴ハ、種種ノ樹木繁茂シ、果實多ク、桃、林檎等ニ富ミ、麥、裸
麥、麻、甘藷等ノ耕作盛ニ、葡萄ノ産出甚多シ。南方歐羅巴ニ至レバ、伊太利、西班牙等

ノ地ハ常磐樹鬱蒼トシテ繁茂シ、自一種ノ風景ヲナシ、雨澤能ク濕ヒ、米、綿、橙、葡萄等能ク繁生ス。だにうぶ河口ヨリ裏海ニ至ル黒海沿岸ノ地ハ、地味礪礪ニシテ、茫茫タル一帯ノ草野タリ。

礦物。 本洲ハ礦物ニ富メリ、金ハうらるる及ビとらんしるばにあ地方ニ産シ、銀及ビ鉛ハ、西班牙、英吉利、諾威、うらるる地方ニ多ク、西班牙ノ水銀、英、魯及ビ瑞典ノ銅、英國ヨリ探掘スル鐵及ビ石炭ハ、何レモ多量ニシテ、獨佛、白、埃、魯等亦少量ノ産出アリ、硫黄ハ、ししり島ニ産シ、鹽ハ各國共ニ採取スレドモ、製造ノ盛ナルハ英ヲ主トシ、獨佛諸國之ニ次グ。

人種。 本洲ノ人民ハ概カウかしあ人種ノありあ派ニ屬シ、僅少ナル蒙古人種ヲ雜フ。即蒙古種ノ人民ハ、全人口ノ二十分ノ一ニ當リ、土耳其人及ビ匈牙利ノ一部ニ住スルまべやると稱スル一民族ハ、其ノ重ナルモノナリ。而シテありあん民族中又自四大別アリ、今之ヲ各國ニ配スレバ、
(一) けると民族ニ屬スルモノハ、英、蘭、愛爾蘭ノ西部、蘇格蘭ノ西北部及ビ佛蘭西ノ西部ニ住ス、總計五千萬ニ充タズ。

(二) らてん派ニ入ルベキ重ナル諸國ハ、希臘、伊太利、西班牙、葡萄牙及ビ佛蘭西等ニシテ、人口總計一億萬アリ。
(三) ちうとん民族ハ一ニ獨逸派ト稱ス、英吉利、和蘭、獨逸、丁抹及ビすかんなびあ等ノ諸國之ニ屬ス、人口總計一億一千萬餘アリ。
(四) すらぶ民族ノ重ナルモノハ、魯西亞ニシテ、波蘭人、ぼへみあ人及ビ匈牙利一部ノ人民之ニ屬ス、是亦人口一億萬アリ。
其ノ他土耳其蒙古族五百萬、匈牙利ノまぐやる人七百萬アリ、諸國ニ轉轉散布スルカウかしあ種せみちつく族ノ猶太人ハ、其ノ數殆六百萬以上ニ達シ、而シテ現今歐羅巴北部ノらぶらんと寒帯地方ニ殘居スル所謂らつふ人ハ、ありあん人ノ未歐洲ニ來ラザリシ以前ノ住民ニシテ、蒙古種ニ屬スト云フ。
諸國民既ニ此クノ如ク種族ヲ異ニシ、國語亦固ヨリ等シキテ得ズ、現今吾人ハ實際ニ徴シテ之ヲ知ルコトヲ得レドモ、其ノ語源語脈ヲ尋マルニ、異例ナキヲ保セズ、然レドモ各民族ハ、各語格ヲ特有セルモノト見テ大差ナキナリ。
宗教。 歐洲ノ宗教ニニアリ、一ヲ基督教トシ、一ヲ回教トス。カウかしあ人ハ前者

ヲ奉ジ、蒙古人ハ、後者ヲ信ズ。基督教ハ又分レテ三派タリ、曰ハクカトリック教派即舊教、曰ハクムルテサタンと教派即新教、曰ハク希臘教是ナリ。此クノ如キ宗教ノ諸派ハ、民族ノ區分ト等シク亦信仰ヲ異ニスルモノノ如シ。

(一)カトリック教ハ新教改革以前ノ基督教ニシテ、羅馬法王之ガ教主タリ、らてん民族及ビけるト民族ノ大半ハ之ヲ奉ズ。

(二)ムルテサタンと教即新教ハ、十六世紀ノ中葉、獨逸人まるちんるうてるノ宗教革命説ニ基キ、舊教ノ教義ヲ改革セルモノナリ、ちうとん民族ハ概之ヲ奉ズ。

(三)希臘教ハ舊教ノ一派ニシテ、魯西亞人既ニ早ク之ヲ奉ジ、魯帝即之ガ教主タリ、すらん民族及ビ希臘人共ニ之ヲ奉ズ。

其ノ他土耳其人ノ回教ニ於ケル、猶太人ノ猶太教ニ於ケル、古代殘蠻ノ民族ノ多神教ニ於ケル、合ハセテ千數百萬ノ信者アリ。

産業。 歐洲ハ夙ニ文化大イニ開ケ、産業ノ進歩著ク、天然ノ地利、豐富ナル材料ヲ與ヘタリ、是ヲ以テ其ノ農産物又工業品ニ於ケル、共ニ萬國ニ雄視スルニ足レリ。今之ヲ零叙センニ、魯、佛、獨、奧、西、葡ノ地ハ穀物ヲ産シ、葡萄酒ハ佛國ヲ以テ最トシ、伊、

葡等之ニ次グ、其ノ他橙、橄欖、無花果ノ如キモノハ、中部及ビ南部歐羅巴ノ諸國ニ産シ、製乳業ノ盛ナルハ英、和、白、丁等ニシテ、精好ナル羊毛ノ産出ニ名アルハ獨、西及ビ蘇格蘭等トス。鱈、鯡、鯖、鮭、鰵等ノ海産物及ビ木材、礦石等ノ産物ニ對スル各種ノ製造業モ、亦各國共ニ盛ンナリ。製造事業ハ美術品ニ於イテ其ノ名高ク、獨、太、利ノ玻、璃、瑞、西ノ時計ハ、萬國ニ聲譽喧シ。

交通。 本洲ノ人民ハ夙ニ商業上ニ於イテ大イニ進歩シ、或ハ亞細亞ニ、或ハ阿非利加、亞米利加及ビ其ノ他ノ各洲ニ通商貿易ノ途ヲ開キ、航海術ノ如キモ頗熟達シタリ。加之本洲列國間ノ交通ハ頗頻繁便利ユシテ、商業隆盛ヲ極メ、海ニハ汽船アリ、

陸ニハ汽車アリ、英、吉、利、白、耳、義、獨、逸及ビ佛、蘭、西ノ東北部ハ、鐵道ノ線路恰蛛糸ノ如ク、四萬數千里ニ及ブヲ見レバ、其ノ交通ノ便宜想フベシ。又運河ノ著明ナルモノハ、黑海及ビぼるちつク海ニ氣脈ヲ通ズル所ノ魯國內地ノ運河、地中海及ビびすけい灣ヲ連ナル所ノ佛國西南ノ運河等アリ、又和蘭ノ運河ハ其ノ數多ク、便益甚大ナリ。
政治。 歐羅巴各國ノ政治ノ現今大イニ進歩ノ域ニ在ルコトハ、皆人ノ知ル所ナリ。諸國共ニ獨立憲王政ニシテ、庶民參政ノ權ヲ有ス、然レドモ其ノ間又格外ノモノ

ナシトセズ、佛蘭西及ビ瑞西ハ共和政體ヲ取り、魯國ハ專制政治ヲ極メタル帝政ナリ。是等ノ事ハ後章ヲ追ヒテ各國ノ下ニ辯ズルヲ便トス。

第二章 東北歐羅巴。

(一) 魯西亞帝國。

總叙。魯西亞ハ歐羅巴ノ東北部ヲ占領スル大國ニシテ、北方一面北氷洋ニ臨ミ、南ハ黒海ヲ隔テテ亞細亞土耳其及ビ波斯ト相對シ、東ハ裏海、うらる山及ビうらる川ヲ以テ亞細亞ヲ限リ、西ハ瑞典ニ境シテ、ばるちつく海ニ出デ、又獨逸、埃木利、土耳其等ノ諸國ニ接ス、南北ノ距離凡六百五十里、東西ノ幅亦殆之ト等シ、面積三十五萬四千四百四十方里、人口九千七百五十萬餘、全歐羅巴ノ面積ハ六十八萬方里ニ充タズ、而シテ魯國獨其ノ一半餘ヲ占ム、若之ニ亞細亞ノ領地ヲ加フレバ、總面積大凡百四十五萬方里餘ニ及ブ、其ノ版圖ノ廣大ナルコト此クノ如シ。

海岸。此ノ國北方一帶ハ北氷洋ニ面シ、西ハばるちつく海ニ臨ミ、東南ニハ裏海及ビ黒海ヲ控フレドモ、海岸線ハ甚短シ、西岸ニハホーインらんと灣沿岸ニへるしんぐホーあるす港アリ、りぼにあ灣ニリが港アリ、白海ニああちあんげる港アリ、南岸ニハ黒海ニ臨ミテホーフと港アリ、東南裏海ノ濱ニあすとらんかんアリ、屬島ニハ重要

ナルモノナク、半島ハくりみあチ以テ著名ナリトス。

地勢。 魯國ハ一面廣茫タル平原ニシテ、之ヲ望ムニ際涯ナク、唯一ばるだい丘ト稱スル岡陵せんをいどるすぶるぐノ東南ニ起伏スルアリ、平地ヨリ高キコト僅僅六百尺ニシテ本國ノ分水界ヲナシ、遙ニ東境うらる山ニ應ズ。うらる山ハ西伯利亞及ビ魯西亞平原ノ間ヲ隔ツル障壁ヲナス、連山長シト雖高サ五千尺以上ニ達スルモノニ、三アルノミ。かうかさす山脈中最高キモノハ一萬八千尺餘、山勢概シテ高峻險惡、歐洲内地ニ於イテ之ニ比スベキノ高山ナシ。

魯西亞全國ハ一體ノ平野ニシテ、北部ノ地ハ氣候甚寒ク、穀類實ラズ、人民モ稀疎ニシテ、馴鹿ヲ食シテ生活ス。其ノ平野ハ常ニ濕潤ニシテ草木生ゼズ、唯青苔ノ地ヲ蔽フアルノミ。此ノ邊ノ地ハたんをらト稱シテ、常ニ馴鹿ノ牧場ニ使用ス。夫ヨリ漸漸南下シテ、もすこう府ニ至ルマデノ間ハ、廣原深林多ク、田圃尙未開ケズ、住民亦少シ。東南裏海ノ沿岸うらる山、うらる川ニ近キ一帶ノ地即東南魯西亞ハ、土質往々沙漠ノ狀ヲナシ、荒蕪ノ草原遠ク横ハリ、農業ニ適セザルヲ以テ野人概遊牧ス。穀産ノ地ハ概西南部ニ在リ、就中最肥沃ナルハ波蘭ヨリるうまにあ及ビ埃太利ノ境ニ接シ

テ、東ぼるが河畔ニ至ルノ地ニシテ、最良ノ麥類ヲ産出シ、世人之ヲ魯國ノ寶庫ト稱ス。故チ以テ此ノ地方ハ人口稠密ナリ。又ばるちつく海沿岸ノ地モ穀物ヲ産スルコト少カラズ。

河川。 魯國ノ河川ハ、ばるだい丘ヲ以テ東南ト西北トニ分割セラル、東南ニ流ルルモノハ裏海及ビ黒海ニ注グ、うらる、ばる、が、とん、にい、べる、にい、すて、る等ノ諸川、其ノ重ナルモノナリ。就中ぼるが河ハ歐洲第一ノ大河ニシテ、舟行殆全長ニ達シ、是ヨリ運河ニ依リテばるちつく海、白海、黒海ニ連通スベク、運船上ノ便益甚大ナリ。西北ノ諸川ハ白海ニ注グをびな河以下、二三ノ小流アルノミニシテ、東南ノ河流ニ敵スベキモノナシ。要スルニ魯國ハ土地平カナルヲ以テ諸川概水波靜穩、舟行ノ便甚宜シ、唯氣候寒冷ナルヲ以テ、長キハ七八箇月、短キモ亦數箇月ノ間河水氷結シ、水利ヲ絶塞スルノ不便アリ。

湖沼。 歐羅巴ノ湖沼ハ魯國殆之ヲ獨占セリ、而シテ其ノ湖河ハ、又ふいんらんを諸州群集ス。蓋ふいんらんをハ土地低濕ナレバ、湖沼ノ多キコト怪シムニ足ラズ。らとが湖ハ歐洲第一ノ大湖ニシテ、面積一千二百二十方里、水深キコト平均三百尺

年中三分ノ一ハ常ニ氷結ス、河水ノ此ニ注グモノ六十餘アリ、托ねが湖モ亦有名ナル大湖ナリ、面積ハラとが湖ノ三分ノ二ニ過ギザレドモ、水甚深シ、然レドモ暗礁所ニ伏在スルヲ以テ、舟行危険ナリ、其ノ他ペいふす、いるめん等ノ如キモ亦著明ノ湖水ナリ、ホーインらんと諸湖ハ皆運河ヲ以テ互ニ相通ズ、

氣候。

魯西亞ハ南北六百二十五里ノ廣袤アレバ、氣候固ヨリ各地ニ依リテ差アルベシト雖、要スルニ所謂大陸氣候ニシテ、冬夏寒暖ノ差著ク、南方あすどらかんニ於イテモ、冬極メテ寒ク、北方あるちあんげるニ於イテハ、夏時短キモ甚暑シ、然レドモ緯度ニ準ズルノ寒暑固ヨリ免ルル能ハズ、其ノ北方即北極圏内ノ地ハ、氷雪常ニ多ク、冬期永クシテ、草木生セズ、住民稀ナリ、夫ヨリ北極圏外ノ地ニ至リテハ、大麥、裸麥等生シ、松柏茂ルト雖、冬期猶四五月ニ過ク、南部魯西亞ニ至レバ、氣候大イニ和ギ、小麥、果實等能ク産出ス、更ニ南下シテ極南くりみあ半島ニ至レバ、葡萄ノ栽培ニ適セリ、雨量ハばるちつく海ニ面スル地方ニ多ク、東南黒海及ビ裏海ノ地方ハ乾燥早魃ノ續クコトアリ、

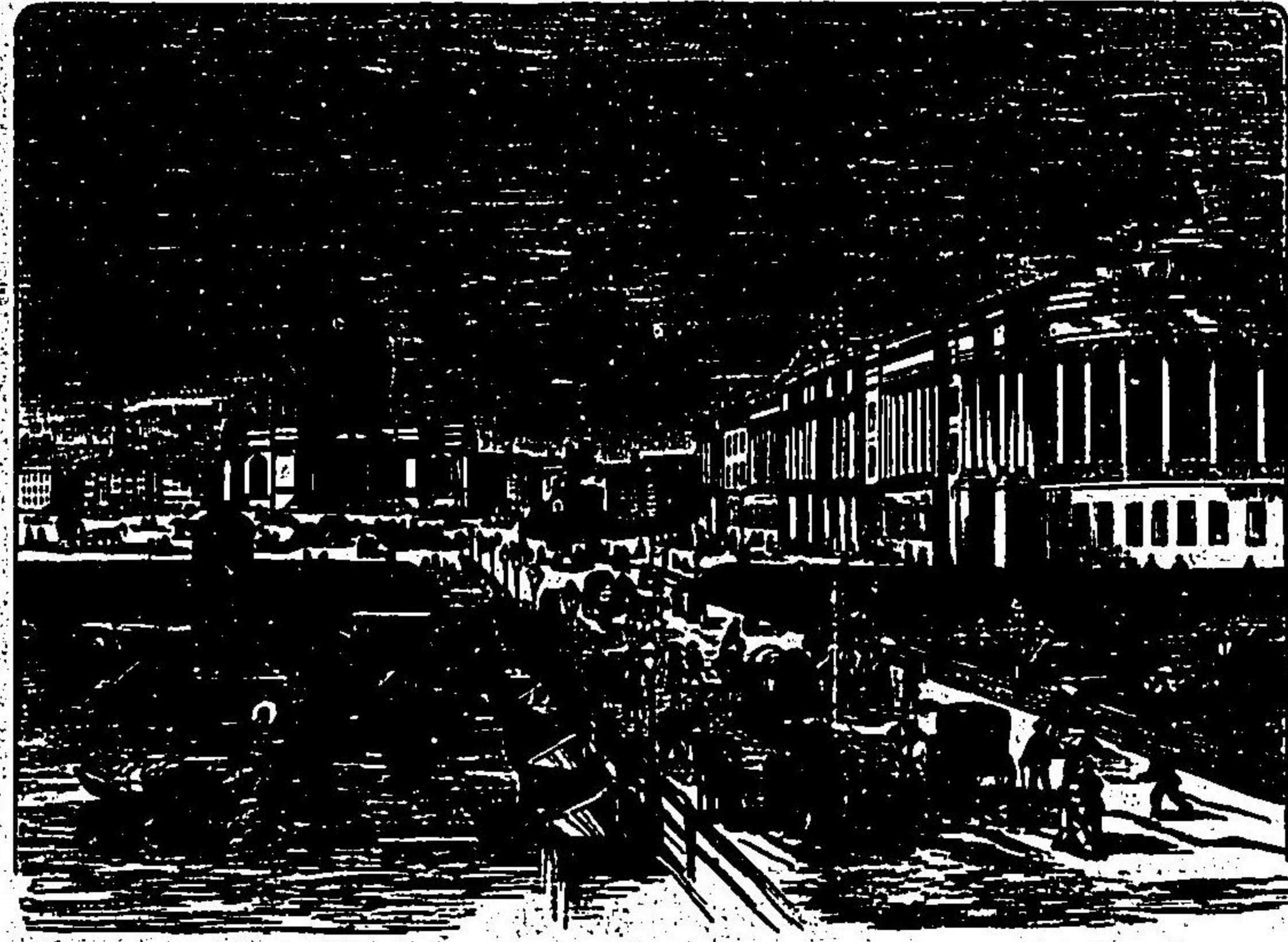
産物。

魯國人民ノ大半ハ農業ニ從事シ、耕作法甚不完全ナルモ、産物ハ少カラズ、

小麥、大麥、裸麥、馬鈴薯、亞麻、苧、砂糖、煙草等其ノ重ナルモノニシテ、牛、馬、羊、豚、馴鹿等ノ畜産ニ於イテモ著ル、木材ハ松、樅、落葉松、樺、櫟等ヲ産シ、礦物ハ鐵、銅、白金、亞鉛、石炭、食鹽等ヲ産シ、金ハラらる山ヨリ採掘ス、概シテ魯國ハ國土廣クシテ、天然ノ産物多ク、製造工業亦漸發達シテ、綿布織リ物ノ如キ殊ニ盛ニ行ハレ、金銀細工、革細工、石、蠟燭等ノ製造日ヲ追ヒテ進ム、唯交通ノ便ニ欠ク所アルヲ以テ、陸盛ヲ見ルコト難シ、

都會。

魯國ハ面積人口ニ比シテ都府少ク、人口十萬以上ノモノ十一、五萬以上ノモノ二十五アルノミ、帝都せんとペいとるすぶる々々、ホーインらんと灣頭ねば河口ニ跨ガリ、各國船舶ノ出入甚多ク、貿易盛ニ行ハレ、街衢井然、人口凡一百萬アリ、一千七百三年、ペいとる大帝ノ創建セシ所ニ係ル、
帝都ニ次ギテ有名ナルハもすこう府ニシテ、魯國ノ中央もすくば河岸ニ在リ、人口凡八十萬、昔時ノ帝都ナリ、本國鐵道ノ線路ハ此ヲ中心トナシ、其ノ西北ニ走ルモノハ、のぶころとナ經テ帝都ニ達シ、西ニ走ルモノハ、波蘭州わるろウニ至リ、南ニ發スルモノハ、遙ニくりみあ半島せばすとぼる(人口三萬四千)ニ達シ、東南ニ走ルモノハ、



かうかさす山ノ下ニ至リ、北ニ向フモノ亦
 數條アリ、西伯利亞鐵道ハ現ニ經營中ナリ、
 わるそら府ハ往時波蘭王國ノ首都ニシテ、
 人口四十九萬餘アリ、もすこら鐵道此ニ通
 シ、又遙ニおでつさニ達ス、おでつさハ魯國
 聖海港ノ最重要ナルモノニシテ、黒海ノ岸ニ
 彼位シ、外國貿易盛ンニ行ハレ、人口三十餘萬
 得アリ、あすとらんカハ裏海ノ沿岸ぼるが河
 口ニ位シ、人口七萬四千アリテ、裏海貿易ノ
 中心タリ、ぼるが河ヲ溯レバさらどお府人
 口十二萬餘アリ、內國商業隆盛ノ地ニシテ
 鐵道もすこらニ通ズ、
 ぼるちつこ沿岸ニリが港アリ、人口凡二十
 一萬、おいらんと碼頭帝都ニ通ズル内海

ノ咽喉ヲ扼シテ、くるんすたつとノ海港トへるしんぐおゐると市(人口六萬餘)アリ、
 又白海ノ濱ニあるちおんげる港アリ、共ニ國內ノ要港タリ、

交通、商業。

魯國ノ市場及ビ良港ハ此クノ如ク少キニハ非ザルモ、氣候寒冷ニ
 シテ、水氷ルコト數月、爲ニ外國貿易上大イニ其ノ進歩ヲ妨ゲラル。且ぼるちつこ海
 ノ商權ハ、丁抹人ノ爲ニ左ニセラルコト多ク、黒海ノ商權ハ、土耳其人ノ爲ニ奪ハ
 レ、通途大イニ不便ヲ感ズ、然レドモ現今交通法ノ進歩セシニヨリ、此ノ害漸去ラン
 トシ、歐羅巴諸國ニ對シテハ、諸種ノ原料品ヲ輸出シテ製造品ヲ輸入シ、亞細亞諸國
 ニ對シテハ、原料品ヲ輸入シテ製造品ヲ輸出スル等、貿易上有爲ノ地位ニ立タント
 ス。

魯國ハ外國貿易ノ途殊ニ或ハ杜絶スルノ止ムヲ得ザルコトアルヲ以テ、内地ニ定
 期ノ市場ヲ開キテ以テ之ヲ補フ。彼ノもすこら鐵道ノ帝都ニ達スル中間ニ位スル
 のぶこらつと市ノ如キハ、最有名ナルモノナリ、人口ハ僅ニ六萬ニ過ギザレドモ、開
 市定期ノ節ハ歐亞ノ商人陸續トシテ集リ、東西ノ奇品珍寶、一時ニ會シ、交換販賣ノ
 盛ナル、世界無比ノ市場ト稱セラレ、其ノ他きいぶらおわあ等モ亦隆盛ノ市場タ

内部ノ交通上ニ使用スル水路ハ、河水一萬三千七百七十里、運河百四十里、鐵道七千四百里アリ。要スルニ魯國ノ市況、交通、商業、貿易ハ、今日非常ノ盛大ナリ以テ、養スル能ハズ、唯將來ノ發達ニ望ミテ屬スベキノミ。

人種、風俗。

魯西亞ハ地廣クシテ人口亦多キヲ以テ、之ニ居住スル人種其ノ類少カラズ、然レドモ魯國本部ノ人種ハ即チラハ民族ニシテ、人口六千萬餘アリ、もすこウ府ノ周圍及ビ波蘭ノ住民即チ是ナリ、ふいんらんを諸州ニ住スル人民ハ重ニちラどん民族ニシテ、北方ニハらつふすと稱スル土人アリ、どん河ノ下流及ビウララ地方ニハ蒙古種ノ遊牧民アリ、かうかさす山中あるめにあ人モ亦蒙古種ニ屬ス。民派此クノ如ク異ナルヲ以テ、隨ヒテ國語及ビ宗教モ亦等シキヲ得ズ、すらふ人ハすらふ語ヲ用ヒ、蒙古種ハ各固有ノ語ヲ用フ、すらふ人中ニテモ魯西亞本部ト波蘭ト語格相異ナレリ。本部ノ人民ハ希臘教ヲ奉ジテ、法律上之ヲ變更スルヲ得ズ、波蘭人ハかどりつく教ヲ奉ジ、ふいんらんを人ハ新教ヲ奉ジ、蒙古種ハ重ニ回教ヲ奉ズ。

政體。

魯國ノ政體ハ君主專制ニシテ、皇帝ノ下ニ内閣アリテ國政ヲ執ル。現今ハ

曾テ貴族ノ下ニ抑壓セラレ來リシ人民ノ自由進ミテ、其ノ勢力増加シ、輿論ノ越グ所、皇帝亦之ヲ如何トモスル能ハザルコトアリ、獨ふいんらんをハ魯國本部ト異ナリ、魯帝ヲ戴キテ大公トシ、立憲政ノ組織ヲナセリ。

魯國ノ陸軍ハ、歐羅巴ニ於テ最強大ト稱セラル、常備軍七十五萬、戰時之ヲ徵スレバ立ニ集ルモノ二百五十萬餘ニ出ツ。海軍モ亦盛ンニシテ、甲鐵艦四十五アリ、其ノ内十五艘ヲ以テ裏海ト黒海トニ備ヘ、他ハばるちつく海ニ備フ。

沿革大要。

魯國ノ開明ハ、遠ニ他ノ歐羅巴諸國ニ後レ、中世ノ頃、蒙古人ノ爲ニ征服セラ

レテ之ニ臣屬シ、久シク賈賦ヲ納メタリシガ、一千四百七十七年、いはん大帝もすこウ府ニ於テ位ニ登リシヨリ、國基此ニ立チ、遂ニ蒙古人ヲ破リテ大イニ地ヲ復シタリ、然レドモ其ノ權勢未揚ラズ、いはん、や、てりふるニ至リ、始メテ地ヲ拓キテ裏海ニ達シ、大ニ蒙古人ヲ破レリ。

然レドモ魯國ハ其ノ後著キ進歩ナク、久シク迷朦ノ間ニ埋レシガ、一千六百八十九年、ペイとる大帝ノ位ニ登ルニ及ビテ、制度文物ヨリ社會ノ秩序、人民ノ風習、皆共ニ一新シ、一方ニハ瑞典ヲ破リテ、ぼすにあ及ビばるちつく沿岸ノ地ヲ得、一方ニハ薩祖人ヲ拂ヒテ、地ヲ黒海地方ニ拓キタリ。

一千七百六十二年ニ即位セル女帝カゾリニ二世ノ代ハ、波蘭ノ分奪ヲ以テ著ル。則獨逸女帝マリア、及ビ普魯西王ヨレデリ、つくつと相結托シテ、一千七百七十二年ヨリ一千七百九十五年ニ至ルマデ、前後三回之ヲ分奪シ、魯國ハ彼ノ豐饒ナル土地ヲ得テ、國勢頓ニ伸暢シ、而シテ一千八百十五年ニハ、又ふいんちんどの地ヲ得タリ。
魯西亞ガ亞細亞ニ地ヲ畧セシハ、既ニ十六世紀以前ニ在リテ則一千五百八十二年西伯利亞ヲ征服シタリ。然レドモ現今ノ如ク亞細亞ノ北部ヲ一貫シテ其ノ領地トナスニ至リタルハ、曠近ノ事ナリ。

(二) すかんぢなびあ。

總叙。すかんぢなびあハ、歐羅巴ノ北方ニ位スル一大半島ニシテ、瑞典、諾威ノ兩國ヨリ成リ、北ハ北氷洋ニ臨ミ、東ハ魯領らぶらんとニ接シ、ぼすにあ灣及ビぼるちつく、海ニ濱シ、南ハすかかげるらつく、さうんど等ノ海峽ヲ隔テテ丁抹ト相對シ、西ハ大西洋ニ面ス、地形南北ニ長クシテ凡五百里、東西ニ狹クシテ最廣凡百八十里アリ。二國ノ面積、人口ハ左表ニ示スガ如シ。

| 地名 | 面積(方里) | 人口 |
|----|--------|-----------|
| 瑞典 | 二八、八九五 | 四、八〇二、七五一 |
| 諾威 | 二一、〇四〇 | 二、〇〇一、〇〇〇 |
| 計 | 四九、九三五 | 六、八〇三、七五一 |

斯ク土地ノ廣大ナルコト、歐羅巴各國中魯國ノ次ギニ在リト雖、人口ノ稀少ナルコトハ英國愛爾蘭ノ一島ニ比スルニ足ラズ。

沿海屬嶋。東ノ方ばるちつく海岸ハ砂多クシテ屈曲多カラズ、屬島ノ重ナルモノヲこつとらんをと云ヒ、さうんど、かてがつと、すかかげるらつく等ノ海峽ヲ通過シテ北海ニ出デ、大西洋及ビ北氷洋ニ至レバ、海岸ノ出入犬牙ノ如ク、所所深ク入りテ内地ニ水路ヲ通シ、屬島亦沿岸ニ散布スルコト星ノ如シ、而シテすかんぢなびあ山脈北西ノ海岸ヲ一貫シテ走り、峻嶺高峰相并ビテ聳エ、削ルガ如キ、絕壁巖頭ニ立チテ、一目瞰下スレバ、數千尺ノ下ニ怒濤翻ル、其ノ絶景ナルコト夙ニ歐羅巴人ノ稱スル所ナリ、屬島ノ重ナルモノヲさるふたでん群島ト云ヒテ、北極圏内ニ在リ、漁業ノ船舶此ニ集ルコト多シ。

地勢。すかんぢなびあ山脈ハ、半島ノ南端ヨリ起リ、之ヲとばあふいいると山脈

トモ稱ス、太西洋ノ海岸及ビ半島ノ中央部ヲ北上シテ北氷洋ニ達ス、南方ノ連山ハ高サ四千尺乃至八千尺アレドモ、北方ニテハ二千尺ニ上ルモノナシ。諾威ノ一國ハ連山ノ高地ヲ占メ、海岸低地ヲ見ザルモ、半島ノ東部即瑞典ニ至リテハ山勢忽影ナク、海岸ニ近ツクニ隨ヒテ漸低ク、地濕ヒ、湖沼及ビ小川多シ。

河湖。 半島中河流多シト雖、多クハ短クシテ中ニ瀑布多ク、航行ニ便ナラズ、北西一面山嶽ノ高地ナルヲ以テ、河水ハ概東南ニ流ル。其ノ西北ニ在ルモノハ皆短流急湍、灣頭ニ至リ瀑布トナリテ下ル、景色美ナリト雖、實用ノ利少シ。

諾威ノぐるめん河ハ半島中ノ最大水流ニシテ、其ノ水南流ス、長サ凡百二十里、能ク大船ヲ通ズ。之ニ次グモノハ瑞典ノくらる川ニシテ、ぬねる湖ニ注ギ、南流シテ出ヅ。ぬねる湖ハ最大ノ湖ニシテ、ぬつてゐる湖ト相并ビ、中間ニ運河ヲ設ケテニ水ヲ通ズ。其ノ他ぬめいらる等幾多ノ湖沼ト、之ニ伴フ小川アレドモ、皆記スルニ足ラズ。

氣候。 地勢南北ニ長キヲ以テ、氣候亦所ニ由リテ差異著シ、然レドモ要スルニ一般寒帶地方ニシテ、北部ハ北極圈内ニ入ル處少カラズ、すといつくほるむ以ハ既ニ小麥ヲ産セズ、毎年九月ヨリ翌年六月マデ、地水氷結スル所アリ、故ニ植物ノ生育甚

難シ。然レドモ西方海岸ノ高地ハ緯度ノ高キニ比シテ氣候温暖ナリ、蓋暖潮流ノ海岸ヲ洗フニ由ルナルベシ。是ヨリ東北ニ至ルニ隨ヒ大陸氣候ヲ帶ビテ、冬夏温度ノ

差著シ、又瑞典、諾威共ニ一年ノ氣候ハ、冬夏ノ二季アルノミニシテ、夏ハ暑熱時甚シク、其ノ北部ニ至リテハ白日長ク、五月ヨリ七月下旬マデハ、太陽地下ニ入ラズ、冬ハ之ニ反シテ夜間甚長ク、數箇月日光ヲ見ザルコトアリ。

産物。 農産ニハ諸種ノ穀物及ビ麻、煙草、馬鈴薯等アルモ、自國ノ用ニスラ足ラズ、家畜ノ重ナルモノハ馴鹿ナレドモ、是亦國用ヲ充タスニ過ギズ。木材、礦物、及ビ水産、實ニ國家ノ富源タリ。國中、山多ク、山林曠濶、堅實、其質ノ松柏多ク、漁業亦隆盛ニシテ、

るふれでん群島四近ノ鱈漁ノ如キハ、世界無比ト稱セラレ、鯡、海老等亦名産タリ。國中、礦産ハ種種アレドモ、就中鐵ヲ最トシ、質ノ良キコト英國産ニ優レリ、銅、銀、ニつつけ

るモノ亦少カラザレドモ、探掘ノ術未進マザルヲ憾ミトス。工業ハ石炭ニ乏シキヲ以テ、隆盛ニ至ラズ、其ノ中鐵工最善ク、又木細工、酒類、毛布等ノ製造アリ。

都會、交通。 瑞典ニハ人口五萬以上ノ都府二箇、三萬以上ノモノ三、諾威ニハ人口十萬以上ノ都府一アルノミ。王都瑞典ノすとつくほるむハ、ばるちつく海岸まら

ある湖口ニ在リ、九箇ノ小島ノ上ニ跨ガリテ市ヲ開キ、風景奇絶北方ベにすノ稱アリ、人口凡二十五萬、且良港アリテ商業盛ンナリ。こつてんふるぐハかてがいつと海峽ニ瀕シ、丁抹ト相對シテ立チ、商業ノ隆盛王都ノ上ニ出ヅ、人口凡ソ十一萬アリ、又くりすちめにあハ、諾威ノ首府ニシテ、人口十五萬餘、舊時ノ市府べるげん、人口五萬四千ト共ニ商業隆昌、魚類、木材ノ輸出ヲ以テ著ル。

瑞典ハ鐵道五千二百哩アリ、諾威ニテハ未一千哩ニ達セズ、然レドモ交通ノ便ハ決シテ惡シカラズ、道路能ク整備シ、運河所ニ通ジ、然カモ商業上一般ノ交通ハ概海路ニ由レバナリ、諾威ノ如キハ航海者ノ數多キコト、人口ノ比例上世界共ニ角スルモノナク、商船ノ多キコト唯英國ニ讓ルノミ、故ヲ以テ外國貿易、運輸事業等甚盛ンニシテ、海上ノ東西常ニ其ノ國旗ノ見エザルナシ、輸出ハ木材、魚類、礦物ヲ主トシ、輸入ハ穀類、石炭等ヲ主トス。

人民政治。 人民ハ二國共ニ純粹ナルちうどん民派ノすかんぢなびあ屬ニシテ、唯らぶらんと人、ネいんらんと人等、北部ニ住スル少許ノ異人種ヲ合メリ、國語ハ丁抹語ト大同小異ニシテ、所謂すかんぢなびあ語ナリ。

政體ハ立憲王政ニシテ、兩國一王ノ下ニ統治シ、而シテ兩國各別ニ兩院制ノ議會アリテ立法權ヲ握リ、王ハ唯之ヲ可否決スルノ大權ヲ有シ、行政全權ヲ占ム、現今ハ國民ノ思想大イニ進ミ、平民主義特ニ發達セリ、諾威ノ如キハ最然リトス。

沿革大要。

一千三百九十七年かるとも同盟成リ、丁抹ノ女王、あがれつと諾威瑞典ヲ合ハセテ統御セシガ、一千五百二十三年、瑞典王がすたぶすばさニ至リ、同盟ヲ脱シテ自立シ、後英君がすたぶすあどるよす三十年、盟ニ關シテ、地ヲ畧スルコト多カリキ、十八世紀ノ始メちあぢれす十二世ニ至リ、ふいんらんど、リぼにあ等ヲ有セシガ、一千七百二十年、大イニ領土ヲ失ヒ、國勢亂レテ日ニ衰へ、佛蘭西革命ノ時ニ際シ、ふいんらんどヲ露國ニ奪ハレ、一千八百十五年諾威ト合シテ立憲王國トナリ、各自治ノ姿ヲナス。

第三章。ばるかん半島。

(一) 希臘王國。

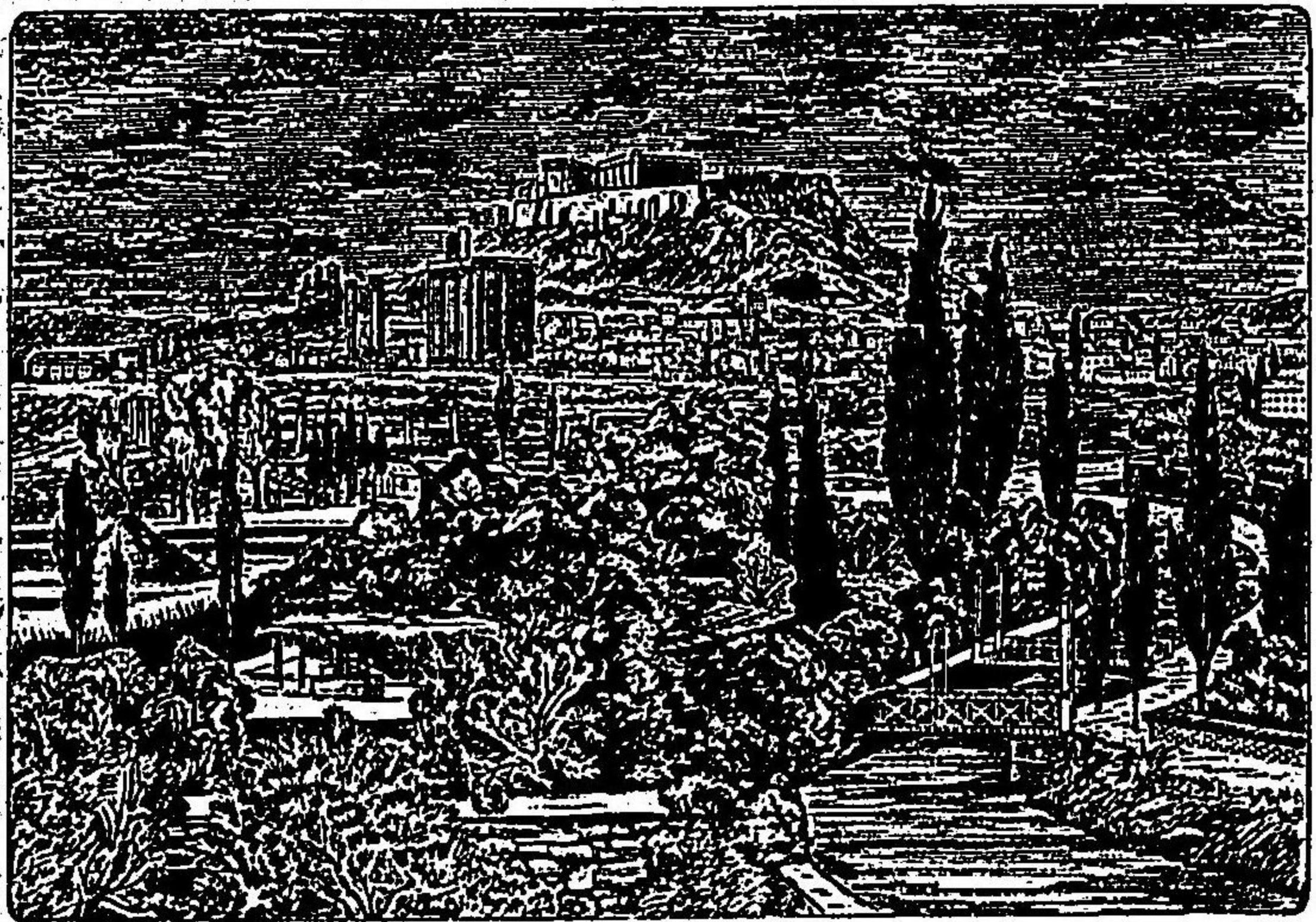
總叙。 希臘ハばるかん半島中最南ノ地ニシテ、北ハびんだす連山ニ由リテ土耳其ト境シ、他ノ三面ハ海ヲ以テ圍繞セラル、面積四千二百三十二方里、其ノ大キサ我が日本帝國ノ五分ノ一ニ充タズ、人口二百十八萬七千餘アリ。

沿岸、屬嶋。 希臘ハ國土狹小ナリト雖、海岸線甚長クシテ、屈曲ノ多キハ、萬國其ノ比ヲ見ザル所ニシテ、且屬島極メテ多シ、半島ノ西部ヲ繞レル海ヲいれにあ海ト稱シ、水波深ク内地ニ入りテ、殆國土ヲ兩分セントスル海ヲればんと灣ト稱シ、東方群島海トハ僅ニこりんすノ地峽ヲ隔ツルアルノミ、屬島ノ重ナルモノハ西岸ニリウカシめ、けふあるにあ、ざんと等アリ、南端ニころん及びらこにあノ兩灣アリ、其ノ間ニ突出スル地ヲ著名ナルまたばん岬トス、屬島せりこハ岬ノ東南ニ位ス、東群島海ニ至リテ、海岸ノ凹凸益多シ、屬島ノ著名ナルモノヲゆうびめ、しらめ、みる等トス。

地勢、山川。 希臘ハ國中概山嶽ヲ以テ充タサレ、北部びんだす山ノ地方ハ殊ニ峻嶮ニシテ、山脈多クハ東南ニ走り、岩石重重疊メルガ如ク、處處ニ青潭幽谷ノ絶景ヲ見ル、連山ハ少カラザレドモ皆高カラズ、史上有名ナルかりむばす山ハ、さろにか灣頭ナル土耳其ノ境ニ聳エテ高サ九千七百餘尺アリ、國中ノ最高峰タリ、其ノ他北部ニテハばるなす山高サ八千尺ニ達シ、南部ニテハたいげたす山之、伯仲ス、要スルニ希臘ハ國中一般高地ニシテ、平原沃野少シ、唯連山ノ間及ビ沿岸ノ濱僅ニ之ヲ見ル、然レドモ屬島ニハ肥沃ノ地多シ。

希臘ノ河川ハ皆短小急流ニシテ、水淺ク、夏時ニ至レバ涸ルルヲ常トス、故ニ舟行ノ便ナク、灌溉ノ利ニ乏シ、北境ノされむぶりあ河ハ國中ノ最大河ニシテ、其ノ四圍ノ地ハ有名ナル農産ノ沃野タリ、湖水ノ重ナルモノヲとぼりあすト云フ。

氣候、産物。 山地ハ冬期稍寒ク、海岸四方ノ地ハ殆冬ヲ知ラズ、夏時ハ甚暑キモ、大要氣候温和ニシテ、健康ニ適ス、農産ノ重ナルモノハ大麥、小麥、煙草、葡萄、橄欖、無花果及ビ綿等ニシテ、蜂蜜ノ産殊ニ名高ク、木材亦少カラズ、國人重ニ農業ニ従事スルヲ以テ、製造業ハ自揚ラズ、礦物ハ原料少カラザルモ、採掘ノ資乏シキヲ以テ、産出少ク、僅ニ鐵、大理石、石油等數種アルノミ。



都會商業。希臘ニハ人口二萬以上ノ市
府唯四箇アルノミ、首府ヲあせんトス、人口凡
十一萬、政教文化ノ中心タリ、あせんノ海港ヲ
びりゆすと云フ、人口三萬餘、造船術及ビ其ノ
他ノ工業盛シナリ。

ばとらすハ人口三萬四千、こるふハ一萬九千、
さんどハ一萬七千、しらあハ二萬餘、皆是ト同
名ナル屬島ノ市府ナリ。

希臘人ハ其ノ性商業ヲ好ム、故ニ内地ニハ交
通ノ便乏シキモ海上ノ通商甚盛シニシテ、黒
海及ビ地中海上ニ於ケル勢力少カラズ、こる
ふ、さんどハ地中海貿易ノ要市ヲナシ、しらあ
ハ土耳其及ビ黒海通航汽船ノ要路ニ當リテ
商業盛大ナリ、其ノ輸出品ハ重ニ農産物ニシ

テ、輸入品ハ織リ物、金屬及ビ其ノ他ノ製造品ナリ、蓋希臘ハ商業ニ依リテ、國力ヲ維
持且増進スルモノト云フベシ、商船ハ一萬隻アリ。

人民政治。今日ノ希臘人民ハすらぶ族ヨリ下レルモノニシテ、すらぶ及ビ羅
馬兩種ノ混合ヨリ成レルあるばに、人ヲ混ジ、昔時希臘人ノ血統ヲ傳フルコト少
シ。然レドモ國語ハ純然タル昔時ノ希臘語ニシテ、轉訛少シ、宗教ハ希臘教ヲ奉ズ。
政體ハ立憲王政ニシテ、議會ハ一院制ナリ、議員ハ凡ベテ人民ノ撰舉ニ係リ、立法權
ヲ掌握ス、陸軍常備ノ兵ハ二萬四千、海軍ハ三千三百人、軍艦ハ五六艘ニ過ギズ。

沿革大要。

希臘ハ昔時あせんノ文化ヲ以テ世界ニ雄視シ、詩人、哲學者、能詩家、美術家等
ノ名士綴羅輩出セシガ、羅馬ノ起リテ以來、國運沈淪シ、廢墟變テ經テ悉ニ土耳其ノ爲ニ併
合セラレタリ。然ルニ一千八百三十二年、國民土耳其ノ壓政ニ堪ヘズシテ反旗ヲ翻シ、諸國
ノ援助ヲ得テ其ノ志ヲ達シ、現今ノ獨立王國トナレリ。今日ノ希臘人モ尙能ク學術ヲ窮
メ辯論ヲ練磨スルヲ好メドモ、昔時ノ隆盛ハ影ダニモ留メズ。

(二) 土耳其帝國。

總叙。

土耳其ハ亞細亞、歐羅巴、阿非利加ノ三大洲ニ跨ガル一帝國タリ、而シテ此

ニハ其ノ歐羅巴ニ屬スル部分即土耳其本部ヲ記ス。

土耳其帝國ハ一ニ托ドまん帝國ト稱ス、其ノ屬領ふるがりあ公國及ビ東るうめり

あ自治國ヲ合ハセテ面積凡一萬九千二百二十七方里、北ハ埃太利、せるびあ、るうま

にあニ接シ、南ハ希臘ニ境シ、群島海ニ臨ミ、東ハまるもら海ヲ隔テテ亞細亞、土耳其

ニ對シ、且黒海ニ出デ、西ハあどりあちつく海ニ臨ム、人口凡八百萬アリ。

土耳其帝國ハ、歐羅巴ノ直隸地トふるがりあ公國、東るうめりあ自治國ヲ併セ、之ニ

亞細亞、阿非利加兩洲ニ於ケル屬地ヲ合シテ、面積十九萬三千九百四十方里、人口凡

二千七百七十萬ナリ。

西あどりあちつく海岸ニ濱スル所ハ、屈曲少ク、島嶼ナシト雖、南群島海ニ面スル所

ニハ、さるるろにか灣アリ、屬島ノ重ナルモノヲかんぢあトス、だるだねるす及ビぼす

ふねらすノ兩海峽ハ、東ノ方黒海ノ咽喉ヲ扼ス、兩海峽ノ間ヲまるもら海ト稱シ、一

水歐亞ヲ分ツ。

地勢、山川。

土耳其モ、亦山嶽連亘ノ高地ニシテ、西部ハ峻險ナルモ、東部ハ稍平

坦ニシテ、肥沃ノ地少カラズ、ばるかん山脈ハ土耳其ヲ一貫シテ西ヨリ東ニ走り、三
千尺乃至六千尺ノ高サアレドモ、東スルニ隨ヒテ稍低落ス、びんだす山ハばるかん
山南ニ起リテ、東西分水界ヲナス、東ノ高峰ヲさすばとだあト稱シ、高サ七千四百餘
尺アリ、西ノ高峰ヲさるだあ山ト稱ス、高サ一萬尺アリ、國中第一ノ高山ナリ、かるば
しあん山脈モ亦北ヨリ國中ニ入ル。

此ノ國河流ニ乏シク、唯だにうぶ河ノ一流國ノ北境ヲ走り、ばるかん山北ノ地爲ニ
潤澤ヲ得テ、良好ナル牧場ヲナス、びんだす山脈ノ西ニ數箇ノ湖水アリ、其ノ水西ニ
流ル。

氣候、產物。

ばるかん山南ノ地ハ氣候概希臘ト等シク、歐羅巴最温地方ノ一タ
リ、穀物、果實、共ニ豐熟ス、然レドモ其ノ山北ノ地ハ所謂大陸氣候ニテ、冬時ハ酷寒、夏
時ハ酷熱ナリ、サレドモ尙能ク小麥ヲ産ス。

農業ハ幼稚ナルモ、地味概肥沃ナルヲ以テ、米、麥、橄欖、無花果、葡萄、煙草、蜂蜜、蠶絲等ヲ
産シ、葡萄酒、薔薇油等ノ製造品及ビ綿布、毛布等ノ織リ物ヲ産ス、其ノ他、牧畜ノ業全
國ニ行ハレテ、牛馬多ク、殊ニ山羊ハ最蕃息セリ、礦物モ少カラザルニ非ザレドモ採



るぶりのちんたすんこ

掘ノ業進歩セザルヲ以テ、唯僅ニ鐵、鹽、鉛大理石等ヲ出スノミ。要スルニ土耳其ハ、諸種ノ産業盛大ト云フヲ得ズ、其ノ工業モ漸次衰退シテ、往時ノ名産タル絹布、毛氈等ノ如キハ、既ニ西歐諸國ノ爲ニ厭セテレタリ。

都會、商業。 土耳其ニハ、人口二萬以上ノ市府六十萬以上ノモノニアリ。帝都コンスタンチンのうぶるハ、昔時東羅馬帝國ノ都トシテ史上有名ナルニ大市府タリシガ、土耳其人ノ占領後モ、尙盛大ニシテ、人口八十七萬餘ニ及ビ、ぼすふららす海峡ニ望ミテ立チ、黒海ノ咽喉ヲ扼シ、政治及ビ軍事ノ上ニ甚主要ナル位置ヲ占メタリ。商船ノ出入モ日日織ルガ如ク、近時貿易ノ業大ニ發

達シテ、小亞細亞ノ産物ハ多ク此ニ集レリ。市中ニハ有名ナルせんをふいあノ寺院アリ。あどりあのうちふるハ人口十萬まるとぞ河畔ノ沃地ニ位シ、本州産物ノ市場タリ。がりぼりいハ人口五萬餘、だるだねる海峡ニ近キ處ニ立チ、さるにかハ人口六萬さるにか灣頭ニ在リ、其ニ商業上ノ要地タリ。

鐵道ノ一線こんすたんちのうぶるヨリあどりあのうちふるニ達シ、ぶるがりあニ入ル。總シテ四百里ニ充タズ、舟ヲ行ルニ河水ナク、車ヲ推スニ、夏道ナシ、交通ノ不便極リ、内國ノ商業萎靡シテ振ハズ、隨ヒテ外國貿易亦盛ンナラズ。

人民政治。

土耳其人民ハ重ニ土耳其民派ニ屬シテ蒙古種ノ一派タリ。國內政治上ノ樞機ハ概其ノ掌握スル所タリ。然レドモ國中亦かうかさす人種少カラズ、就中希臘人最多ケレドモ、重ニ市府ニ占居シテ商業ニ從事ス。此ノ輩ハ昔時ノ希臘語ノ少シク轉訛シタルモノヲ用ヒ、希臘教ヲ奉ズ。土耳其人ハ亞拉比語ノ甚シク轉訛シタルモノヲ用ヒ、回教ヲ奉ズ。

土耳其皇帝ヲさるたんと稱ス、萬機ノ權威皆其ノ意ニ任スト、雖、回教ノ經典こからんノ教理ニ依リテ束縛セラル。一千八百五十六年、法令ヲ發布シテ宗教ノ自由ヲ許



土耳其人ノ風俗

シ、四民ニ同等ノ權利ヲ附與シ、同ジキ七十
七年、立憲代議政體ノ舉行ヲ宣言セシモ、未
其ノ實施ヲ見ズ、政令甚亂レタリ、陸軍常備
兵二十萬、海軍凡四萬、甲鐵艦十五隻アリ、

沿革大要。

土耳其人ハ亞細亞ノ一方ニ
起リ、悉ニ亞拉比人ヲ征服シテ、廣ク亞細亞、阿
非利加ノ地ヲ畧シ、たる。たねるヲ海峽ヲ渡リ
テ又歐羅巴ニ侵入シ、多ク多クのうぶるニ勝
テ、一千四百五十三年ニ至リ、悉ニ東羅馬帝國
ヲ亡シ、こんすだんちのうぶるヲ取リテ都ト
シ、現今ノ所稱はるかん全半島ヲ畧シ、匈牙利
ノ全部ヲモ併セ、勢甚強大ナリシガ、十七世紀
以來國勢漸衰、匈牙利等ノ地及希臘のうま
にふるるがりあせるびあ、ばすにふる等ヲ失ヒ、
且、歷各國ノ侵略ヲ蒙リ、一千八百七十七年、之
ト取ヒテ破レ、地ヲ失フコト少カラズ。

ふるがりあ及び東るうめりあ。

一千八百七十八年、伯林ノ條約ヲ
以テ土耳其帝ノ管治ヲ脱シ、半バ獨立國ノ體面ヲナセルモノニアリ、共ニ歳貢ヲ納
レテ自治ス、一ハばるかん山北ノふるがりあ公國ニシテ、一ハばるかん山南まりと
ぎ溪谷ニ横ハレル東るうめりあ自治國ナリ、前者ノ面積ハ四千百十七方里、兩者合
ハセテ六千三百九十八方里アリ、ずらぶ人種ト羅馬人種ノ混合ヨリ成レルふるが
りあ人其ノ大部分ヲ占メ、土耳其人之ニ次ギ、其ノ他二三ノ民族ヲ統ベテ人口三百
餘萬アリ、公爵ノ君主ニ國ヲ統治シ、そふいあヲ以テ首府トス、そふいあハ人口三萬
餘アリ、

ふるがりあノ地ハ、いすける、たすまやんとら等ノ諸小河ニ依リテ潤澤セラレ、地味
一般ニ豐饒ニシテ、小麦、玉蜀黍ヲ産スルコト多ク、黒海ノ濱ばるなノ港甚盛ンナリ。
國民一般ニ希臘教ヲ奉ジ、其ノ中土耳其人ハ回教徒タリ、諸都會皆大ナラザルモ、商
工業上有爲ノ地位ニ立テリ、ばるな人口二萬五千餘ハ、黒海ニ臨メル唯一ノ要港ナ
リ。
東るうめりあハるどお山近邊ノ高地ヲ除キ、土地概平坦肥沃ニシテ、穀果豐熟ス。

就中本地ニ産スル蕎麥ハ、聲譽諸國ニ高シ。首府ヲホーイリツぼリすと云ヒ、人口凡三萬四千アリ、ふるがすハ黒海ノ港津ナリ。元來本州ハ自治制ヲ許サレ、土耳其帝ノ指命ヲ以テ、各國ノ承認ヲ得タル知事ヲ戴クベキ筈ナレドモ、其ノ實際ハ現今ふるがりあ公ヲ奉ジテ合一政令ノ下ニ治メラル。

(三) るうまにあ、せるびあ、もんでねぐる。

るうまにあ。るうまにあハ、北は魯西亞ニ接シ、東ハ黒海ニ面シ、南ハだにうぶ河ヲ以テふるがりあニ境シ、西ハかるばしあん連山ヲ以テ、埃太利、匈牙利ヲ限ル、面積凡八千六百六十四方里、人口五百五十万アリ。此ノ地ハ西方一帯かるばしあん山ノ起伏スルノミニテ、其ノ餘ハ概低平肥沃ナリ、河川ニハだにうぶノ外著キモノナク、ふるす、せるす等ノ諸川ハ皆之ガ小支流タリ。冬時ハ烈寒ニシテ夏時ハ烈暑、人民ノ多クハ牧畜及ビ農業ニ従事シ、諸種ノ穀類、果物豊熟スルモ時ニ或ハ蝗蟲早魃ノ患ヘアリ。牛、馬、羊等ハ牧畜産ノ重ナルモノニシテ、大イニ外國ニ輸出ス。其ノ他礦産ニモ富メドモ、採掘ノ術進マズ、唯鹽ハ良質ニシテ世界ニ冠タルノ稱アリ。

國都ふかれすとハ、わらきあ平原ノ南方ニ在リテ、人口十九万五千、土耳其及ビ匈牙利間ニ於ケル商業ノ中心タリ。じあしいハ人口七万餘、もるたびあノ首府タリ、からつづハ人口凡六万、共ニ繁華ノ市府タリ。

もるたびあ侯國、わらきあ侯國及ビふるじあノ地、合シテるうまにあ王國ト稱ス。是亦伯林條約ノ結果ナリ。現今ノ政體ハ即立憲王政ニシテ、立法ノ權ハ元老院及ビ議會ニ於イテ之ヲ握ル。

るうまにあノ人民ハ、重ニ羅馬ノ殖民及ビだしあ土着民ノ混合ヨリ成リ、羅典語ヲ用ヒ、希臘教ヲ奉ズ。人民多クハ貧ニシテ、國內少數ノ貴族僅ニ國民ノ體裁ヲ具フルノミ。

せるびあ。せるびあハ、西北ハ埃太利ニ境シ、東ハふるがりあ及ビるうまにあニ境シ、南ハ土耳其ニ接ス。面積三千二百二十方里ニシテ、人口二百十六万餘。國內四方ニ山嶽起伏シ、平地少クシテ森林多シ、だにうぶ河國ノ北境ヲ流レ、もらあ川ハ國ノ中央ヲ流レテだにうぶニ入ル。河畔土地肥沃ナルモ、運漕甚宜シカラズ。氣候ハ冬期寒ク夏期甚暑カラズシテ、健康ニ適ス。

産物ニ著名ナルモノナシト雖、木材ニ富ミ、樅樹最多ク産ス。地味肥沃ナルヲ以テ米、麻、小麦、烟草、葡萄、玉蜀黍等ノ産出亦少カラズ。牧畜ニハ豕、牛、羊等ヲ多シトシ、獸皮ヲ輸出ス。礦物ニハ鐵及ビ石炭等ノ原料アルモ、採掘ノ術學ラズ、工業亦微ナリ。せるびあモ亦土耳其ノ領地ナリシガ、伯林條約ヲ以テるうまにあ諸國ト共ニ獨立シ、一千八百八十二年王國トナリ、立憲王政ヲ採リ、議會及ビ元老院ニ立法權ヲ附與ス。元老院ハ勅撰議會ハ民撰ノ議員ヲ以テ成ル。本土ノ人種ハ大抵すらぶ人種ニ屬シ、希臘教ヲ奉ズルモ、南部ニハ回教徒少カラズ。首府ヲべるぐれいと稱シ、國ノ西北だにうぶせいふ兩河ノ會スル河口ノ地ニ在リ、人口五萬四千餘、商業及ビ軍事上ノ要市ナルヲ以テ兵營城砦アリ、貿易市中ニ盛ンニシテ、國中道路開ケ、鐵道ノ布設アリ。

もんでねぐろ。 もんでねぐろハあとりあちつく海ノ東北岸ニ位シ、埃太利、土耳其、せるびあノ間ニ挾マレタル掌大ノ地ニシテ、面積六百十三方里、人口二十萬ニ過ギズ、あるぶすノ連山重疊國中ヲ通過シ、地勢一般ニ高ク且峻險ニシテ、松檜ノ森林所所ニ茂レリ、低地ノ農業ニ適スルモノ少ク、國民多クハ牧畜ヲ業トス。氣候ハ

概溫和ニシテ人身ニ適シ、牛、山羊又ハ諸種ノ獸皮及ビ乾酪、果實、玉蜀黍、馬鈴薯、烟草等ノ産アリ。

此ノ地モ亦土耳其ノ版圖内ナリシガ、多年土耳其ト争ヒ、一千八百七十八年、伯林條約ヲ以テ遂ニ其ノ獨立ヲ承認セラレタリ、政體ハ立憲王政ヲ執レリト雖、其ノ實政權ハ國王ノ專意ニ在リ、其ノ首府せつちんせハ人口一千二百ニ過ギズ、他ニ二三ノ市府ナキニ非ザルモ、情況推シテ知ルベシ、國民ハふるかりあ諸國ト等シク重ニすらぶ雜種ニシテ、一般ニ希臘教ヲ奉ズ。

第四章 中央歐羅巴 其ノ一

(一) 獨逸帝國

總叙。

獨逸帝國ハ一ニ日耳曼帝國ト云フ、歐羅巴平原ノ西部ニ位シ、北ハ北海、ばるちつく海及ビ丁抹、東ハ魯西亞、南ハ埃匈帝國及ビ瑞西、西ハ佛蘭西、白耳義、和蘭ノ三國ニ接シ、東西最長凡二百八十里、最廣二百七十里、面積三萬五千二十八方里、人口四千九百四十三萬アリ。

獨逸帝國ハ四王國、六大公國、五公國、七侯國、三自由市及ビ一帝領地ノ聯邦組織ヨリ成ル、即四王國ハ普魯西、さきそにい、ばばりあ、うるてんべるぐ、帝領ハあるさすろうれん州、三自由市ハはむふるぐ、るうべーつく、ぶれめんナリ。

ばるちつく海岸ハ低平ニシテ二三ノ小屬島アリ、共ニ要用ナルモノニ非ラズ、北海岸ハ更ニ低濕ニシテ、地味豊饒、堤防ヲ築キテ海水ノ侵入ヲ防グ、概スルニ海濱ハ砂地ニシテ水淺シ。

地勢、山岳。

和蘭ヨリ魯西亞ニ達スル獨逸ノ北部一帯ノ地ハ、歐羅巴平原ノ一

部ニシテ、廣茫タル平野ナリ。是ヨリ南ニ進ムニ隨ヒテ、地漸高ク、國境ニ山嶽ノ連亘スルヲ見ル。然レドモ是皆大山脈ノ餘派タルニ過ギザレバ、高峻ナルモノアルナシ。山脈ノ重ナルモノヲ擧グレバ、ばばりあノ境ニばばりあ、あるぶす山アリ、ばあでんノ黒林ハだにうぶ、らいんノ分水界ヲナシ、ばへみあ諸山ハさきろにいノ東ニ起伏シ、ちうりんぢあ山林ハさきそにいノ西、獨逸ノ中部ニ高地ヲナシ、あいふえる諸山ハラいん河ノ左岸ニ立ち、はるつハ獨逸諸山ノ最北ニ在リテ、はのねべるノ東ニ出デ、歐羅巴平原ヲ挾ム。要スルニ南部獨逸ハ山岳少カラズ、高地亦多シ、故ニ此ノ地方ヲ高地獨逸ト稱シ、北部低地ヲ低地獨逸ト稱ス。低地獨逸ハ地味大概瘠薄、唯北海ノ沿岸ヨリ和蘭ノ境ニ沿ヘル一帯ノ地及ビらいん河上流ノ谿谷ノミ肥沃ナリ。

河湖。

獨逸ノ諸川ハ概テ南方高地ヨリ北方低地ニ向ヒテ流ル、だにうぶ河ノミハ黒林ヲ經テ埃太利ニ入ル。

らいん河ハ瑞西ヨリ來リ、獨逸ノ西部ヲ流レ、和蘭ヲ過ギテ海ニ入ル、航路四百里餘、歐羅巴著名ノ大河タリ。是ヨリ運河ニ依リテだにうぶ、せいん等ノ諸川ニ通ズ、其ノ支流ノ重ナルモノヲまいん、もせるれ、ねつかる等トス。

ラハせる河ハ獨逸ノ西北ヲ流レ、ふれめんチ過ギテ北海ニ入ル。はるべ河ハぼへみ
 あに起リ、とれすでん、まぐでふるぐ等ノ地ヲ經テ又北海ニ注グ、河口湖ルコト二十
 五里ニシテはむふるひ市アリ。おでる河ハ埃太利ヨリ來リテふれすらラチ過ギ、び
 すちゆら河ハ魯西亞ヨリ來リテ國ノ東部ヲ流レ、共ニはるちつく海ニ入ル、舟楫ノ
 利大ナリ。獨逸ニハ著名ノ湖水ナシ、唯瑞西ノこんすたんす湖は半バ此ノ國ニ屬ス
氣候。 氣候上獨逸ヲ區畫スレバ概三トナスベシ、其ノ一ハ北海沿岸ナリ。此ノ地
 方ハ温暖ニシテ降雨多シ、一ハはるちつく海岸ナリ、此ノ地方ハ冷濕ニシテ寒氣強
 シ、又一ハ内地高原ナリ、此ノ地方ハ純然タル大陸氣候ニシテ、寒暑ノ差急激ナリ。然
 レドモ之ヲ要スルニ寒暑共ニ東部ハ西部ヨリ強キモ、地勢北ヨリ南ニ高キヲ以テ
 全國平均温度ハ大差ナキナリ。

産物。

獨逸ハ頗礦産ニ富ミ、就中鐵及ビ石炭ハ其ノ最盛ナル所ヲ知ラズ、炭田ノ
 著名ナルモノヲさきそにいノけむにつつトシ、らいん地方及ビ普魯西南部ノしれ
 しあ地方ニ於イテハ鐵、石炭ノ産出著大ニ、はるつ山ニ於イテハ、金、銀、銅等ノ産出多
 シ。農産ニハ燕麥、小麥、麻、煙草、馬鈴薯、砂糖、葡萄等ヲ最トシ、牛、馬、羊、山羊、豕ノ牧畜盛ン

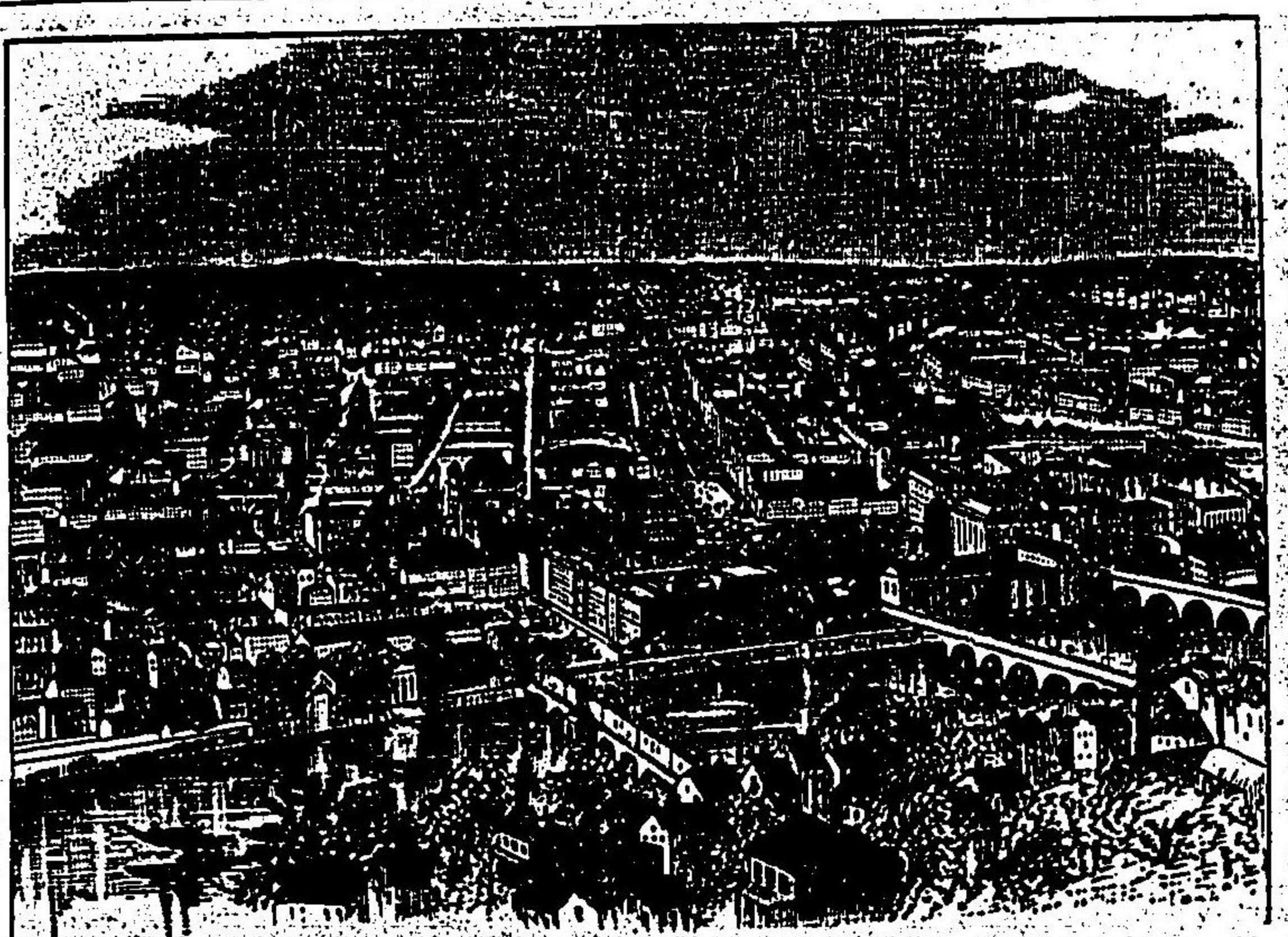
ニシテ、羊毛頗ル名高ク、又全國四分ノ一ヲ占有スル大林アリ、故ニ木材大イニ富ミ、
 東北ニハ松柏ノ類多ク、南部ニハ潤葉樹多シ。漁業ハ盛ンナラザルモ、稍發達ノ傾向
 アリ。

獨逸ハ元來農産國ナルモ、工業又甚盛ンニシテ、製鐵及ビ銅鐵業ヲ最トシ、織リ物之
 ニ次グ、普魯西地方ニテハ國民ノ大半農業ニ從事シ、絹布、麻布、毛布、綿布等ノ工業大
 イニ著レ、ばばりあ地方ハ農工業相半シ、且礦山業モ盛ンナリ。さきろにいハ農工共
 ニ盛大ナルモ、就中礦山業ノ隆盛ナルコト、世界ニ其ノ比稀ナリ。蓋炭田ノ大ナルモ
 ノノ存スルガ爲ナリ。うるてんべるぐハ田圃ノ國ト稱スベク、面積三分ノ二ハ耕地
 ニ屬ス。ばあでん地方ハ農業、山林業ヲ以テ著名ナリ。

都會、交通。

帝都伯林ハ普魯西ニ在リテ、えるべ、おでる兩河ノ間ニ立テリ、其ノ
 地平野ノ砂地ナリト雖、頗通商ニ適シ、政治、商業及ビ學術ノ中心タリ、人口凡百五十
 八萬、盛大ナル大學ノ設ケアリテ、各國ヨリ遊學スルモノ多シ。

獨逸聯邦ニハ市府甚多ク、人口五萬以上ノ都會五十三アリテ、其ノ中十萬以上ノモ
 ノ二十六アリ。みゆにつく(人口三十五萬)ふれするお(人口三十四萬)らいふじつく(人



口三十萬、それすでん人口三十八萬、すつと
 とがるど人口十四萬、すどらすぶるく人口
 十二萬、ふらんくふるど人口十八萬、はの
 べる(人口十八萬、うにくすべるく人口十六
 萬等、チ以テ其ノ重ナルモノトス、海港ニハ
 はむふるく、チ最トス、ぬるべ河口、チ迦ルコ
 ト二十五里ノ地ニ在リ、人口凡三十三萬、自
 由市ニシテ商工業隆盛ヲ極ム、ふれめんハ
 う、ぬせる河口、チ迦ルコト二十里ノ地ニ在
 リ、人口十三萬、はむふるひニ次グ要港タリ。
 だんちつく(人口十二萬)ハばるちつく海岸
 ひすちゆら河口ニ在リテ、商業ノ要路ニ當
 ル。
 鐵道ハ四通八達、二萬七千哩ニ達シ、天然諸

川ノ水利ニ加フルニ、良好ノ運河六百二十里、整整タル國道二萬九千里アリテ、内外
 ノ貿易盛シニ行ハル。北海ニ在リテハはむふるく最隆盛ニシテ、ふれめん之ニ次グ、
 ばるちつく海岸ニモ、亦るうべつく、きいる等ノ良港アリ。輸出品ノ重ナルモノハ、紙、
 家畜、羊毛、木材、金銀、石、材、藥品等ニシテ、輸入品ハ、絹布、綿花、酒類、穀類等ヲ主トス。日
 本ヨリハ、米、漆器等ヲ入レテ、金屬、砂糖等ヲ求ム。

人民政治。 獨逸ハ日耳曼人種即ちうとん人ノ本土ニシテ、人口四千九百萬ノ

中、三百萬未滿ノすらぶ人ヲ含有シ、他ハ皆純粹ナルちうとん人種ニ屬ス。國語ハ日
 耳曼語ナレドモ、南部獨逸ニ行ハルルチ上獨逸語ト稱シ、北部ニ行ハルルチ下獨逸
 語ト稱シ、其ノ間少シク差異アリ、すらぶ人ハ近來其ノ版圖ニ歸シタル波蘭人ニシ
 テ、波蘭語ヲ用フ。

北部獨逸ニテハ、人口三分ノ二新教ヲ奉ジ、南部獨逸ニテハ、三分ノ二以上舊教ヲ奉
 ズ、然レドモ全國ヲ通ジテ新教徒六割リ三分ニ上ル。

政治ハ聯邦ノ帝政ニシテ、普魯西王帝位ニ登リ、軍事情務ヲ總裁シ、聯邦參議會及ビ
 帝國議會ノ協賛ヲ經テ事ヲ處ス。聯邦參議員ハ聯邦之ヲ選出シ、帝國議會ノ議員ハ

一般人民之ヲ選舉ス。陸軍常備兵ハ凡五十萬、強勇世界ニ冠タリ。然レドモ海軍ハ猶甚幼穉ナルモノアリ、兵員二萬ニ充タズ。

沿革大要。

獨逸帝國ハ紀元八百、あるれまん帝ガ羅馬獨逸帝國ノ位ヲ得タルニ基因ス。帝死シテ後、國分レテ三トナル、一ハ佛蘭西トナリ、一ハ伊太利地方トナリ、一ハ日耳曼トナリ、紛亂久シク相次ギ、あるれまんノ王統絶ユルニ當リ、貴族勢力ヲ逞シクシ、獨逸ヲ選舉帝國トナセリ。既ニシテさき、うに家ノ系統ニ本ウと大帝出テ、再獨逸、伊太利ヲ統一シテ神聖羅馬帝國ヲ建テタリ。後、ふらんこに王統久シク位ヲ保テ、遂ニ埃太利公即ハツ、ふすぶるゝ家十五世紀ヨリ帝位ヲ獨占シ、連綿トシテ絶エズ、以テ近世なげられたんノ爲ニ帝國崩解セララルルノ時ニ至レリ。此ニ至リテ獨逸ハ四分五裂、帝ハ唯埃太利皇帝ト稱シテ、魯スルノミナリシガ、一千八百十五年、獨逸同盟成ルヤ、北部ノ一王國普魯西亞ハ、ふれでリツゝ大王以後、國力頓ニ振ヒシカバ、乃北部諸州ヲ威壓シケルニ、南部ニテハ埃太利其ノ主要ノ地位ニ立チテ、之ト相抗衡シ、一千八百六十六年、二國軍ヲ興シテ戦ヒケルニ、普魯國埃國ニ勝テ、當時ノ所謂獨逸聯邦ヲナシ、普魯亞之ガ牛耳ヲ執リ、埃國及ビ南部諸州ト分レタリ、普魯國以後ハ國基益堅ク、獨逸帝國是ニ於イテカ全ク成レリ。

(二) 丁抹王國。

總叙。 丁抹ハゆつとらんぞ半島北部ノ一州ナリ、唯南ノ一方獨逸ニ連ルノミニシテ、他ハ皆海ヲ以テ國マレ、西ハ北海ニ面シ、北東ハ海峽ヲ隔テテすかんぢなびあト相對シ、せいらんぞ、ふゆうねん諸島ヲ連テ、ぼるちつく海口ヲ扼ス、面積二千四百九十七方里、人口凡二百二十万アリ、屬島ノ重ナルモノヲ氷州及ビふあるゝお群島トス。

地勢、山川。 此ノ地ハ歐羅巴大平原ノ一部ニシテ、地勢平坦、固ヨリ山嶽ノ高峻ナルモノナク、地積狹少、河水ノ大イナルモノナシ。東方一帶ハ沃野相連リ、小湖甚多ク、所所ニ小丘ヲ見ル。西北ノ地ハ概砂地ニシテ、耕作ニ適セズ、海岸亦水淺クシテ、良港ナク、古來西方ノ海岸ヲ呼ビテ鐵岸ト稱セリ、せいらんぞ、ふゆうねん等ノ諸島ハ、地勢平カニシテ、地味豊沃、穀果能ク熟ス。

氣候、產物。 丁抹ハ三方海ニ面スルヲ以テ、氣候稍温暖ナリト雖、降雨多クシテ、雲霧深シ。全人民ノ過半ハ農業ニ從事シ、國土三分ノ二ハ地味肥沃ナルヲ以テ、農產

物少カラズ諸種ノ麥類及ビ野菜亞麻甚多シ林中ニハ山毛櫨ノ良好ナルモノアレ
ドモ其ノ品多カラズ礦産ハ極メテ乏シクシテ唯泥炭アルノミ西岸ノ人民ハ漁業
ニ従事スルモノ多キモ此ノ業亦振ハズ牧畜ハ之ニ反シテ盛ンニ行ハレ牛馬羊豕
ノ産頗多シ要スルニ丁抹ハ農産國ニシテ其ノ人口ニ比スレバ穀物ノ産出歐洲第
一ニ位ス工業ハ微微タレドモ唯陶器製造ノ稍見ルベキモノアリ

都會交通

首府コペンヘイゲンハせいらん島ノ東方海岸ニ位シテ人口三
十二萬アリ軍事政事文化商業等ノ中心ニシテ府中ニ堅砦アリ港内水深クシテ大
艦泊シ易ク本國內外ノ商業概此ニ集ル其ノ他あるふゆうす人口三萬三千、おで
んす人口三萬等共ニ要用ノ海港ナリ

鐵道ハ五百四十哩道路能ク開ケ海上ニハ船舶整列シ内外ノ通商盛ンナリ輸出品
ハ牛酪ヲ最トシ家畜穀物之ニ次グ輸入品ハ諸種ノ織リ物及ビ製造品ヲ最トシ葡
萄酒煙草等之ニ次グ

人民政治

丁抹人ハちうどん人種ノすかんぢなびあ派ニ屬シ能ク英人ニ似
タリ國民一般ニ新教ヲ奉ジ國語ハちうどん語ニテすかんぢなびあ語格ナリ

政體ハ立憲王政ニシテ兩院制ノ議會立法ノ大權ヲ保ツ陸軍常備兵ハ二万ニ滿タ
ズ甲鐵艦ハ十餘艘アリ

沿革大要

丁抹人ハ紀元十十一世紀ノ頃ハ其ノ勢力強大ニシテ歐羅巴ノ海上ニ跋
扞セシガ後國勢進マズ諸威瑞典ヲ併セテかるまも同盟成リシモ瑞典ノ脱スルニ及ビ國
力漸退キ永年變遷稍長少クシテ近世ニ至レリ一千八百十五年ノ平和條約ヲ以テ諸威ハ
瑞典ニ合シ丁抹ハ孤立ノ姿トナリ一千八百六十四年獨逸ノ爲ニしれすういひはるすた
いん等ヲ奪ハレ地益迫レリ

氷州及ビふーあるね群島

ふーあるねハ氷州ノ東南ニ在リテ岩石多キ二
十有五ノ小島ヨリ成ル其ノ中十七島ニハ住民アリ草木成長スルコト難ク一萬三
千ノ住民重ニ漁業ニ依リテ生ヲ營ム氷州ハふーあるね群島ノ西北ニ横ハリ歐羅巴
第二ノ大島ニシテ面積六千七百十九方里住民七万一千島中ニ有名ナルヘくらノ
活火山アリ下ニ温泉頗多シ其ノ位置ハ北極圈ニ接スルモ緯度ニ比シテハ氣候温
和ナリ草木能ク生ズレドモ大半ハ氷雪ヲ以テ蔽ハル住民ハ南岸ニ居リテ馴鹿牛
馬等ヲ畜ヒ又漁業ニ依リテ生活ス

(三) 瑞西共和國

總叙。 瑞西ハ四大國ノ間ニ挾マレル小國ニシテ、全ク海ニ臨マズ、北ハ獨逸、東ハ
 奧太利、南ハ伊太利、西ハ佛蘭西ニ境ス、東西凡八十六里、南北六十二里、面積二千七百
 方里、人口凡三百万、二十二ノ小區ヨリ成ル。

地勢、山岳。 瑞西ハ歐羅巴第一ノ山地ニシテ、峻嶺高嶽國土ノ三分ノ二ヲ蔽ヒ、
 餘ハ即高原ニシテ、低地ト稱スベキモノヲ見ズ、佛國もんぶらんノ高峰ヨリ走り來
 レルあるぶす山ハ、脈絡數條ニ分レテ國境ヲ繞リ、國土ヲ縱横シ縫フ。南方ニ屹立ス
 ルまてるほる山ハ、高サ一萬四千七百尺、もんどろおさハ、一萬二千五百餘尺アリ、中
 部ニハおべるらんぞ、うり、ぐらるすノ山嶽相連リ、就中おいんすてらあるほるん山
 ハ一萬四千餘尺、ゆんぐふらをハ一萬三千六百餘尺ニ達ス。故ニ北ニ至リテ低地ト
 稱スベキ處アルモ、尙海面ヲ抜クコト千五百尺ナリ、地勢ノ高キコト以テ見ルベシ。
河湖。 瑞西ハ群峰相重ル山地ナルヲ以テ、中部歐羅巴諸川ノ水源ハ概此ノ地ニ
 在リ、則だにうぶ、らいん、ろおん河等皆源ヲ此ニ發ス。然レドモ國內幾多ノ河ハ、皆小



瑞西山中

流急湍ニシテ舟ヲ行ルベカラズ、而シテ其ノ水ハ專工業ニ利用セラル。但シらいん
 ノ支流ナルある河ノミハ、少シク運輸ノ便ヲ與フ。然シテ本國ニ發スル河流ハ、多
 ク湖水ヲ通ジテ流ル。湖水ノ大
 ナルモノヲせねば、こんすたん
 す、にうしあてる、まじよおれ、り
 うせるん等トシ、景色何レモ清
 佳ニシテ、交通ノ利アリ、其ノ他
 幽谷ハ到ル所小湖多シ、所謂あ
 るぶす連山湖沼ノ地タリ。
氣候、產物。 瑞西ハ全土高
 地ナルヲ以テ、緯度ニ依リテ其
 ノ氣候ヲ判スル能ハズ、即山頂
 ニ白雪ヲ見テ、而シテ山麓ニ葡
 萄ノ繁殖ヲ見ルガ如ク、高低ニ應ジテ温度甚シク異ナリ、雪線ハ九千尺以上ニシテ、

四千尺以下ノ地ハ漸穀類ヲ產出ス。國中最温暖ナル處ヲししの地方トシ、橄欖、無花果等成熟ス。

瑞西ハ天産ニ乏シク、唯少量ノ鐵ヲ產スルノミニシテ、他ニ貴重ナル礦物ナシ、國土ノ十分ノ一僅ニ農業ニ適スルモ、其ノ生産ハ國用ヲ充タスニ足ラズ、玉蜀黍、葡萄、煙草等モ亦甚宜シカラズ、只全土ヲ掩蔽スル所ノ樹林アルヲ以テ、木材ノ利多ク、牧畜亦盛ニシテ、牛羊等ヲ產ス。然レドモ、瑞西人ノ獨立ヲ維持シ得ル所以ノモノハ、全ク工業ノ力ニ由ルナリ。

都會交通。 人口二萬五千以上ノ市府僅カニ七ツアリ、就中五萬以上ノモノヲせねば及ビばせるトス。首府ヲべるんと稱シ、人口四萬六千アリテ、風景佳シ。せねばハ人口凡七萬二千、獨佛ノ要衝ニ當リテ商業盛ニシ、時計ノ製造ヲ以テ著ル。ばせるハ人口凡七萬、らいん河畔ニ在リ、絹布ノ製造ヲ以テ著ル。

鐵道ハ二千哩餘、道路亦能ク開通シ、着着交通ノ便ヲ計畫シテ怠ラズ、彼ノ九哩餘ノ隧道ヲ穿チテ歐羅巴中部ニ出ヅルある、ふす鐵道ノ如キハ、以テ天下ノ奇工トナスニ足ル。輸出品ノ重ナルモノヲ時計、絹布、綿布、乾酪等トシ、穀類、鐵、石炭等ヲ輸入ス。

人民政治。

人口四分ノ三ハちうとん人種ニ屬シ、國內ノ中央及ビ北部ニ住ス、西方ニハ佛蘭西民族アリ、南方ニハ、伊太利民族アリ、東ニハれいと、お羅馬人ト稱スル一民族アリ。國語モ亦之ニ應ジテ分レ、獨逸語、佛蘭西語、伊太利語等各地ニ行ハル。國民ノ過半ハ新教ヲ奉ズルモ、舊教徒亦百萬以上ニ上ル。

政體ハ共和政治ニシテ、二十二州ノ聯合ヨリ成リ、上下兩院ノ議會アリテ立法ノ大權ヲ保チ、委員ト稱スルモノアリテ行政權ヲ握ル。常ニ局外中立ノ位置ニ立ツヲ約シテ、常備兵ヲ置カズ、一旦事アレバ人民皆兵トナル。

沿革大要。

瑞西ハ始メ獨逸帝國ノ一部ニシテ、埃太利公ノ領地ニ屬セシガ、一千三百八年しゆわいつ、うり、うんてゐるでんノ三州埃太利ニ反シ、三大戰ヲ經テ遂ニ獨立シ、リウセルン、ゴウリウチ諸州ヲ併セ、一千五百十三年頃ニハ、僅ニ十三州ヲ聯合セシガ、奈破魯敗滅後、一千八百十五年、二十二州ノ聯合國トナリ、以テ現今ノ國勢ヲナセリ。

第五章。中央歐羅巴。其ノ二。

(一) 奧太利、匈牙利帝國。

總叙。 ぼるかん半島ノ西北ニ蟠ル大國ヲ奧太利、匈牙利ト云フ。北ハ魯西亞及ビ獨逸ニ、東ハ魯西亞及ビるうまにあニ、南ハあどりあちつく海、もんでねぐる、土耳其、せるびあ、るうまにあニ接シ、西ハ獨逸、瑞西、伊太利ニ連ル。南北最長二百九十里、東西三百七十里、面積四万七千二百方里、人口凡四千一百四十万アリ。奧太利及ビ匈牙利ノ二國相合シテ、即此ノ國ヲ組織ス。

地勢、山岳。 奧太利、匈牙利ハ唯一面あどりあちつく海ニ臨ムノミニシテ、海岸線四百五十里ニ充タズト雖、小島海岸ニ散布スルヲ以テ、良港少カラズ。内地ハ山嶽連亘ノ高地ニシテ、歐羅巴中瑞西ニ次グ山地タリ。あるふす山ハ西ヨリ來リテ西南地方ニ起伏シ、更ニ二脈ヲ出シテ、一ハびあなニ達シ、一ハあどりあちつく海ニ沿ヒテ走ル。かるばしあん山ハ匈牙利ノ過半ヲ圍繞シ、高サ八千六百尺以上ノ高峰タリ。ぼへみあ連山ハ西北ニ連亘シテ、有名ナルぼへみあ高原ヲナシ、全國四分ノ三八實

ニ高原山地ニ占有セラル、其ノ平原ノ重ナルモノハ、匈牙利平原及ビ東北ノがりしあ平原等二三ニ過ギズ。殊ニ匈牙利平原ハ四境殆山ヲ以テ繞ラサレ、四方ヨリ湧出スル河流、平原ノ中央ニ至リテ、だにうぶ河ニ注瀉スルヲ以テ、土地肥沃、沼澤多ク、農産有名ニシテ、牧畜盛ンニ行ハル。がりしあハ歐羅巴大平原ノ一部ニシテ、小麥ノ産ヲ以テ著ル。

河湖。 だにうぶ河ハ獨逸ヨリ來リ、國ノ中央ヲ貫キテ遙ニ黒海ニ朝ス、國中ノ諸川、大トナク小トナク、概皆之ニ合ス。其ノ支流ノ重ナルモノハ匈牙利中央ノていす河ト、同州西南ノさあぶ、どらあぶ、二川トス、共ニ通交ノ便ヲ與フルコト大ナリ。えるべ川ハ源ヲぼへみあニ發シ、獨逸ヲ經テ北海ニ注ギ、依テ以テ西北ノ通路ヲ得、然レドモ運河ノ整備乏シキヲ以テ、之ガ利用ノ尙至ラザルモノアルヲ惜シム。だにうぶ及ビどらあぶ河間ニ二大湖アリ、一ヲばらとんと云ヒ、一ヲのいしとれ、るト云フ、前者ハ長サ二十里ニ達ス、共ニ水淺クシテ舟楫ノ利ニ乏シ、其ノ他山間ニ幾多ノ沼湖散在スルアルモ、皆小ニシテ擧グルニ足ラズ。

氣候。 本國ノ氣候ハ、之ヲ三部ニ分チテ説クチ便トス、かるばしあん山ハ七月ヨ

リ雪降り、翌年五月ニ至ル、故ニ其ノ以北ノ地即北部ノ氣候ハ、冬期永クシテ且寒氣強キヲ以テ、麥、麻等ノ產出アルモ、葡萄ヲ生ゼズ、中部即匈牙利平原ノ地方ハ氣候温和ニシテ、盛ニ葡萄ヲ產シ、小麥ヲ生ズ、然レドモ要スルニ本是大陸氣候ナルヲ以テ、冬夏溫度ノ差著キヲ免レズ、びあなノ如キハ冬期中溫度氷點以下ニ降り、だにうゑ凍結スルコトアリト云フ。而シテ南部即あどりあちつく一帯ノ地ハ、氣候一層温暖ニシテ、橄欖、無花果等ヲ產シ、又養蠶ニ適ス。

產物。 奧太利匈牙利ハ天然ノ產物ニ富有ナル國ナレドモ、國民三分ノ二ハ農業ヲ務メ、國土ノ肥沃ナルヲ以テ產出亦甚多シ。麻、桑、葡萄、砂糖、馬鈴薯及ビ諸種ノ穀類、果實等其ノ重ナルモノナリ。山林ハ國土三分ノ二以上ヲ占メテ木材ニ富ミ、平野ニモ、山間ニモ、牧畜ノ業大イニ行ハレ、牛、馬、羊、豚等甚多ク、熊、狼、猪等ノ野獸モ亦寡シトセズ、此ノ國ハ甚礦產ニ富ミ、金、銀、銅、鐵、ヨリ鉛、亞鉛、につける、石炭ノ類ニ至ルマデ、一トシテ之ヲ產セザルナク、就中鐵ハ名産ニシテ、質ノ良キコト瑞典産ニ勝レリ、又びいりつか岩鹽坑ノ如キハ、鹽ノ產出萬國ニ冠タリ。工業ハ盛大ヲ以テ贊スル能ハザルモ、ぼへみあ、もらびあ、しれしあ、すちりあ地方ハ毛布、麻布、綿布ノ製造、酒類ノ醸造



歐羅巴洲 中央歐羅巴

等盛ニシテ、ぼへみあノ玻璃製造ハ萬國ニ冠タリ。

都會、交通。 奧匈國中市府人口二萬以上ノモノ二十七、其ノ中十萬以上ノモノ六アリ。帝國ノ首府びあなハ奧太利ノ東匈牙利ニ近ク、だにうゑ河畔ニ立チ、人口凡百四十萬、商業製造ノ中心ニシテ、歐羅巴大都ノ一タリ、其ノ四方繞ラスニ丘陵ヲ以テシ、風光清麗ナリ、之ニ次グテ匈牙利ノぶだべすと市トス、其ノ地だにうゑニ隣リ、ぶだ及べすと市ト合シテ成ル、人口五十萬餘、商業隆盛ノ地タリ、其ノ他ぼへみあノぶれいぐ市、人口十八萬、もらびあノぶるん市、人口十萬、がりしあノれむべるぐ市（人口十三萬等、何レモ市況繁華ヲ極ム）

とりわすてハ本國唯一ノ海港ニシテ、あどちあちつく海岸ニ在リ、人口十六萬、海陸運送ノ便具リ、本國ニ於イテ外國貿易ノ中心ヲナス。道路能ク整ヒテ、鐵道ハ一萬七千哩アリ、だにうぶ河國中ヲ流ルルコト四十餘里、百數十艘ノ汽船之ヲ上下ス、運河ハ二千里アリ。穀物、羊毛、木材、玻璃、葡萄酒等ハ輸出物ノ重ナルモノニシテ、綿布、絹布、茶、煙草等ハ輸入品ノ重ナルモノナリ、要スルニ外國貿易ノ大イニ發達セザルハ、海岸線ノ短少ナルニ由ル。

人民政治。 埃太利、匈牙利ハ國情最錯雜セリ、今其ノ人種ヲ細ニ列舉セバ、匈牙利ニ於ケル蒙古種ノまぐやる人ハ六百五十萬、すらぶ人種ハ千八百萬、るうまにあ人ハ二百六十萬、ちうとん人ハ千餘萬、其ノ他ニ羅馬人アリ、合計四千萬ニ超ユル中ニ、ちうとん、すらぶノ二族之ガ要部ヲナス。國語モ之ニ準ジテちうとん語アリ、すらぶ語アリ、まぐやる語アリ、羅馬語アリ、國教ハ舊教ナルモ、新教及ビ希臘教殆之ト相頷スルニ足ル。回教及ビ猶太教モ亦多少行ハル。政體ハ立憲世襲ノ帝政ニシテ、埃太利及ビ匈牙利各別ニ兩院制ノ議會アリ、然レド

モ海陸ノ軍事及ビ外交事務ハ兩國相通ジテ一ナリ。皇帝ハ匈牙利及ビぼへみあニテハ王ト稱ス。陸軍常備兵員ハ三十萬、戰時ニハ九十萬餘ヲ出スニ足リ、軍艦ハ百二十餘艘アリ。

沿革大要。 一千二百七十三年はオサなるト家埃太利公トナリ、年ヲ追ヒテいるリ、あ、ちろる等ノ地ヲ得シ、十六世紀ニ至リテ、ぼへみあ、らびあ及ビ匈牙利ヲ得テ之ガ王位ヲ兼テ、勢權漸強盛ヲ致シ、獨逸皇帝ノ位ヲ繼フニ至レリ。一千七百七十二年、波蘭ノ分奪ニ興リ、現今所謂ガリシあノ地ヲ得タリ。近世奈破翁ノ爲ニ獨逸帝國一旦蹂躪セラレテ崩解セシカドモ、一千八百十五年ノ條約ヲ以テ、其ノ舊領ヲ復セシノミナラズ、伊太利全土亦之ガ治下ニ屬シ、獨逸同盟ノ盟主ト仰ガレタリ、然ルニ一千八百五十九年、伊太利ニ於ケル權威ヲ失シ、同シキ六十六年ベにサヲ失ヒ、又現今ノ所謂獨逸國即北部日耳曼聯邦ノ爲ニ大イニ國土ヲ割カレ、一千八百七十八年柏林條約以後、南ノぼすにあ及ビへるせびびラ土耳其ヨリ得タリ。

(二) 伊太利王國

總叙。 伊太利ハ南部歐羅巴三大半島ノ中央ニ在リテ、地形長靴ノ如ク、斜ニ地中

海中ニ突出ス。北方大陸ニ連ル地ハ、埃太利、瑞西、佛蘭西ニ接シ、他ハ三面共ニ海ヲ以テ圍繞セラレ、東ヲあぢりあぢりつく海トシ、西南ヲ地中海トス。南北最長キ所ハ三百十里、東西ハ四十里ニ充タズ。面積ハししりい島ヲ合ハセテ一萬九千三百三十五方里、人口凡三千萬アリ。

沿岸、屬嶋。 伊太利東方ノ海岸ハ、概地低ク砂汀多シ。繞リテ南端ニ至レバ、せらんと灣アリ、州端トししりいとノ間ヲめつしな海峽ト稱ス。西方海岸ニ出ヅレバ、地高クシテ屈曲多ク、北ニ至リテせのあ灣アリ、西方ノさるぢにあハししりいと共ニ本國重要ノ屬島ナリ。

地勢、山岳。 國土ハ山岳連亘スルヲ以テ低地少ク唯北境ノぼれ河畔ニるむばるぢいノ平原アリ、穀果豐熟、本國ノ倉庫ト稱ス。其ノ他ハ廣長ナル脊骨山脈ヲ以テ狹長ナル國土ヲ蔽ヒテ一貫ス。有名ナルあるふす山ハ、北部大陸ノ境ニ蜿蜒起伏シテ、佛蘭西、瑞西ト天然ノ境ヲナシ、高峯もんとるさハ高サ一萬五千二百尺ニ達セリ、其ノ餘一萬五千尺ヨリ一萬二千尺ノ高峯亦甚多シ。山脈ノ地中海ニ沿ヒテ南下スルモノヲ沿岸あるふすト稱シ、山勢一度低下シテ又更ニ起リ、以テあべにん連山ト

ナリ、本土ノ脊骨ヲナシテ、水理依テ以テ分ル。其ノ最高峯ヲもんとるのをト稱シ、羅馬府ニ對峙ス、高サ九千五百尺、山脈南端ニ至リテ盡キ、再ししりい島ニ起ル。島中有名ナル噴火山、ねどなハ高サ一萬八百尺餘アリ、べすびうすハ高サ四千尺、ねいぶるすニ近キ處ニ峙チ、ねどなト俱ニ歐羅巴有名ノ活火山ナリ。

河湖。 河流ノ大ナルモノヲばれ河トス、源ヲあるふす山中ノ湖水ニ發シテあぢりあぢりつく海ニ注グ、水程百八十餘里、灌溉運輸ノ便大イナリ、河畔ハ即豐沃ナルるむばるぢいノ低野タリ。

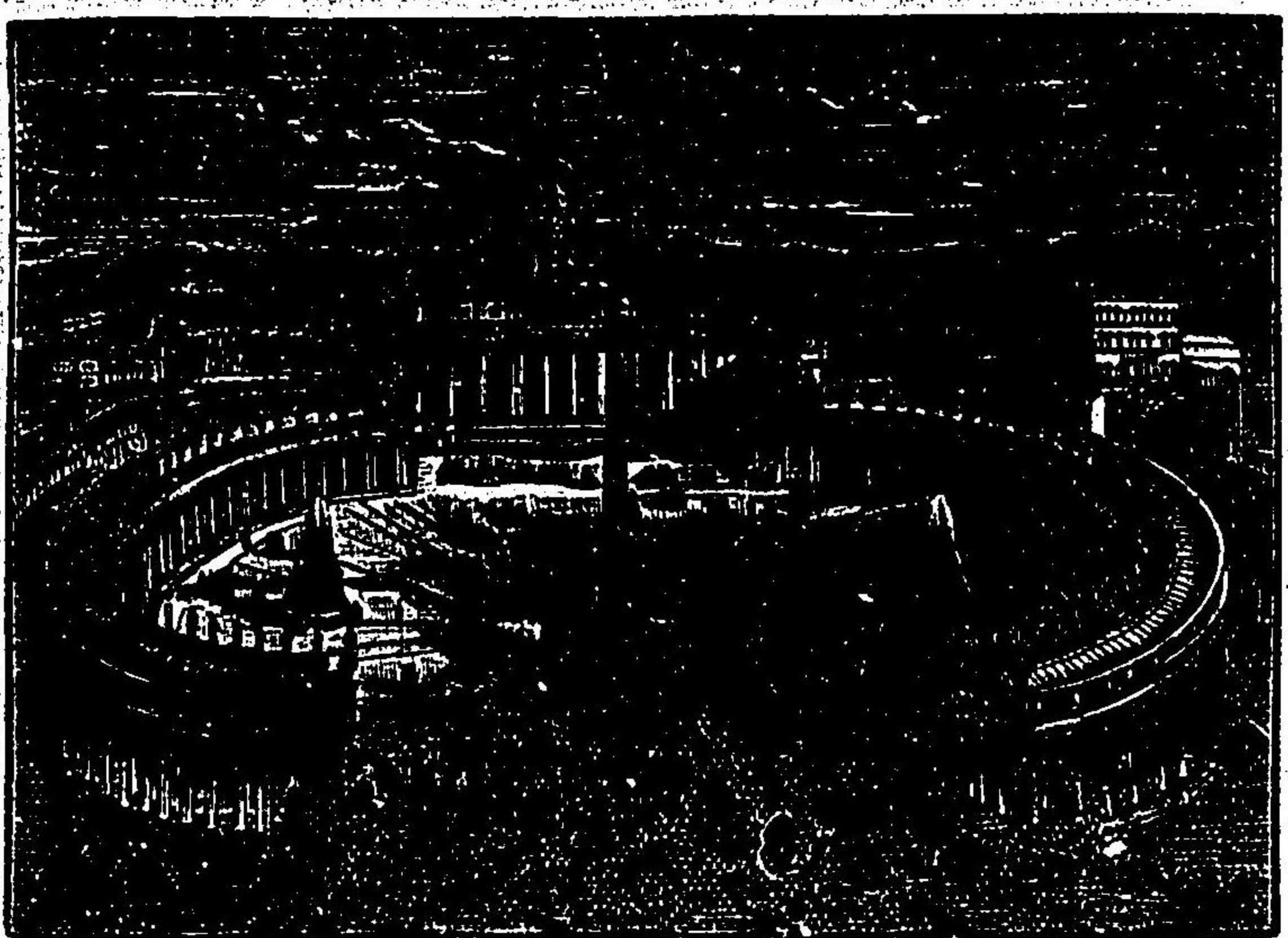
脊骨山脈ノ西南ニ流ルル諸川ノ有名ナルヲあるのれ河トス、ふるれんす及びびさヲ過ギテ海ニ入ル。ちべる河亦源ヲ中央山脈ニ發シ、羅馬府ヲ過ギテ海ニ入ル。其ノ他小流數多ク、河畔ニ澤濕沃野少カラズ、東南ヲ流ルル諸川ハ其ノ數夥多ナリト雖、何レモ小流ナリ。

湖水ノ著名ナルヲあるふす山ノ麓ナルこも、まじ、たれ、がるだ、るがの等トス、風景絶好ヲ以テ稱セラル。伊太利ハ山水ノ風致ニ富ムコト、大イニ我が國ニ似タリト云フ。
氣候。 氣候ハ温和ニシテ、空氣清明ナルモ、所ニ由リテ差違甚シ、即北方ニテハあ

るふすノ吹キ下シ烈シクシテ、冬時ノ寒氣強ク、春色常ニ遅クシテ雪白シ。せのあ溝ノ地方ハ、あるふすニ依リテ以テ此ノ烈風ヲ避クルヲ得。南部伊太利ニ至レバ、之ニ反シテ人雪ヲ知ラズ、熱風時時地ヲ捲キテ來リ、綠葉枯レ、青草死スルコトアリ。要スルニ伊太利ノ氣候ハ佳良ナルモ、二個ノ關點アリ、一ハ北風ノ寒、一ハ南風ノ熱ナリ。是ヲ以テ國ノ大半ハ健康ニ適セズ、まらりあ熱ノ如キ亦屢流行ス。

産物。 國土ノ六分ハ山林ヲ以テ蔽ヘドモ、沃野モ亦少カラズ、ろむびるぢい地方ノ農業ハ殊ニ盛ニシテ、小麥ノ産額多ク、歐羅巴各國中唯英佛ニ讓ルノミ。米、麻、橙、橄欖、葡萄、玉蜀黍、佛子柑等至ル所地味ニ適ヒ、桑樹亦能ク繁茂スルヲ以テ、蠶業歐羅巴ニ冠タリ。牧畜ハ敢テ盛ナルニハ非ザレドモ、ろむびるぢいノ馬、たすかにいノ羊等其質ヲ以テ著ル。水産ニハ鰻、牡蠣等多ク、珊瑚及ビ海綿アリ。礦物ハ富メリト云フニ非ザルモ、硫黃ハしじりいヨリ多量ニ出デ、鐵ハろむびるぢい及ビりぐりあニ、鉛ハたすかにいニ、鹽ハさるぢにあニ産シ、更ニ良好美麗ナル大理石アリ。

都會、交通。 伊太利ニハ人口二萬以上ノ都會六十六アリ、其ノ中十萬以上ナルモノ九市アリ、王都ヲ羅馬ト云フ、現今人口二十七萬餘、繪畫、彫刻、建築ノ美一トシテ



具ヲザルナク、法王宮聖ペいとる寺院、てりぢあむ等、高大壯麗、而モ歴史上ノ舊蹟ニシテ、各國ヨリ來觀スルモノ多シ。ねいぶるすハ伊太利最大ノ市府ニシテ、人口四十六萬餘、ねいぶる灣頭ニ位ス、其ノ風景明媚ナルヲ以テ、ねいぶるすヲ觀テ而シテ後ニ死スベシトノ俚諺アリ。みらんハ人口三十萬、ろむびるぢいノ大市タリ。ちゆりんハぼれ河ノ上流ニ在リテ人口二十三萬、はれるもハしじりいノ首府ニシテ、人口二十一萬、せのあハせのあ灣頭ニ在リテ、人口十四萬餘、本國最要ノ良港ニシテ、ころむふすノ生地タリ、ふるれんす(人口十三萬五千)ニテ人口十三

萬及ビ其ノ他史上著名ノ市府少カラズ。就中ベにす、ふるれんす、みらん等ハ中世紀中、歐羅巴ノ商業權獨占ノ威ヲ振ヒタリ。

鐵道ハ七千哩、運河亦甚多ク道路備リ、外國貿易盛シニ行ハル。世のあ、ねいふるす、れとほるん(人口八萬、あんこな)人口三萬、すべつじあ等ハ、海港ノ著名ナルモノニシテ、ベにす、みらん等ノ地ハ一旦衰退ノ後、尙恢復ノ面目ヲ見ザルモ、將來期スベキモノアリ。輸出品ノ重ナルモノハ生絲ニシテ、鷄卵、硫黃、酒類、諸種ノ果實等之ニ次グ穀物、綿、石炭、木材等ハ輸入品ノ重ナルモノナリ。

人民政治。

伊太利ハ元來羅馬人種ノ本領ナリシガ、時世ノ紛亂永ク續キタルニ從ヒテ、錯雜混交ヲ免レズ、現今ノ人民ハ即けると、羅甸、ちうどん三民族ノ混合ヨリ成レルモノニシテ、國教ヲ舊教ト定メ、國民殆皆之ヲ奉ズト雖、猶信仰ノ自由アリ、國語ハ直接ニ羅甸語ヨリ來レルモノナレドモ、時世ノ變遷ト共ニ轉訛多シ。政體ハ立憲世襲ノ王政ニシテ、憲法ハ英皇ニ模倣ス、勅選ノ議員ヲ以テ成レル上院、民選ヲ以テ成レル下院、相併立シテ立法權ヲ保チ、行政權ハ國王及ビ内閣ニ存ス。陸軍常備兵二十六萬餘、軍艦二百五十餘艘、中ニ第一等ノ甲鐵艦十艘アリ、其ノ二艘ハ

世界最大ナルモノノ内ニ數ヘラル。

沿革大要。

伊太利ハ歐羅巴諸國中、希臘ニ次グル哲開明國ニシテ、初メ羅馬ヨリ起リテ、遂ニ殆全歐羅巴ヲ壓シ、彼ノ有名ナル世界一統主義ヲ立テタル雄威想フベシ。中世紀ニ至リ伊太利ノ政界紛亂相踵ギシモ、宗教上法王ノ權威盛大ナリシヲ以テ、羅馬府ハ其ノ昌盛ヲ極メタリ、又ベにす、ふるれんす、ぜのあ、みらん等ノ諸市ハ、王治ノ下ヲ脱シテ自治メ、中世ノ商業ヲ左右シ得ル勢力ヲ得タリ。

一千四百九十四年、佛王伊國ニ侵入シ、國土頗ニ蹂躪セラレ、錯雜永年ニ涉リタリ。十八世紀ノ始メ、さばい公、びいどもんとニ據リテ以テ遂ニさるぢにあノ王トナレリ、一千七百九十二年、佛國大革命ノ後、奈破翁ノ爲ニ征服セラレ、後一千八百十五年ノ和約ニ於イテ、ろむぼるぢい及ビベにすハ、埃太利領トナリ、びいどもんと、ぜのあ、さるぢにあハ合シテさばい王家ノ下ニ歸シ、たすかにい、ばあま、もでなハ公國トナリ、ねいふるす、ししりいハ合シテ王國トナリ、法王ノ領地モ廣ガリキ。

一千八百五十九年及ビ六十年、さるぢにあ王びくとる、えんまにえる、佛帝奈破翁三世ノ援助ヲ得、埃太利ト戰ヒテ之ニ勝チ、伊太利全土殆其ノ手中ニ歸シ、唯羅馬即法王領トベにすト伊太利ニ屬セザリシガ、一千八百七十年ニ至リテ、是又其ノ版圖ニ歸シ、びくとるえんまにえる王位ニ登リ、現今伊太利王國即此ニ成レリ。

第六章。中央歐羅巴。其ノ三。

(一) 佛蘭西共和國。

總叙。 佛蘭西ハ南ハ地中海ニ瀕シ、ピレにイテ山脈ヲ以テ西班牙ニ境シ、西ハピ
すけい灣ニ面シ、北ハ英吉利海峽ニ臨ミ、白耳義ニ接シ、東ハ獨逸、瑞西及ビ伊太利ニ
連リ、南北ノ距離二百五十里、東西亦殆之ト等シ、面積三万四千四百九十二方里、人口
三千八百餘万アリ。

沿岸、屬嶋。 佛國ハ三面海ニ臨ムヲ以テ、海岸線八百餘里アレドモ、其ノ中地中
海ノ岸ハ僅ニ百五十里ニシテ、且概地低ク、水淺ク、船舶ノ淀泊ニ便ナラズ、港泊ハ多
ク、人力ヲ以テ作りタルモノナレドモ、其ノ外又天然ノ良港二三アリ。沿岸ノ屬嶋ハ
皆小ニシテ、記スルニ足ルベキモノナシ、獨南リれん灣ヨリ東南ニ當リテこるしか
島アリ、地理上伊太利ニ屬スルモノナレドモ、政治上佛國ノ領土タリ、奈破翁第一世
出生ノ地タルヲ以テ其ノ名特ニ著ル。

地勢、山岳。 佛國モ亦歐羅巴大平原ノ一部タルヲ以テ、全地殆低平ニシテ、其ノ
間ニ丘陵ヲ見ルノミ。然レドモ南東ノ國境ハ有名ノ山地ニシテ、高峰峻嶺相並ビテ
峙チ、ピレにイテ山脈、西班牙ノ境ニ連亘シ、佛國ニ屬スル最高峯ハ高サ一万八百二
十尺餘ニ及ブ、又あるふす連山、伊太利、瑞西ノ境ニ於イテ天ニ峙チ、最高峰もんぶら
んハ一万五千七百八十四尺ノ高サアリ、其ノ他ヒュラ山、ぼすちえす山等、瑞西、獨逸
ノ境ニ連亘スルアルモ、此等ハ一部佛國ニ在ルノミニシテ、甚高カラズ、白耳義トノ
境ニ至リテハ平原ヲ以テ連續ス。

佛國ハ河水多ク、地亦低平ナルヲ以テ、流湍急ナラズ、概舟行ノ便アリ、其ノ大ナルモ
ノハ、東ニろれん、北ニせいん、西ニるあ、南ニがろれんアリ、ろれん河ハ源ヲ瑞西ニ發
シテりれん灣ニ注グ、歐羅巴大河ノ一ニシテ、其ノされん河ト合スル所ニ里昂府ア
リ、がろれん河ハ佛國南部ノ最大河ニシテ、源ヲピレにイテ山ニ發シテ、ピすけい灣
ニ注グ、ぼるどね府其ノ畔ニ立ツ。るあ河ハ佛國第一ノ大河ニシテ、水程二百十四里、
中部ヲ潤澤シテ、ピすけい灣ニ注ギ、河口ニなんつ市アリ、中間ノ河畔ニれるれあん
市アリ、せいん河ハ水程百九十餘里、北部ヲ濕シテ英吉利海峽ニ注ギ、河岸ニ、巴里ア
リ、河口ニ近クはふる港アリ、以上ハ佛國河流ノ著大ナルモノニシテ、皆舟楫ノ利ア

リ、運河ヲ以テ互ニ相通ズ。佛國ニハ湖水ノ有名ナルモノナシ、國境ニせねば湖アル
ノミ。

氣候。 佛國ハ歐羅巴中氣候ノ最佳ナル國ニシテ一年ノ平均溫度、北部ハ五十
度、西部ハ五十四度、南部ハ五十九度ナリ、寒暑ノ相違共ニ甚シカラズ、雲霧少クシテ
空氣清朗ナリ。地中海ノ濱ハ橙、棗、米等豐熟シ、中央部ハ葡萄ノ栽培ヲ以テ其ノ名高
ク、英吉利對岸ノ地ハ多ク小麥ヲ産ス、降雨ハ多キ方ニテ、東南ヨリ北ニ進ムニ隨ヒ
テ其ノ量愈多シ。

産物。 佛國ハ英國ト相對峙スベキ一大工業國ナレドモ、人民ノ過半ハ農業ニ從
事ス、氣候ノ佳良ナルト、地味ノ豐沃ナルトニ依リテ、農産物甚多シ。殊ニ其ノ最著名
ナルハ葡萄ノ栽培ニシテ、しあむばんぼるとれ、ぶるがんぢい等ヨリ産出ノ葡萄酒
ハ、品位高ク、風味良ク、他ニ比スベキモノナシ。小麥、甘蔗、林檎等ハ北部ニ、橄欖、玉蜀黍、
橙杏等ハ南部ニ産ス。桑樹ノ培養モ年ニ盛ンニシテ、養蠶業益振ハントス。牧畜ニハ
馬、羊、豚等少カラズ、家禽ノ飼養大イニシテ、鶏卵多シ。木材ハ一見乏シキガ如クナレ
ドモ、國境連山ノ間ニハ深林鬱乎タリ、國人石炭ヲ惜シミテ薪炭ヲ用フ。漁業ハ大イ

ニ發達シテ、地中海及ビ北海ノ濱獲ル所少カラズ、鰵、鯡、鱈、牡蠣等其ノ重ナルモノナ
リ。礦物ハ甚多カラザルモ、石材ニハ富メリ、唯大炭田ハ二處アレドモ、分量、性質、共ニ
英國産ニ劣リ、鐵坑モ少カラザレドモ、炭田ニ遠キヲ以テ採掘極メテ不便ナリ。

工業。 佛國ハ實ニ一大工業國ニシテ、就中盛大ナルモノヲ絹布ノ紡織トス。佛人
ハ此ノ業ニ獨得ノ妙技ヲ得タリ、紡績職工ハ凡二百萬以上、其ノ隆盛想フベシ之ニ
次イデ釀酒及ビ製絨ノ業アリ。

佛人ハ優美ノ意匠アルガ故ニ、美術品ノ製作ニ至リテハ、歐羅巴諸國之ガ右ニ出ツ
ルモノナシ。絹布ハ里昂ニ、毛布ハリール、るうゐん、聖くゐんちん、及ビせだんニ、綿布
ハあるさすニ、麻布ハのると等ニ於イテ製造最盛ンナリ。

都會交通。 佛國ニハ繁華ノ都會頗多シ、人口三萬以上ノモノ殆五十、就中五萬
以上ノモノ三十餘、十萬以上ノモノ十市アリ。

國都巴里ハ人口凡二百五十萬、せいん河ニ跨リテ立ツ、其ノ人口英國倫敦ニ讓ルモ、
市街ノ整正端美ナルコトハ、實ニ其ノ上ニ出ツ。市ノ中央ニ佛蘭西島アリ、島中ニ屹
立スルのれとるだむノ古塔ハ、建築古今ニ秀ツ。此ノ他圖書館、繪畫樓、公園等ノ如キ



何レモ盛觀ヲ極メザルナク、市民優美ニ
 シテ華奢ニ耽ルヲ以テ、各國人ハ樂園ト
 シテ來遊シ、歐羅巴諸國好尚上ノ中心ヲ
 ナセリ。商業甚盛大ニシテ市街ノ周圍ハ
 繞ラスニ九里餘ノ堅砦ヲ以テシ、守備嚴
 重ナリ。
 里昂ハるれん及びされん河ノ合スル所
 ニ位シ、人口四十二萬、絹布製造ヲ以テ著
 ル、佛國第二ノ大都タリ。
 まるせいゆハ佛國最良ノ海港ニシテ、人
 口四十萬餘、地中海ニ臨ミテ立ツ、外國貿
 易ノ隆盛、此ノ地ヲ以テ最トス。其ノ他ぼ
 るとれ(人口二十五萬餘、なんつ(人口九萬)
 るはふる(人口凡十五萬)ハ製鐵羊毛ニ、る

うえん十一萬餘)ハ綿布ニ名高ク、らいむ(人口十一萬餘)ハ史跡ニ著ル。

鐵道ハ二萬哩、組織最能ク完備ス、車道ハ十三萬五千六百里、航行スベキ水路ハ二千
 餘里、運河ハ一千二百里、交通ノ便一トシテ具ハラザルナク、内外ノ商業盛況ヲ極ム。
 輸出品ハ重ニ製造品ニシテ、即絹布、綿布、麻布、時計、金銀寶石細工、葡萄酒及ビ其ノ他
 ノ美術品等ナリ。輸入品ハ重ニ諸種ノ原料ニシテ、生糸、綿、石炭ヲ最トス。

人民政治

佛國ノ住民ハ其ノ始メけると人種ニシテ、所謂がうるト呼バレタ
 ル一民族ナリシガ、南部ニテハいべりあ人ト混ジ、英吉利海濱ニテハ大イニぶりと
 ん人ト交リ、次第ニ羅馬人ノ感化ヲ受ケテ、ちうとん民族亦入り來リ、人種相錯雜シ
 テ竟ニ現今ノ佛人ヲ現出セリ。即南部ノ人民ハいべりあ人、けると人及ビ羅馬人ノ
 混交ヨリ成リ、西部ノ人民ハけると人トぶりとん人ヨリ成リ、北部ノ大半ハちうと
 ん民族ヨリ降レリ。

國語ハ羅匈語ノ轉訛セシモノナレドモ、ちうとん語ノ素ヲ含ムコト少カラズ、宗教
 ハ重ニ舊教ニシテ新教ヲ奉ズルモノハ國民十五分ノ一ニ充タズ。
 政體ハ共和政ニシテ、大統領ハ國民ノ選舉スル所ニ係リ、七年ヲ以テ期限トス、上下

兩院アリ。陸軍常備兵ハ五十萬餘、軍艦ハ四百數十艘アリ、兵勢旭日ノ勢ナキモ、亦一方ノ大強國タルニ愧ヂズ。

沿革大要。

佛國ハ本がうる人ノ住地ナリシガ、年ヲ經テちうとん人種入り來リ、くろびナト稱スルモノ始メテふらんく王國ヲ建テ、後幾多ノ變遷ヲ經過シ、しあるれまん帝歐羅巴ノ中原ヲ一統シテ大帝國ヲ經營セシ時、其ノ版圖ニ歸シ、帝國崩解ノ後、分レテ伊太利、獨逸等ト對立セシガ、國內亂ルルコト多年、遂ニ佛蘭西公カペイト稱スル一貴族起リ、都ヲ巴里ニ定メテ國基ヲ建テシガ、王權揚ラズシテ、國內亂レタリ。十三世紀ニ至リ、佛王、ふいりつお出デテ國基ヲ鞏メ、今ノ版圖ヲ形成シ、十五世紀ニはるばんぢい及ビふるべんが加ヘテ勢權ヲ歐羅巴ノ中原ニ振ヘリ。一千七百九十二年、大革命起リ、國王をい十六世斬殺セラレ、憲法止マズ、幾許ナラズシテ奈破露出デテ大亂ヲ起定シ、一千八百四年、帝位ニ登リ歐羅巴ノ大部分ヲ席卷セシガ、一朝魯國ニ於イテ敗ヲ取リ、夫ヨリニタビ王政ノ舊ニ復シタレドモ、一千八百四十年ニ至リ、又革命ノ事起リ就テ奈破露第三世ノ下ニ第二帝政ヲ採リ、普佛戰爭ノ後、遂ニ今日ノ共和政府ヲナセリ。

(二) 白耳義王國。

總叙。

白耳義ハ、獨佛兩國ノ間ニ挾マレル小國ニシテ、形三角狀ヲナシ、北方一邊

ハ北海及ビ和蘭ニ接シ、他ノ二邊ハ獨逸ト佛蘭西トニ境ス、面積凡一千九百二十三方里、人口凡六百餘萬、南部ハ重ニりゆきせんふるぐ公國ニシテ、北部ハふらんだあ公國ヨリ成ル。

地勢山川。

白耳義ハ歐羅巴大原ノ一部ニ位スルヲ以テ、國中山嶽ト稱スベキモノヲ見ズ、然レドモ南東ノ地ハ丘陵所所ニ起伏シテ稍高ク、西北ニ進ムニ隨ヒテ低下ス、海岸線十七里餘、沿岸ノ地、或ハ水波ヨリ下キ處アルヲ以テ、堤防ヲ築キテ海水ノ浸入ヲ拒グ。河川ノ重ナルモノヲみうす及ビしゐるモノニ流トス、共ニ佛國ヨリ來リ、一ハ丘陵ノ間ヲ過ギ、一ハ平野ヲ流レテ和蘭ニ入ル、舟楫善ク通ジテ運河多シ。

氣候產物。

大體ノ氣候ハ温和ナレドモ、所謂大陸氣候ニシテ、寒暑ノ差著ク、降雨ハ海岸ヨリ内地ニ入ルニ隨ヒテ多ク、晴天數日ニ涉ルコト稀ナリ。

此ノ國ハ土地狹小ナレドモ、天然ノ產物ニ富ミ、農商工業共ニ盛大ナリ。人口ノ四分ハ農業ニ從事シ、田圃能ク拓ケ、地味亦肥エ、小麥、大麥、砂糖、麻等ヲ產シ、牛馬ノ牧畜盛シニ行ハル、農業ハ歐洲第一ト稱スル程ナルヲ以テ過多ノ人口ヲ養フガ上ニ、輸出

ノ穀物甚多シ。農産ノ外、礦物ニモ富ミ、石炭ヲ最トシ、鐵、亞鉛、大理石等之ニ次グ、炭田ノ大イナルモノナハ、いのうると及ビなむうるトス。山林ニハ、樅、樺、楓等ノ良材多シ。斯ク天産ノ利大イナルヲ以テ、國中夙ニ工業盛ンナリ、就中鐵器ノ諸種、即蒸氣機關、銃鎗、劍戟等ノ製作及ビ絹布、綿布、毛布、麻布ノ諸工業、何レモ盛大ナラザルハナク、歐羅巴工業國中ニ、嶄然頭角ヲ現ス、蓋炭鐵ノ豊富ナルニ由レリ。

都會交通。 白耳義ニハ人口二萬以上ノ都會十七、就中四萬以上ノモノ四、十萬以上ノモノ亦四アリ。王都ヲふらつせるト云ヒ、國ノ中央ニ位ス、人口凡四十八萬、小巴里ノ名アリ、商工業共ニ隆盛ナリ。王都ニ次グチあんどゑるぶトス、人口二十三萬餘、しゐるど河上ニ在リ、本國唯一ノ良港ニシテ、外國貿易ノ中心タリ。げんとハ人口十五萬餘、綿布紡績ノ業ヲ以テ著レ、工業ノ中心タリ。りいじハ人口十五萬餘、著大ノ製鐵場アリ。鐵道ハ三千哩、天然水利ノ便ナルニ、更ニ二百餘里ノ運河アリ、故ニ國中交通ノ便實ニ極レリ。鐵器、諸器械、寶石細工、石炭、絹布、諸種ノ織リ物及ビ穀物、砂糖等ヲ輸出シ、木材及ビ布帛ノ原料ヲ輸入ス。

人民政治。

國民三分ノ二ハ、ちうとん人種ノふりいみんぐ族ニシテ、下獨逸語ヲ用ヒ、概西北ノ地ニ住ス、東南ニハわるうんすト稱スル人種アリ、げると人種ニ屬スト云フト雖、實ハ東北佛國ノふるがんぢい人ト相似タリ。言語ハ佛語ノ轉訛セシモノヲ用ヒ、宗教ハ全然舊教ナリ。

政體ハ立憲世襲ノ王政ニシテ、元老院及ビ國民會之ガ立法權ヲ握ル、兩院ノ議員ハ共ニ民撰ニ成ル、陸軍常備兵五萬ニ充タズ。

沿革大要。

白耳義ハ素ふるがんぢい王國ノ一部タリシガ、王國分崩ノ後、西班牙ニ屬シ、一千七百十三年、西班牙王位繼承ノ亂ニ當リテ、埃太利此ノ地ヲ領シ、以テ奈破翁ノ時ニ至レリ、後一千八百十五年ノ條約ヲ以テ和蘭ト合シ、一新王國ヲ建テシガ、同シキ三十一年ニ至リ、再分レテ現今ノ王國トナレリ。

(三) 和蘭王國。

總叙。 和蘭ハ西北斜ニ北海ニ瀕シ、東ハ獨逸ニ、南ハ白耳義ニ境ス、東西凡四十五里、南北凡六十六里、面積二千百三十八方里、人口凡四百六十餘萬アリ。

地勢山川

和蘭ハ國中漠漠タル平原ニシテ、全國山ト稱スベキモノナク、海濱ノ地、往往水面ヨリ降レルノ處アルヲ以テ、堅牢巨大ノ堤防ヲ築キテ海水怒濤ニ備フ。故ニ堤防破ルレバ、國土ノ半ハ水ニ浸サル。らゐん河獨逸ヨリ來リ、國ノ南部ヲ横過シテ海ニ入ル、河口ニ數箇ノ島アリ、みうづ河及ビシ、ゆると河共ニ白耳義ヨリ來リ、其ノ他國土ノ中央ヲ廣ク穿テ、ルさいでるじい灣ニ注グニ三ノ小河アリ。此ノ灣ハ元湖水ナリシガ、海水ノ爲ニ一方ヲ破ラレ、以テ今日ノ狀ヲナセリト云フ。水害時多シト雖、國土肥沃ニシテ穀果豐熟ス。

氣候產物

氣候ハ大要溫和ナレドモ、冬時ハ運河水結シ、通路ノ人皆氷靴又ハ襪ヲ用フ。國土能ク拓ケテ農業大イニ進歩シ、麥類、甘藷、甘菜、麻、煙草及ビ諸種ノ果實ヲ産ス。牧畜漁業ハ實ニ和蘭ノ富源ニシテ、就中牧畜ノ盛大ナルコト歐羅巴中無比ト稱シ、牛、馬、羊、乾酪、乳酪等ノ産出甚多シ。漁業ハ規模廣大ニシテ、鯡、鱈ノ漁獵ニ名アリ。礦産ハ至テ乏シク、唯一泥炭ヲ産スルアルノミ。木材モ亦國用ヲ充タスニ足ラズ、常ニ外國ノ輸入ヲ仰グ。此ヲ以テ工業盛ンナラズ、人民商業ヲ以テ専務トス、唯綿布、毛布、絹布、陶器等ハ自國ニ於イテ製造シ、且造船術ニ長ズ。

都會交通

和蘭ハ國土ノ小ナルニ比シテハ、市府多ク、人口二萬五千以上ノモノ十五アリ、其ノ中五萬以上ノモノ五市、十萬以上ノモノ三市アリ。政治上ノ首府ヲヘイクト云フ、人口凡十七萬、王宮政府ノ所在地タリ。あむすてるだむハ國中第一ノ大都ニシテ、人口凡四十三萬、さいでるじい海灣ニ近ク、運河ヲ以テ縱横ニ截斷シタル無數ノ小峽ノ上ニ立チ、三百餘ノ橋梁ヲ以テ市街ヲ聯ヌ、眞ニ一奇觀ト謂フベシ。都中商業賑ハシク、著名ナル金剛石ノ工場アリ、ろつてるだむハしえると河口ノ良港ニシテ、人口凡二十二萬、北海沿岸ノ要路ニ當リ、貿易昌盛ノ大市府タリ、其ノ他うとれひとハ和蘭



和蘭巴州 中央歐羅巴

ノ舊市ニシテ、人口凡九萬アリ。
本國ハ地低平ナルヲ以テ、交通甚便ナル上ニ、鐵道、運河何レモ六百六十里ニ及ベリ。
和蘭ノ海上ニ於ケル商業上ノ權勢ハ、現今大ニ衰ヘタルモノノ如クナレドモ、猶
航海貿易甚盛ンナリ、輸出品ハ牛酪、乾酪、香料、麥麻等ニシテ、輸入品ハ銅、石炭、米、珈琲
及ビ雜貨ナリ。

人民政治

和蘭人ハ獨逸人種ニシテ、東西和蘭ノ人民ハ甚あんなる人ニ近シ、
國語ハ下獨逸語ノ轉訛セシモノニシテ、英語ニ近シ、國民五分ノ三ハ新教徒ニシテ、
其ノ餘ハ舊教ヲ奉ズ。

政體ハ立憲世襲ノ王政ニシテ、兩院制ノ議會アリ、立法ノ權之ニ歸ス、陸軍常備兵ハ
三萬ニ滿タズ、軍艦二十五艘アリ。

沿革大要

和蘭ハ素西班牙ノ領地ナリシガ、王ふいりツホニ世ノ新教徒ヲ殘毒スル
ニ當リ、人民ハ斷然新教ヲ奉ジテ反旗ヲ翻シ、苦戰四十年ノ後、一千六百六年ヲ以テ獨立ヲ
得タリ、和蘭人ハ真ニ歐洲ノ商業社會ニ於テ一時獨占ノ威ヲ振ヒ、海外殖民地甚多ク、船
艦海上ニ横行シ、近クハ我が國ニ於ケル貿易ノ關係等亦想見スベシ。一千八百十五年、白耳

強ト合シテ一王國トナリシガ、一千八百三十一年ニ分離シタリ

りゆきせんぶるぐ。りゆきせんぶるぐハ白耳義ノ南東ニ位シテ、面積凡
一百七十七方里、人口二十萬餘アリ、同地ノ城砦ハ歐羅巴無類ノ堅砦ナリシガ、一千八
百六十七年局外中立ノ地ト議定セラレシ以來、此ヲモ今ハ撤去シタリ、和蘭王ハり
ゆきせんぶるぐ大公トシテ之ヲ管理ス。

第七章。いべりあ半島。

(一) 西班牙王國。

總叙。

歐羅巴ノ西南端ニ一大半島アリ、之ヲいべりあ半島ト云フ、西班牙及ビ葡萄牙ノ二國ヨリ成ル、而シテ葡萄牙ハ唯其ノ小部ヲ占ムルノミニシテ、西班牙殆之ガ全部ヲ領ス、其ノ北部大陸ニ接スル地ハ、びれにいす山ヲ以テ佛蘭西ヲ限リ、西部ノ大半ハ葡萄牙ニ接シ、西北ハ大西洋ニ、東南ハ地中海ニ面ス、面積三萬三千四百方里、人口一千七百五十餘萬アリ。

海岸、屬島。

西班牙ハ海岸長シト雖、屈曲多カラズ、島嶼亦甚少シ、北方ニびすけい灣アリ、南下スレバ史上ニ著名ナルとらあるが岬ヲ經テヒぶらるたる海峡アリ、地中海ニ入レバ屬島ニまじよるか、みのるか等、即ばれありつくノ一群島アリ、又阿非利加沿岸ニかなりい群島アリ。

地勢、山岳。

西班牙ハ山岳重疊併立セル高地ニシテ、びれにいす山ヲ以テ其ノ最大山脈トシ、則高サ一萬千六百六十八尺ニ達スル高峯アリ、其ノ脈びすけい灣ニ近

ヅキテ西ニ走り、がりしあ地方ニ及ビ、あすちゆりあす連山ト稱ス、此ノ連山ヨリ分レテ南海ニ出ヅルモノト、又折レテ西スルモノトアリ、是即いべりあ山脈ニシテ、國土ノ中央ニ亘リ、一ノ高臺ヲナス、之ヲ中央高原ト稱ス、海面ヨリ高キコト凡二千尺アリ、らもれな及びしらねはだハ共ニ南部ニ峙立ス、國中ノ諸山ノ赤緒ナルハ此ノ國ノ特色ナリ。

河川。

國中山脈ノ方向概南北ニ貫クヲ以テ、河流ハ是ヨリ東西ニ分レ、東南ノ水流ハ直チニ地中海ニ、西流ノ水流ハ葡萄牙ヲ經テ太平洋ニ入ル、諸水高原ヨリ流下シ、岩石ニ激スルヲ以テ、灌溉操舟ノ利ニ乏シク、水量亦多カラズ、東方ニえふる河アリ、西南ニぐあだるくいべる及びぐあぢあなノ二流アリ、西ニたぐす河アリ、是半島第一ノ大河ニシテ、葡萄牙ヲ經テ海ニ入り、航路二十九里ニ及ブ、其ノ他西方ニどろ河アリ、西班牙ノ諸川ハ夏時往々乾涸ス、蓋緒山、涸川ハ則聯貫ノ特色タリ。

氣候。

西班牙ノ氣候ハ大率溫暖ニシテ、夏ハ往々早魃ニ苦シミ、冬ハ往々嚴寒ニ苦シム、其ノ南方海岸ノ如キハ温和ニシテ、米、橙、甘蔗等成熟スルモ、夏熱永ク續キテ降雨少ク、水流涸ルル患アリ、中央高原地方ハ冬時寒風烈シク、夏時乾燥強シ、西方ニ

ハ時時雨降リテ、稍氣候ノ美ナルモノアレドモ、夏時ニ至レバ又鎔金ノ熱ニ苦シムト云フ。

産物。

國民七分ハ農業ニ從事スルモ、耕地ハ國土ノ一半ニ及バス、米、砂糖、玉蜀黍、椰子、橙、葡萄等ヲ農産ノ重ナルモノトシ、桑、棕櫚等アリ、牛、馬、羊等産スレドモ、牧畜ノ法宜シキヲ得ズ、礦産ハ、鐵、鉛、銅、水銀、石炭、硫黃、食鹽等ヲ産スルモ、現今採掘ノ量多カラズ、之ガ方法ノ不完全ナルニ由ルナルベシ、其ノ中銅ハホトねるばヨリ、水銀ハあるまでんヨリ多ク出ツ、漁業ハ近年盛ンナルガ如ク、工業ハ舊時ノ隆盛地ヲ拂ヒテ退キタリ、綿糸、絹糸、製紙及ビ金屬器具等、工業品ノ重ナルモノトス。

都會、交通。

人口五萬以上ノ都府十六、就中十萬以上ノモノ五アリ、首府ヲまどりつと云フ、國ノ中央高原ニ在リ、人口四十七萬餘、街衢整正ナラズト雖、市中ニ王宮及ビ大美術館ノ盛觀アルヲ以テ著ハル。

ばるせるなハ地中海濱ニ在リテ、本國第一ノ良港タリ、人口二十七萬、絹布、綿布ノ製造アリテ外國貿易行ハル、其ノ他まらが(人口十三萬餘、せびる)人口十四萬餘、ばれんしあ(人口十七萬餘、何レモ國中ノ大市ニシテ、商工業殷盛ナリ。

鐵道ハ六千哩アリ、國土ハ商業ニ最適當ナル地位ニ立テドモ、現今更ニ振振ノ聲譽ナキハ偏ニ國民懶惰ノ罪ニ歸セザルベカラズ、果實、葡萄酒、こるく、金屬及ビ橄欖油、穀物等ヲ輸出シ、綿、煙草、石炭、金屬等ヲ輸入ス。

人民、政治。

西班牙ニハ始メいべりあ派ノけるど人住シ、羅甸人之ニ混ジ、次イデちうとん人種來リ、又次イデア非利加ノむうる人來レリ、現今ノ人民ハ即此等ノ混合ヨリ成レリ、國語ハ羅馬語格ニ屬シ、國教ハ舊教ニシテ、新教ヲ奉ズルモノ極メテ少シ。

政體ハ立憲世襲ノ王政ニシテ、上下兩院アリ、陸軍常備兵ハ十五萬ニ充タズ、海軍兵モ亦甚少ク、舊時歐羅巴ニ雄視セシ政治及ビ商業上ノ權威ハ既ニ去リテ、今ハ其ノ影ダニ留メズ、進歩列國ニ後レテ國勢沈淪セリ、彼ノ廣大ナリシ外國屬領地ノ如キモ、今ハ大半削奪セラレタリ。

沿革大要。

先ニちうとん人種歐羅巴ニ蔓延セシ時ニ方リ、西班牙ハ西ゴサ人初建ノ王國ヲ永領セシガ、紀元八世紀ノ始メ、さしせん人即亞拉比民族ノ爲ニ征服セラレ、ゴサ人ハあすちゆりあ山陰ノ地ニ放逐セラレキ、既ニシテさしせん人ノ勢力漸衰フルニ當リ、あ

らひん、なばある、かすちる、葡萄牙等ノ基督教國起リ、常ニ協力シテさしせん人ヲ聚退シ、葡萄牙ハ分レテ一國トナリ、他ノ三國ハ即合シテ西班牙國ヲナセリ、是十五世紀ノ頃ニシテ、爾來西班牙ノ勢力大イニ振ヒ、商業航海獨歩ノ威ヲ揚ゲ、我が國足利氏ノ時代、泉州堺ニ來リテ既ニ通商貿易セリ。亞米利加發見ノ如キモ、亦女王いさべらノころんぶサヲ扶ケテ大功ヲ成就セシメタルハ、夙ニ諸人ノ知ル所ナリ。爾來海外殖民盛シニ行ハレ、屬領甚多カリシガ、十七世紀ノ頃ヨリ勢次第ニ衰へ、本邦無双ノ要害じぶらるたるヲ英國ニ奪ハレ、近時ニ至リテ奈破弱ノ爲ニ征服セラレ、久シカラズシテ王政舊ニ復セシカドモ、海外屬領ハ既ニ概之ヲ失ヒ、内訌起リテ日ニ其ノ國勢ヲ萎縮シ、遂ニ變轉シテ今日ノ悲境ニ至レリ。

(二) 葡萄牙王國。

總叙。 葡萄牙ハいべりあ半島ノ六分一ヲ占メテ、西班牙ノ西ニ位スル小國ナリ、土地長方形ヲナシテ南北ニ長ク、東北ハ西班牙ニ連リ、西南ハ太平洋ニ面ス、面積五千七百五十二方里、人口四百七十萬餘、あぶふる及ビまでいらノ諸島ハ、政治上葡萄牙ニ屬ス、兩島人口合ハセテ四十萬ニ充タズ。

地勢山川。 葡萄牙ハ西班牙山脈ノ餘派ヲ受ケテ地勢高峻、北部ニ於イテ、最甚

シトス。然レドモ、さうる、たぐす、ぐあじあなノ三大川、西班牙ヨリ來リテ、共ニ國土ヲ東西ニ貫キ、海ニ注グヲ以テ其ノ河畔ノ地ハ概低平ノ沃野ヲナシ、海岸通シテ低ク、大河ノ口ハ共ニ航行ノ利少カラズ。

氣候物産。 葡萄牙ハ氣候甚佳ク、西班牙ニ比シテハ雲霧少ク、冬春ノ二期降雨多シ、然レドモ東部ハ寒暑稍酷シ、人民多クハ農業ニ從事シ、小麥、玉蜀黍等ヲ主産トシ、葡萄、馬鈴薯及ビ種種ノ果實ヲモ培養ス、牧畜ニハ牛、羊等アレドモ、盛ナラズ、礦産ハ西班牙ノ如ク諸種ニ富ムト雖、國人採掘ノ勇氣ト資力トナキヲ以テ、天與空シク埋リ、唯鐵ト銅トノミ能ク出ヅ、沿海ノ地ハ漁業ノ益多ク、工業製造ハ、國人勉ムル所ナキニ非ザルモ、猶微微トシテ振ハズ、絹布、麻布、毛布陶器ヲ其ノ重ナルモノトス。

都會交通。 人口一萬以上ノ都府六市、十萬以上ノモノハ僅ニりすぼん、たぼるトノ二市アルノミ。りすぼんハ此ノ國ノ王都ニシテ、歐羅巴諸國共ニ比ナキノ良港ナリ、其ノ地だぐす河口ニ位シ、人口凡二十五萬アリ、商工業盛大ナレドモ、街衢端美ナラズ、たぼるとハさうる河口ニ位シ、人口十萬餘アリ、葡萄酒ノ輸出ヲ以テ市況殷盛ナリ。



鐵道ハ一千哩餘アリ、近時大イニ道路ヲ開キ、通交ノ便ヲ計リテ怠ラザルヲ以テ、内外ノ商業亦漸發達セリ。銅、葡萄酒、こるく等ヲ以テ其ノ輸出品ノ重ナルモノトシ、輸入品ハ石炭、金屬、綿布及ビ諸種ノ木材等ナリ。

人民政治 葡萄牙人ハ殆西班牙ト同

人種ニ屬スレドモ、彼ニ比シテハちうどん人種ノ素少ク、いべりあ派けるぞノ素多キモノノ如シ。國語ハ西班牙語ノ轉訛セシモノニシテ、現今ハ互ニ相通ズル能ハザルモ、亦等シク羅旬語格ニ屬ス。宗教ハ全國殆舊教タリ。

政體ハ立憲王政ニシテ、上下兩院アリ、陸軍常備兵ハ四萬ニ充タズ、海軍兵ハ四千ニ充

タズ。近世ノ始メニハ西班牙ト等シク航海及ビ商業上旭日ノ勢アリシガ、今日ハ既ニ其ノ名譽ヲ失シテ、人民懦弱倫安ニ流レ、唯北部人民ノ質朴ニシテ勤勉ナルアルノミ。彼ノ外國殖民地ノ如キモ、昔時ハ西班牙ト等シク著大ナリシガ、現今ハ其ノ大半ヲ失ヘリ。

沿革大要

一千百三十年、葡萄牙王國成リ、亞拉比人ノ衰退セシヨリ、十五世紀ニ至リテ、國運隆昌ヲ極メ、外國殖民地ノ如キ、世界ノ四方ニ散布セシガ、十六世紀ニ至リ、西班牙ノ爲ニ征服セラレ、十七世紀ノ中葉ニ至リ、ぶらばん王家ノ下ニ獨立ヲ恢復シタリ。一千八百七年、拿破崙ノ爲ニ國土ヲ蹂躪セラレ、國王逃レテ南亞米利加ニ至リ、ぶらじるニ王國ヲ重建セリ。拿破崙敗滅後、ぶらばん王家再位ニ復シ、續イテ現今ニ至レリ。

第八章。英吉利王國。

總叙。 英吉利ハ全世界ニ散布セル屬領地ヲ併算スレバ、其ノ面積ノ廣大ナルコト魯國モ尙之ニ及バズ、國人ハ其ノ領土ニ日輪ノ没スルコトナキヲ自負ス、而シテ今此ニ記セントスルハ、英吉利本土即歐羅巴大陸ノ西北部ニ位スルぶりちし群島ナリ。島嶼ノ數凡五百有餘アリト雖、其ノ重ナルモノハ大貌利頓、愛爾蘭ノ兩島ナリ、故ニ英吉利ヲ大貌利頓及ビ愛爾蘭合衆王國ト稱ス。大貌利頓島ハ歐羅巴屬島ノ最大ナルモノニシテ、西南隅ヨリ北端ニ至ル距離殆二百五十里、面積凡一萬五千二百方里弱ニシテ、分チテ英蘭、威勒士、蘇格蘭ノ三州トス、之ニ愛爾蘭ヲ加ヘ、四州ノ面積人口ヲ擧グレバ則左表ニ示スガ如シ。

| 地名 | 面積(方里) | 人口 |
|-------|--------|------------|
| 英 蘭 | 八、五八九 | 二七、四八二、一〇四 |
| 威 勒 士 | 一、二四四 | 一、五一八、九一四 |
| 蘇 格蘭 | 五、〇三四 | 四、〇二五、六四七 |

| | | |
|-------|--------|------------|
| 愛 爾 蘭 | 五、五〇七 | 四、七〇四、七五〇 |
| 計 | 二〇、三七八 | 三七、七三一、四一五 |

沿岸、屬島。 群島ノ西北ハ大西洋ヲ繞ラシ、東ハ北海ニ面シ、南ハ英吉利海峽ヲ以テ大陸ト相隔ツ、其ノ最狹キをればる瀬戸ノ如キハ僅僅八里半ノ距離ニ過ギズ。大貌利頓ト愛爾蘭ノ間ノ海ヲあいらしト稱シ、其ノ水甚深シ、要スルニ群島海岸ハ、東方ノ沿岸ハ低平砂地ニシテ、西方ノ沿岸ハ懸崖併ビ立チテ近ツキ難シ、蘇格蘭及ビ愛爾蘭殊ニ然リトス。海岸線大イニ屈曲シテ良港多ク、近海又屬島多シ、其ノ重ナルモノヲ擧グルニ英蘭ニわいと島、めん島アリ、威勒士ニめんぐれせい島アリ、蘇格蘭ニしほつとらんぞ諸島、れるくに群島、すかい島等アリ、其ノ他ノ沿岸ニ小岬曲浦許多アリ、一一之ヲ擧グルニ堪ヘズ。

地勢、山岳。 群島ノ地所所ニ岡巒起伏シテ、相連ルモ高山ト稱スベキモノナク、低地少カラズ、英蘭ハ西北ノ地高峻ニシテ、東南ハ低野ニ屬シ、中部亦突兀タル丘山ヲ見ル、其ノ蘇格蘭ノ境ヨリ南下シ來レル一帶ノ山脈ヲペないん連山ト云ヒテ、英蘭北部ノ脊骨ヲナシ、水流亦之ヨリ東西ニ分レ、長流ハ山東ニ在リ。

蘇格蘭ハ連岳縦横ノ高地ナルガ、西北ハ山地多ク、東南ハ低野多シ、ぐらひびあん山脈ハ其ノ最大ナルモノニシテ、高嶺べんねびすハ高サ四千四百尺餘、英國第一ノ峻峰ナリ、中部平原ノ地ハ甚廣カラザレドモ、國民生業ノ中心タリ、而シテ南方ノ低地トハ之ヲ兩分スルヲ宜シトス。

愛爾蘭ノ中央平原ハ國土ノ四分一ヲ占有シ、内ニ脊骨ヲ成ス山脈ナク、連山ノ方向ハ大要東北ヨリ西南ニ亘ル。あんどりひ諸山、ねふいんべぐ連山、けりい諸山及ビウ、いつくろね等ノ山嶽殆沿岸ノ地ヲ圍繞セントシ、平地ハ唯中央ニ在ルノミ、沼澤極メテ多ク、全面積七分ノ一アリ、然レドモ亦往々耕スベシ。

河川。 英吉利群島ハ地積狭小ニシテ、而モ所所山岳ノ突兀崎嶇タルモノアルヲ以テ、長大ナル河流ナシ、而シテ英蘭ノ分水界ハ大イニ西方ニ偏在スルヲ以テ、西流ノ諸川ハ皆水波短急ナリ、東流ノ著名ナルモノハていむす河ニシテ、流程八十八里、北海ニ注グ、河口ニ近キ處ニ倫敦府アリ、舟行六十六里ニ達シ、河口又舟泊ニ便ナリ。其ノ他たいん、ういあ、はむばあ等ノ諸川アリテ、皆通舟ノ利アリ。せばあん川ハ威勒士ヨリ發シテふりすとる海峡ニ入り、水程八十七里アリ、西南スル大河ノ著明ナ

ルモノナリ。西方ニまあせい河アリ、水流小ナリト雖、河口ニりばあぶうるノ要港アルヲ以テ、商業上有名ナリ。

蘇格蘭ハ地勢崎嶇タルヲ以テ、山水ノ風景ニ富ミ、河流少カラズト雖、概皆急湍ニシテ舟楫ヲ泛ブルニ宜シカラズ。てい河ハ流程四十里アリ、其ノ最大河ニシテ、航行ばるすニ達スルヲ得、どらういといと川ハ運漕ノ便ナシト雖、魚介ニ富ムヲ以テ著ハル。其ノ他ふれるす、すべい、ぢい等ノ諸川アリ。

愛爾蘭ハ脊骨中心ノ分水界ナキヲ以テ、河流紛紛亂レテ四方ニ走ル。しあのん河ハ長サ百餘里、本島第一ノ大河ニシテ、舟行八十餘里、中央平原ヲ流レテ大西洋ニ入ル。其ノ他ばあろ、うふたい、るばん、ばんとん、及ビぶらつく、うたあ等ノ諸川アリ、多少舟楫ノ利アラザルハナシ。

湖沼。 群島中湖水多シト雖、愛爾蘭ノ湖ヲ以テ最大イナルモノトス、長サ八里、幅四里、面積二十六方里アリ、きらるに湖ハ風景ノ絶佳ナルヲ以テ稱セラル。英蘭ハ大湖ニ乏シト雖、北方連山ノ間ニ湖沼ノ群ル所アリ、湖沼地ト稱シテ勝景ノ地タリ。

蘇格蘭ハ湖水多ク、何レモ風光明媚ヲ以テ稱セラル、其ノ中著名ナルヲるもんどトス、長サ十里アリ。

氣候

歐羅巴諸國ハ、同緯度ニ位スル他洲ノ諸國ヨリモ氣候温暖ナルコトハ、既ニ述ベシガ如シ、而シテ英國殊ニ其ノ惠澤ヲ蒙レリ。英國ハ温暖ニシテ濕潤、蘇格蘭ハ寒氣、英蘭ヨリ強クシテ、濕氣亦多シ、愛爾蘭ハ英蘭ヨリ一層温暖ニシテ、雨量ノ多キコト、歐羅巴第一タリ、蓋西南暖風ノ濕氣ノ、此ニ至リテ收縮スルコト多キニ由レリ、而シテ群島西岸ノ地ハ、東岸ノ地ニ比スレバ、夏時ハ冷シク、冬時ハ暖ナリ、之ヲ要スルニ全島濕氣多ク、天空朦朧トシテ雲霧深キヲ以テ、降雨ヲ豫知スルコト難ク、淋雨數日ニ涉ルコト少カラズ、農業ノ之ガ爲ニ畜セラルルコトアルモ、牧畜ハ却リテ利ヲ得ルコト多シ。

産物

地味豐饒ナルニ非ズト雖、器械方法ノ完備整頓ニ因リ、農産物甚多シ、然レドモ尙以テ國用ヲ充タスニ足ラズ、是全人民中商工業ニ從事スルモノノ頗多キニ由レリ、諸種ノ麥類、諸種ノ果實、馬鈴薯、蔬菜ヲ農産ノ重ナルモノトシ、就中燕麥及ビ大麥ヲ蘇格蘭ノ特有ト稱スベシ、山林ハ多カラザル故ニ木材ニ乏シク、野草ハ繁

茂セル故ニ牧畜ニ適シ、美地ノ二分ノ一ハ牧場ニ使用シテ、多ク牛馬羊豚ヲ産シ、牛酪乾酪ノ製造輸出實ニ巨額タリ、蓋英國ノ牧畜業ハ、其ノ完全精好ナルコト、歐羅巴中比スベキモノナシト云フ。

英國ハ漁業ニ於イテモ、歐羅巴諸國中盛ナルモノノ一トス、殊ニ蘇格蘭沿岸ヲ以テ最トシ、英蘭、愛爾蘭之ニ次ギ、漁夫、漁船ノ數甚多シ、魚類ハ鱒ヲ第一トシ、鱈、鯖、鱈、鱈、牡蠣等之ニ次グ、毎年ノ輸出多額ニシテ、是亦富源ノ一ナリ。

英國ノ破産ハ世界獨歩ト稱ス、鐵、錫、銅、亞鉛、鹽、石炭等ノ産甚多ク、就中石炭ヲ以テ第一トス、炭田ノ著名ナルモノ四方ニ在リ、其ノ二三ノ重ナルモノヲ舉グレバ、英蘭ニのるさむらんど、かひばらんど、威勒士等アリ、蘇格蘭ニ西南らなあく、東南おちんぼろ地方アリテ炭田ノ中心トス、愛爾蘭モ亦多少之ヲ産ス、石炭ノ産出額ハ年年一億三四千萬噸ノ上ニ出ツ。

鐵ハ石炭ニ次ギテ英國貴重ノ破産ナリ、英蘭、蘇格蘭共ニ採掘夥シク、年年千五六百萬噸ノ總計産出アリ、加之英國ノ鐵坑ハ、石炭ト距離甚隔絶セザルヲ以テ便利極メテ宜シ。

愛爾蘭モ鐵石炭等ノ產出少カラザレドモ、礦脈薄キヲ以テ盛大ニ至ラズ、牧畜ハ頗
進歩ノ域ニ達セリ。

工業。 英國ハ眞ニ産業盛大ノ國土ニシテ、特ニ商工業ヲ最トス、農業ハ既ニ進歩

完全ノ域ニ達セルヲ以テ、現今ハ國人ノ之ニ重キヲ置カズ、將來更ニ其ノ進歩ヲ見ル

コト難カルベシ。工業ト商業トノ進歩ニ至リテハ、年一年ヨリ著シ、蓋炭鐵ノ富ミハ

工業ノ盛大ヲ致シ、製造產物多キハ商業ノ繁盛ヲ招クニ由ル。

工業ノ種類極メテ多シト雖、就中非常ノ隆盛ヲナセルモノヲ紡績及ビ製鐵ノ業ト

シ、玻璃陶器寶石細工、木細工、紙類蠟燭及ビ諸種ノ酒類等之ニ次グ。

綿絲業ハ實ニ本國最盛ノ業ニシテ、製造所ノ數二千六百餘アリ、まんぢぢえすたあ之

ガ中心タリ。毛布ノ製造モ亦甚盛ナリ、麻布ハ愛爾蘭ト蘇格蘭トニ於イテ盛ンニ

製造シ、絹布モ近年大イニ進歩ノ姿ヲ呈セシガドモ、未佛國ト競フノ地位ニ至ラズ。

製鐵事業ハばあみんばむ地方ヲ中心トシテ、英蘭蘇格蘭ノ各地ニ在リ、本國工業中、

綿絲業ニ次グノ盛況ヲ呈シ、造船術亦沿岸良港ノ地ニ行ハル。

都會、交通。 英國ニハ大都甚多シ、英蘭ニハ人口十萬以上ノモノ二十五、中二十



城 爾 蘭 都 市

萬以上ノモノ十一、四十萬以上ノモノ四ア

リ。

首府倫敦ハ人民ノ富有ト人口ノ多キト市

況ノ繁華トニ於イテ、世界無比ノ大都タリ。

英蘭東南隅ノていむす河口ヲ湖ルコト二

十五里ノ地ニ位シ、長サ六里、幅四里ニ過ギ、

人口四百二十餘萬、政治文化ノ中心ヲナシ、

市街壯麗ニシテ紛雜ス、うねすどみんすた

あニハ、王宮及ビ議事堂アリ、ていむす河ニ

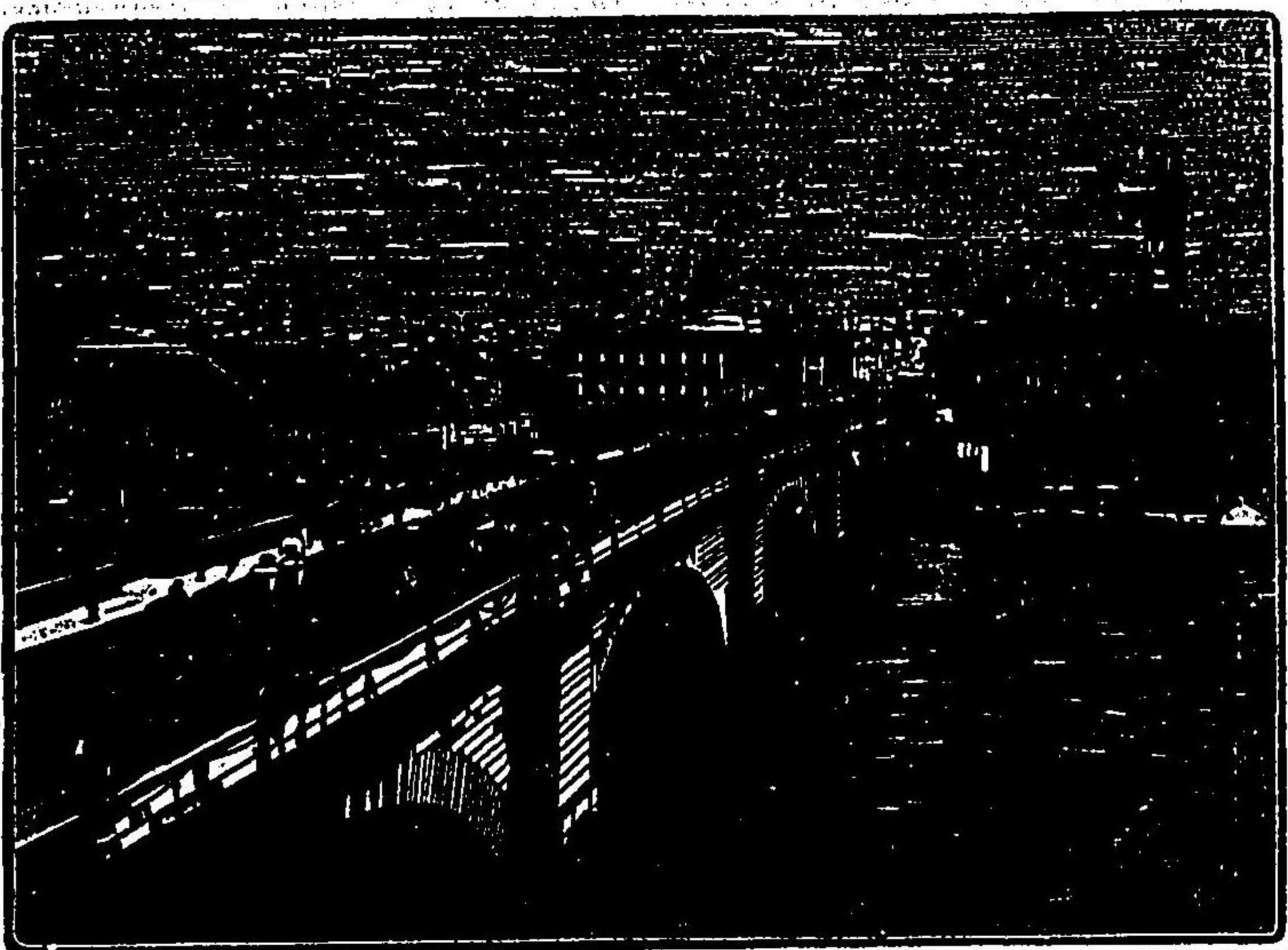
ハ、架スルニ二十餘ノ橋梁ヲ以テシ、盛觀人

自ヲ眩ス、四方ヨリ來集スル人民ハ、將ニ街

衢ニ溢レントス、彼ノ倫敦橋上ヲ往來スル

モノ、一日平均五十萬ニ下ラズ、府中ノ總家

屋ヲ取リテ一帯ニ横列セバ、歐羅巴ノ西端



London des
Hemse
Glasgow

ヨリ亞細亞ノ東端ニ達スベシト云フ其ノ
 旺盛察スルニ餘リアリ。
 りばふるるハ英蘭ノ西岸ニ位シ人口凡五
 十二萬倫敦ニ次グ大都タリ商船ノ出入織
 ルガ如ク外國貿易甚昌盛ヲ極ム。まんに
 倫すたあハ人口凡五十萬餘綿絲製造ノ中心
 タリ。ばあみんばむハ人口四十萬製鐵業ノ
 中心タリ。りいづハよれくしやいあノ西側
 ニ在リテ人口四十三萬毛布製造ヲ以テ著
 ル。よるくハ北部ニ位シテ歴史上ノ舊跡タ
 リ。其ノ他しむあいると人口三十二萬ふり
 すとる(人口二十二萬)ぐりにつち(人口十五
 萬)ふらつとふたると人口三十二萬等昌盛
 ノ大都府多シ。

蘇格蘭ニハ著名ノ都府多カラズ、ぐらすでう、むぢんぼろヲ以テ其ノ著キモノトス。
 ぐらすでうハ西南岸ニ在リテ人口凡六十二萬綿絲製鐵等ノ工業ヲ以テ著レ、又本
 州商業ノ中心タリ。むぢんぼろハ東南海岸ニ在リテ人口二十六萬蘇格蘭ノ首府ナ
 リ、世界ニ有名ナル大學アリテ文化ノ中心ヲナセリ。其ノ他海港及ビ製造ノ市府ト
 シテ著名ナルだんぢいハ人口十五六萬アリ、あべるぢいハ一大良港ニシテ人口
 二萬餘然カモ工業盛ンナリ、ぐりいんのつち(人口六萬餘)べいすれい(人口七萬)等亦
 繁華ノ小都府タリ。

愛爾蘭ハだぶりんヲ以テ首府トス、人口凡二十五萬港内水淺クシテ船舶ノ淀泊ニ
 宜シカラズ、市内風景佳シ。べるふあすとハ人口二十六萬本州ノ最良港ニシテ外國
 貿易ノ中心ヲナシ、且りんねる製造ヲ以テ著ル。其ノ他こるく(人口七萬五千)及ビら
 いめりつち(人口四萬)等ノ市府何レモ沿岸ノ地ニ在リテ商工業殷盛ナリ。而シテ愛
 爾蘭ノ一特質ト稱スベキハ、海岸ヲ離レテ人口二萬以上ノ都府ナキコトナリ。
 全國ノ鐵道ハ一萬九千哩、道路能ク整ヒ、水理又能ク通ジ、英蘭ニハ運河凡一千里ア
 リ、蘇格蘭ニモ甚多ク、大西洋ト北海トヲ連絡スル所ノかれとにあん運河ノ如キハ、

傳へて以テ天下ノ奇觀トス。愛爾蘭ニモ良好ノ運河少カラズ、山村僻地邊陲ノ處ニモ、皆鐵道電信ノ便アリ、陸地通交ノ利具ヲザルナク、海岸ニ散布スル港灣ニハ船舶常ニ輻輳ス。

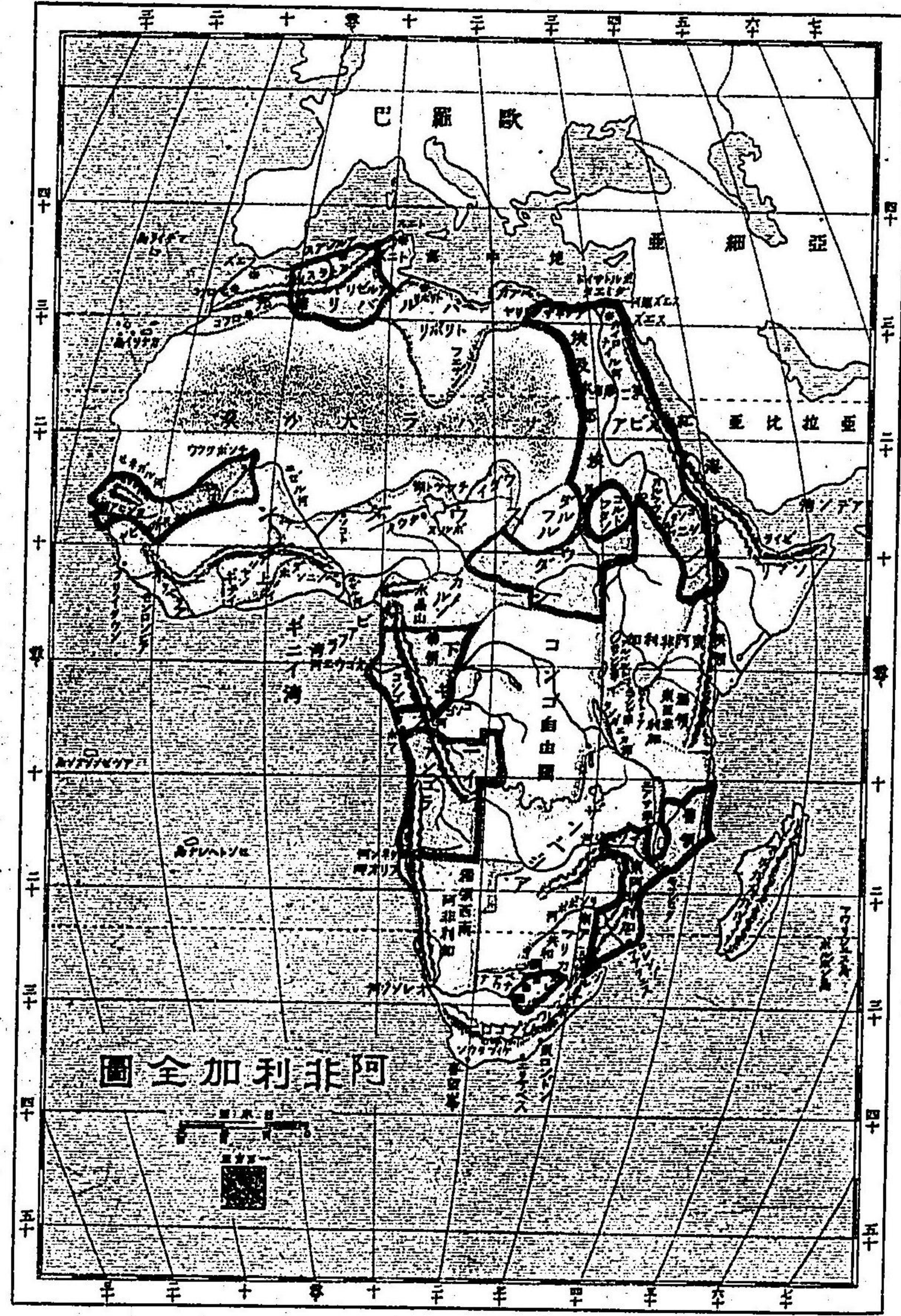
商業。 英國ハ商業ヲ以テ世界ニ獨歩スルモノト云フベシ、商船ノ數一萬七千九百十七艘アリテ、乘リ込ミノ人員二十萬餘ニ出デ、而シテ年年ニ進歩スルコト著シ。故ニ英國商船ノ旗號ハ、各國ノ海港ニ於イテ認メザルナク、其ノ輸出品ハ製綿ヲ最トシ、製鐵之ニ次ギ、毛布、麻布、諸種ノ機械等又之ニ次グ、而シテ其ノ輸入品ハ、生綿羊毛、麻類、木材、茶、油、果實、葡萄酒等其ノ重ナルモノナリ。輸出ハ多ク製品ヨリ成リ、輸入ハ多ク原料トナス。我が國トノ通商ニ於イテハ綿糸、生金巾、羅紗、毛縐子、鐵器類、毛布等ヲ送り來リテ、生糸、米、陶器、漆器、絹手巾等ヲ齎シ歸ル。

人民政治。 昔時ハ英國ヲ貌利頓國ト稱シ、其ノ住民ヲぶりとん人ト云ヒ、けるト派ノ一分族タリ。又愛爾蘭ノ土人ヲすこつと人ト呼ビテ、同派ノ一屬タリ。而シテあんぐる人及ビさきそん人ハ、がうるノ一民族ニシテ、ぶりとん人ヲ征服シ、英蘭ニ王國ヲ御建セシガ、十一世紀ノ始メのるまん人即すかんなびあ、獨逸種族ノ爲ニ

征服セラレ、遂ニ兩者ノ血族相混合シテ、現今ノ英人ヲ成シ、兩者ノ國語相混ジテ、現今ノ英語ヲ成セリ。然レドモ愛爾蘭ニハちうとん民族ノ素ヲ含ムコト、僅ニ五分ノ一二過ギズ、蘇格蘭ハ之ニ反シテ甚多シ。要スルニ本國ノ人種ハちうとん、けるとん、人種ノ混合ヨリ成レルモノト云フベシ。宗教ハ概新教ナレドモ、愛爾蘭人ハ多ク舊教ニ歸依ス。

政體ハ立憲世襲ノ君主政ニシテ、上下兩院アリテ立法ノ權之ニ歸シ、國王及ビ責任内閣大臣、行政ノ大權ヲ司ル。陸軍常備兵ハ十萬餘、海軍兵員ハ殆七萬人、船艦三百七十餘艘アリテ、東西洋中ニ雄視スルコト久シ。

沿革大要。 古代ノ英國ハ羅馬帝國ノ版圖ニ屬シ、ぶりとん人之ニ住居センガ、羅馬ノ衰フルヤ、あんもる人及ビさきそん人來リテ之ヲ征服シ、八王國ヲ御建セリ、爾來互ニ相呑噬シテ、國事大イニ亂レ、兩者合シテあんもるさきそん人ト稱セラル。一千六十六年、佛國のるまん王ノ時、貴族平民合同シテ大憲章ノ承認ヲ得、立憲自由ノ基ヲ開ケリ。
一千七十一年、愛爾蘭ヲ征服シテ之ヲ併セ、爾來永ク之ヲ管治シ、一千二百八十二年、威勒士ヲ取り、一千六百三年、蘇格蘭王英王ノ位ニ即キテ、兩國ノ協和成レリ。而シテ英國ガ海外ニ



數多ノ屬地ヲ領スルニ至リシハ、ころむぶすノ亞米利加發見以後ノ事ニシテ、十六世紀ノ
 頃ヨリ著著其ノ舉ヲ爲シタリ。英國ガ世界ノ最大國ナリト稱セラルル所以ノモノハ、屬領
 地ノ多キヲ以テナリ、其ノ五大洲中ニ散布スル幾多ノ領土ヲ合算スレバ、面積凡百九十萬
 方里、人口三億ノ上ニ出ヅ、是等ノ事ハ他ノ編中ニ詳ナリ。